令和２年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人栃木県社会福祉協議会

目　次

実施事業の概要…………………………………………………… 1

Ⅰ　県民参加型の地域福祉の推進
　1　地域福祉への関心・理解の促進…………………………… 5
　2　ボランティア・市民活動の振興・支援…………………… 6
　3　福祉教育の推進……………………………………………… １４
　4　民生委員・児童委員活動との協働………………………… １６
　5　共同募金会との協働………………………………………… １９
　6　障害者の社会参加の促進…………………………………… １９
　7　福祉拠点における活動の充実……………………………… ３１

Ⅱ　市町社協活動の推進・支援
　1　市町社協の基盤強化と事業への支援……………………… ３３
　2　新しい地域支援事業の推進………………………………… ４４

Ⅲ　福祉サービス利用者のための支援の強化
　1　福祉サービス利用者の権利擁護の充実…………………… ４７
　2　成年後見制度の活用促進…………………………………… ５０
　3　福祉サービス運営適正化の推進…………………………… ５６
　4　福祉サービスの質の向上の支援…………………………… ５８

Ⅳ　福祉人材の確保と育成
　1　福祉人材の確保と定着……………………………………… ６４
　2　福祉人材の育成……………………………………………… ７３

Ⅴ　生活困窮者の自立支援の推進
　1　生活困窮者への自立支援…………………………………… ８０
　2　貸付事業等による自立支援………………………………… ８１

Ⅵ　社会福祉事業経営者等との連携、支援
　1　社会福祉経営支援・団体支援との連携、支援…………… ８５
　2　社会福祉法人による地域における公益的な活動の推進… ８８

Ⅶ　災害対応力の強化
　1　災害対応力の強化…………………………………………… ９１

Ⅷ　県社協の組織活動の強化
　1　組織体制の充実……………………………………………… ９４
　2　運営基盤の強化……………………………………………… ９７
　3　経営の透明性の確保………………………………………… ９８
　●　新型コロナウイルス感染症の対応について……………… ９８

実 施 事 業 の 概 要

Ⅰ　県民参加型の地域福祉の推進

本会の事業内容をはじめ県内の福祉の情報や当面の福祉課題、社会福祉に関する制度の解説等を掲載した広報紙「ふくしとちぎ」をはじめ、視聴覚障害者や福祉職の就職希望者向けの各種情報紙を発行した。また、福祉関連の講座・研修情報や本会の業務内容及び災害ボランティア情報等について、ホームページ「とちぎ福祉ナビゲーション」（通称福ナビとちぎ）による情報発信に努めた。さらに、栃木県民福祉のつどいを開催し、県内で活躍している福祉関係者を表彰し、活動への意欲を高めた。

ボランティア・市民活動の支援としては、市町社協、ボランティア団体、ＮＰＯ、行政など関係機関と幅広く連携し、ネットワークづくりと協働を推進するとともに、栃の実基金による助成や栃木県ボランティア活動振興センターを運営し、広く県民へのボランティア活動の情報提供と参加促進を図った。

福祉教育の推進においては、市町社協、学校、地域住民、ボランティア等が協働した福祉教育の推進を図るとともに、とちぎ福祉教育研究会において栃木県における新しい福祉教育の展開について検討した。

民生委員との協働に関しては、民生委員活動の充実を図るため、栃木県民生委員児童委員協議会と協働しながら、各種研修会の開催や助成、給付等による民生委員活動への支援を行うとともに、民生委員・児童委員の協力者・後継者を育成するための講座・一日体験を実施した。

とちぎ視聴覚障害者情報センターの運営においては、視聴覚障害者への幅広い情報提供と社会参加の促進を図った。また、支援者の育成を目的として点訳・音訳ボランティア、手話通訳者・要約筆記者等の養成講習会を実施した。さらに、令和４年に本県で開催予定の第 22 回全国障害者スポーツ大会に向け、聴覚障害者への情報支援を行う者を養成するための事業を行った。

また、栃木県から「とちぎ福祉プラザ」の指定管理者として指定を受け、福祉活動拠点である同プラザの効率的な管理運営に努めるとともに、障害者スポーツの拠点施設である障害者スポーツセンター（通称わかくさアリーナ）の効率的な管理運営にも努めた。

Ⅱ　市町社協活動の推進・支援

地域共生社会の実現に向けて、地域づくりのための活動基盤整備や、住民や関係機関と連携した相談支援体制の構築が促進されるよう、各種研修会やシンポジウム等を実施した。

また、階層別研修会や専門研修会等を通して社協職員の資質向上を図り、また、災害時の事

業継続計画の策定検討など、地域福祉活動を推進するための適正な運営と基盤の強化を図った。

さらに、栃木県地域福祉振興基金（栃の実基金）を活用した助成事業で、市町社協や市民団体等による地域福祉・ボランティア活動を促進した。

新しい地域支援事業の推進については、社協として地域福祉推進の取組みと連携した生活支援体制整備事業の推進などについての情報共有や検討の場として連絡会議を開催したほか、多様な主体との連携協働を図りながら住民参加のサービスを推進するための協議を行った。

Ⅲ　福祉サービス利用者のための支援の強化

判断能力が十分でない方を対象に、福祉サービスの適切な利用を援助する日常生活自立支援事業（とちぎ権利擁護センター・あすてらす）を実施した。実施に際しては、県内 13 か所の基幹的社会福祉協議会に事業の一部を委託するとともに、専門員等の資質の向上や、令和３年度から順次移行する市町社協実施方式に向けた調整など、本事業のさらなる充実を図った。

また、認知症、知的障害その他の精神上の障害があることにより財産の管理又は日常生活等に支障がある方を社会全体で支え合うことが、地域社会における喫緊の課題であり、支援が必要な方を地域で連携して、成年後見制度の活用をはじめとした権利擁護支援の体制として地域連携ネットワークの構築を目指し各市町で取り組みが進んでいる。

本会では、同ネットワークの中心となる中核機関の担い手に対する研鑽を目的として成年後見制度利用促進体制整備研修を実施した。その他各種研修会やセミナーの開催、市町社協の法人後見事業推進などを通じて成年後見制度の利用促進、地域における権利擁護体制の構築を図った。

第三者機関として設置されている栃木県運営適正化委員会においては、日常生活自立支援事業（とちぎ権利擁護センター・あすてらす）の適正な運営の確保や福祉サービスに関する利用者等からの苦情の適切な解決を図るため各種事業を実施した。

同じく第三者機関として設置されているとちぎ福祉サービス第三者評価推進機構においては、福祉サービス事業者の提供する福祉サービスの質の向上と利用者の適切なサービスの選択に資することを目的として各種事業を実施し、栃木県における福祉サービス第三者評価事業の推進を図った。

一方、評価機関として地域密着型サービス外部評価事業を実施し、地域密着型サービスの質の向上に取り組んだ。

Ⅳ　福祉人材の確保と育成

福祉・介護分野の人材不足が続く中、新卒学生や他分野からの転職者等に対して、職場体験を行う機会を提供したほか、介護福祉士修学資金等の貸付などで福祉分野への幅広い人材の参入促進を図るとともに、各地域において求人事業所と求職者の相談会を開催し、人材の確保・就労を支援した。

また、「とちぎ保育士・保育所支援センター」を引き続き設置し、潜在保育士等対象の講座や相談会の開催、就職準備金の貸付などを実施した。

さらに、職場定着支援の一環として、福利厚生センター加入者へのサービスの充実と未加入法人への加入勧奨を行い、社会福祉事業従事者の福利厚生の増進に努めた。

社会福祉事業従事者等への研修については、関係福祉団体等の意見も踏まえ、それぞれの職務の専門性に応じ、福祉の動向を的確に捉えた内容の実施に努め資質の向上を図った。

Ⅴ　生活困窮者の自立支援の推進

低所得者や障害者、高齢者世帯に対し、必要な資金（生活福祉資金：福祉費）の貸付等を行い、経済的自立及び生活意欲の助長促進を図った。

特に、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、休業や失業等で困窮した世帯に対する緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付を行い、支援の強化を図った。

また、貸付けた資金の円滑な償還を図るため、市町社協や民生委員児童委員等、関係機関との連携のもと、滞納世帯への償還指導を行うなど償還業務の適正化及び債権管理の強化に努めた。

さらに、生活困窮者の課題解決に向けた相談窓口設置のほか、市町社協の相談機能強化に向けた担当者からの個別相談への対応など、市町社協との連携による生活困窮者の自立支援に対する取り組みの強化を図った。

Ⅵ　社会福祉事業経営者等との連携、支援

社会福祉法等の一部を改正する法律が施行され、社会福祉法人の責務として位置付けられた「社会福祉法人による『地域における公益的な取組』」について、栃木県社会福祉法人による「地域における公益的な取組」推進協議会の運営及び「いちごハートねっと事業」への支援を行った。

また、大規模災害発生時に高齢者や障害者などの要配慮者に対し、社会福祉士や介護福祉士等の専門職で構成する「災害福祉広域支援チーム（ＤＷＡＴ）」を派遣するためのチーム員の養成研修等を実施した。

社会福祉施設の振興・発展に向けて、また、地域福祉への貢献に向けて解決策等を検討するため社会福祉施設部会を開催し、各種別間での情報交換を行った他、社会福祉施設及び種別協議会の運営を支援した。

Ⅶ　災害対応力の強化

近年、災害時には、社協が災害ボランティアセンターを設置運営するなど、社協の役割は大きくなっている。そこで、各種研修、連絡会議等を開催し、社協職員の資質向上や関係機関とのネットワークの構築を図った。さらに、災害連携体制や応援体制など災害支援のあり方

について研究協議する場を設け、災害支援体制の強化に努めた。

Ⅷ　県社協の組織活動の強化

会務の運営を確保するため、経営組織のガバナンスの強化及び事業運営の透明性の向上を図った。

また、平成 28 年度を始期とする栃木県社会福祉協議会活動推進計画（第３期）の点検・評価を行うとともに、同計画（第４期）の策定を行った。

さらに、運営基盤の強化のため、会員の加入促進をはじめ、図書斡旋等の収入の確保、栃木県地域福祉振興基金（栃の実基金）の造成や駐車場運営を行うなど自主財源の確保に努めた

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、職場環境の整備を行うとともに、事業の維持、継続が図れるよう努めた。

Ⅰ　県民参加型の地域福祉の推進

1　地域福祉への関心・理解の促進

⑴　広報活動の充実

①　ふくしとちぎの発行

本会事業をはじめ県内の福祉情報を提供するため、本会広報紙「ふくしとちぎ」を発行した。（No.490～No.495 発行（計 6 回）隔月発行　発行部数 各 7,800 部）

②　福祉人材・研修センターニュースの発行

啓発とセンターのＰＲのため、福祉人材・研修センターニュースを発行した。

（No.197～No.200 発行　発行部数　各 2,500 部）

③　点字図書館だよりの発行

新刊図書案内、センターからのお知らせ等利用者及び関係機関への広報を行った。

（年 4 回　発行部数　各 856 部）

④　ｅａｒたより 21 の発行

聴覚障害者への情報提供のため、earたより21を発行した。

（年 4 回発行　発行部数　各 850 部）

⑤　ホームページの充実

とちぎ福祉ナビゲーションにより、福祉関連の各種講座研修情報、本会の業務内容、災害情報等について県民に情報提供を行った。（アクセス数　153,782 件、R1：167,225 件）

⑥　栃木県民福祉のつどいの開催・県社協会長表彰の実施

県民全体が福祉について考え、参加者が自らの活動への意欲を高めることを目的として、栃木県を含む 9 団体と協同で「第 26 回栃木県民福祉のつどい」を開催した。

また、その席上で県内の社会福祉に功労のあった者を対象に、県社協会長表彰を実施した。（表彰・感謝　508 人 28 団体、R 元：495 人 27 団体）

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.8.24 （月）	宇都宮市 栃木県庁東館講堂	式典 ・知事表彰、各団体会長表彰 ・県民福祉宣言	70人 （R元：1,068人）

⑵　福祉関係資料の整備と利用の促進

①　福祉に関する教材等の貸出（16 回）

福祉の理解及び啓発のため、福祉に関する教材（高齢者疑似体験装具）の貸出を行った。

②　福祉関係図書及びビデオ等の閲覧・貸出

とちぎ福祉プラザ福祉情報コーナーにおいて、福祉関係図書及びビデオの閲覧・貸出を行った。（貸出数　図書 1,362 冊）

⑶　その他の事業

教員免許特例法に基づく介護等体験実施の調整

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教職員免許法の特例等に関する法律」の規定に基づいて行われる、教員免許取得希望者が社会福祉施設等での「介護等の体験」を円滑に進めるための調整業務を行った。

① 令和2年度教員免許特例法に基づく介護等体験実施状況

【介護等体験状況】

	大学数	申込学生数(人)
県内大学	6大学（うち短期大学2)	120（うち短期大学59)
県外大学	10大学（うち短期大学1)	21（うち短期大学1 ）
合　　計	16大学（うち短期大学3)	141（うち短期大学60)

【体験調整状況】　（人）

介護等受入施設	受入施設数	受入人数	辞退者数	体験者数
救護施設	1	13	12	1
母子生活支援施設	1	6	2	4
児童養護施設	1	2	2	0
特別養護老人ホーム	15	150	111	39
養護老人ホーム	3	7	6	1
老人デイサービスセンター	4	45	27	18
老人短期入所施設	1	10	4	6
老人保健施設	7	22	8	14
障害福祉施設	26	180	122	58
合　　計	59	435	294	141

2　ボランティア・市民活動の振興・支援

⑴　社協ボランティアセンターの充実・強化

① 栃木県ボランティア活動振興センターの運営

ア　運営委員会の開催

ボランティア活動振興センターの効果的な運営を図るため、運営委員会を開催した。

期　日	場所	内　　容	出席者数
(第1回) R2.9.28 (月)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	(1) 報告 ① 令和元年度事業報告について ② 令和２年度事業経過報告について ③ 令和元年度運営委員会(第2回)意見書について (2)協議 ①新型コロナウイルス禍におけるボランティア・市民活動の支援のあり方について (3)その他	13人
(第2回) R3.3.15 (月)	書面	議題 １　栃木県ボランティア活動振興センターの今後の展開について (1)新型コロナウィルス禍におけるボランティア・市民活動のICTの活用について (2)栃木県社協活動推進計画第4期（案）について (3)栃木県ボランティア活動振興センター令和3年度事業計画（案）について ２　その他	14人

イ　ボランティア活動振興センター預託金の管理

・　指定預託（0 件）
・　無指定預託金の預託（0 件）
・　無指定預託金の払出し（0 件）
・　無指定預託金額計　　722,339 円

ウ　ボランティアルームの運営・管理

ボランティア、ボランティア団体の交流や情報交換を目的としてボランティアルームを運営した。

② 福祉ボランティアコーディネート相談事業の実施

ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティアに関する総合的な相談を行った。
（栃木県ボランティア連絡協議会への委託事業）
【来訪・電話数】　3,173 人　【相談件数】　42 件

③ インターネットによるボランティア情報の発信

とちぎ福祉ナビゲーションを活用し、ボランティア情報の提供、災害支援情報、各種助成情報等を随時提供した。

④ 市町社協ボランティアセンター事業への支援

ア　市町社協ボランティア担当者連絡会議

社会福祉協議会が実施するボランティア推進事業を取り巻く動向や課題の共有化と、相互の情報交換並びに職員の顔の見える関係づくりを通じて、市町社協ボランティア業務の増進を図るため、担当者連絡会議を開催した。

期　日	場　所	内　　容	参加者数
（第1回） R2.7.31 （金）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	(1)説明「新型コロナウィルス対応に関する緊急アンケート調査結果」及び「新型コロナウィルス感染拡大防止に配慮した地域住民等による福祉活動・ボランティア活動の進め方（令和 2 年 7 月 22 日付全社協発）」について (2)報告　新たな生活様式にあわせた地域福祉活動の実践報告 報告①　鹿沼ケーブルテレビを利用した「ステイホーム支援プロジェクト」 鹿沼市社会福祉協議会 地域福祉係長　齋藤　裕嗣氏 報告②　Facebook を活用したふくし出前講座「ふくしクイズ」 那須烏山市社会福祉協議会 地域福祉係　主事　大森　友貴氏 (3)意見交換・情報交換 コロナ禍における事業の進め方について (4)説明 今年度の栃木県地域福祉振興基金（栃の実基金）事業について	19人
（第2回） R3.2.22 （月）	オンライン	(1) 講義 「基礎から学ぶチラシづくり講座」 真岡市市民活動推進センターコラボーレ真岡 グラフィックデザイナー　橿渕　聡氏 ・研修会・講座実施における効果的な周知方	13人

		法 ・ボランティア人材を活用したい施設・団体への周知 ・参加者によるチラシ診断 ・質疑応答 (2) 課題共有・意見交換 事前アンケートを参考に、コロナ禍におけるボランティア活動を推進するための取組み及び研修会・講座実施における効果的な周知方法について課題共有・意見交換	

イ　市町社協災害支援担当者連絡会議

令和元年東日本台風災害における本県での対応の振り返りと課題の共有、今後の取組みのあり方を協議するため連絡会議を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.7.27 （月）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	(1)説明「令和元年東日本台風における県内の活動状況と活動状況から見えたポイント」 (2)協議・意見交換	21人

ウ　災害ボランティアネットワーク会議

令和元年東日本台風災害対応の事例から、多機関協働の体制構築について学ぶとともに、災害時における新型コロナウィルス感染防止について理解促進を図るため、ネットワーク会議を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.7.27 （月）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	(1)導入説明「令和元年東日本台風災害における栃木県の状況」 説明：栃木県社協　地域福祉・ボランティア課 (2)事例発表「令和元年東日本台風災害における活動・連携事例」 発表者 栃木市　保健福祉部福祉総務課 課長　首長　正博氏 宇都宮市社会福祉協議会　総務企画課 困難主任　八木　茂氏 特定非営利活動法人トチギ環境未来基地 代表理事　塚本　竜也氏 公益社団法人日本青年会議所関東地区 栃木ブロック協議会 とちぎ政策委員会　委員長　酒寄　貴光氏 (3)講義「災害時における新型コロナウィルス感染防止について」 講師　3DS 株式会社 代表取締役　林　洋克氏	74人

エ　とちぎ災害支援のあり方検討会

災害支援におけるより実践的な内容について検討・協議し、県内社協の災害対応力

の底上げや災害時の効果的かつ円滑な支援体制を構築していくことを目的として設置した。

社協間の応援体制の検討や実践的な様式の検討及びモデル様式とその解説書を作成した。

	期日	場所	内容	参加者数
第 10 回	R2.4.22 （水）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・令和元年度検討会活動の振り返り ・R2 年度検討会の活動計画・スケジュールについて	7 人
第 11 回	R2.6.17 （水）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・「新型コロナウィルス感染拡大下における災害 VC の設置・運営等の考え方と留意点（案）」の整理	5 人
第 12 回	R2.8.24 （月）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・モデル様式集の作成について	15 人
第 13 回	R2.11.19 （木）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・講義・事例紹介「災害ボランティアセンターにおける『応援』『受援』について」 講師 宮城県社会福祉協議会　震災復興・地域福祉部　震災復興支援室 主幹　北川　進氏 ・災害ボランティアセンターにおける派遣者（外部支援者）に任せられる業務の基準について アドバイザー　同上	12 人
第 14 回	R3.2.12 （金）	オンライン	・モデル様式集最終案について	14 人
第 15 回	R3.3.11 （木）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・令和 3 年度県社協災害支援関係事業について ・災害ボランティアセンターにおける派遣者(外部支援者)に任せられる基準について ・検討会 3 年間の振り返り ・災害ボランティアセンターモデル様式集の発行について	10 人

⑵ ボランティア・市民活動の環境整備

① 市民、企業、勤労者等のボランティア参加を促す事業の実施

ア ボランティア・市民活動推進セミナー（『高校生サミット in 栃木 2021』）の開催

県内の高校生を対象に東日本大震災をふりかえりながら、防災や助け合いについて考えるために、UP（宇大生プロジェクト）、とちぎ福祉教育研究会と共催で事業を実施した。

令和 2 年度は、震災直後から被災者支援に携わってきた方々や、震災当時小学生だった大学生とともに震災を振り返り、被災地の現状や復興の姿そして課題を考え、震災の教訓や学びをこれからも伝え、つないでいくことを目的に開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
R3.3.14 （日）	オンライン	【進行】UP（宇大生プロジェクト） 【ゲスト】大川伝承の会 永沼　悠斗氏 公益社団法人 3.11 みらいサポート 藤間　千尋氏 ・オープニング ・被災者の方のお話 ・防災・減災に関するクイズ ・3.11 みらいサポートの方のお話 ・質疑応答・ふりかえり ・クロージング	48 人

イ　ぼらんてぃあカフェの実施

《実施内容》　参加者　35 人

- 「夏休み！簡単リサイクル工作！ペットボトルで水族館をつくろう」（8/4,5,6：12 人）
- 「やさしい想いを広げよう　シトラスリボン作り」（11/17,18,19,20：14 人）
- 「第 2 弾！やさしい想いを広げよう　シトラスリボン作り」（12/15,16,17：9 人）
- 「とちぎ国体・全国障害者スポーツ大会を盛り上げよう　いちご一会ボランティアプロジェクト　手編みいちごクリーナー作り」（中止）

ウ　ボランティア活動リーダー養成研修会（企業編）

企業や社協、中間支援施設等を対象として、誰もが夢と希望を持てる社会の構築に向けて、企業は CSR の視点に立ちながらどのような活動に取り組めばよいかを考える機会とするため、研修を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
R3.2.17 （水）	オンライン	(1) 講義・事例報告 「CSR、SDGs の達成と地域共生社会の実現に向けて　～誰もが夢と希望を持てる社会の構築を目指して～　」 (2)演習 ワークショップ①「パートナーシップについて考える」 ワークショップ②「地域共生社会の実現に向けて、自社でできること」 講師 特定非営利活動法人トチギ環境未来基地代表理事並びに一般社団法人栃木県若年者支援機構副代表理事　　塚本　竜也氏	10人

エ　企業、労働組合等が実施する社会貢献活動の相談調整

- 福祉車両寄贈
  - 日本テレビ　24 時間テレビ福祉車輌寄贈　4 施設（計 4 台）
  - 生命保険協会栃木県協会　2 社協（計 2 台）
- 車いす寄贈

株式会社ツルハホールディングス・クラシエホールディングス株式会社　5法人（計10台）
栃木県遊技業協同組合　3施設2社協（計10台）
北関東雪印メグミルク協会　3施設（計3台）

・ 絵本寄贈
NPO法人クロスワイズ　2施設（計20冊）
・ マスク寄贈
JAM（ジャム）北関東栃木県連　8施設（計2,000枚）
・ 子ども用マスク寄贈
四国団扇株式会社　1施設（計300枚）
・ 米穀の寄贈
株式会社ヨークベニマル　9社協（計1,030個、2,060キロ）
・ カレンダー寄贈
藤井産業株式会社、株式会社カナメ、一般社団法人栃木県銀行協会
（とちぎ福祉プラザ1階ボランティアルームで配布）
・ 紙おむつ寄贈　　とちぎコープから寄贈を受け、県内乳児院に配布
・ 商品寄贈
セブン－イレブンの店舗改装時等に発生する在庫商品の寄贈を受け、生活に困難を抱えた個人・世帯の支援を行うため社協に配布した　12社協
・ 物品寄贈　全国本田労働組合連合会ショーワ労働組合栃木支部　1施設

② 栃木県地域福祉振興基金（栃の実基金）事業の実施

地域における民間福祉活動の推進並びにボランティア活動の振興を目的として、栃木県地域福祉振興基金を活用し市民団体等への支援を行った。

ア 県域団体支援事業

No.	団体名	事業内容	助成額(円)
1	栃木県ボランティア連絡協議会	・研修の実施 ・機関紙の発行や各種イベント参加 ・相談事業　等	800,000
2	社会福祉法人栃木いのちの電話	・心の悩みについての相談（365日・24時間） ・相談員になるための研修 ・自殺防止の啓発を目的とした公開講座　等	400,000
合計　2団体			1,200,000

イ 市民団体支援事業

No.	団体名	補助事業内容	助成額(円)
1	フェアリーベル	・施設訪問演奏活動	200,000
2	音訳ボランティア「郭公の会」	・パソコンの購入	200,000
3	小山市職員おはやし振興クラブ	・楽器（太鼓）の修繕	200,000
合計　3団体			600,000

③ ボランティアコーディネーションセミナーの実施

基本的なボランティアコーディネーターとしての知識や技術を学ぶとともに、ボランティアと向き合う時の悩みや課題を共有し、ボランティアコーディネーション力の向上を図るために研修会を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
R3.3.1 （月）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	(1) 講義・演習 「課題解決に向けたボランティアコーディネーション力を高める　～〝私〟の悩みや課題から考える～」 講師 一般社団法人とちぎ市民協働研究会専務理事・事務局長　認定特定非営利活動法人宇都宮まちづくり市民工房常務理事　土崎　雄祐氏	6人

④　災害ボランティアセンター運営研修の実施

災害支援における ICT の活用や新型コロナ禍における災害支援のあり方やノウハウを学ぶための研修会を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
R3.1.28 （木）	オンライン	【第１部】講義 「災害時の IT 活用事例と検証中の災害 VC 運営システム」 講師 株式会社サイボウズ 災害支援チームリーダー　柴田　哲史氏 【第２部】講義・演習 「コロナ禍をふまえた新たな協働・連携」 講師 特定非営利活動法人　にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長　李　仁鉄氏	【第1部】 29人 【第2部】 22人

⑤　移動・外出支援セミナーの実施（新規）

移動・外出支援に関する制度理解を深めるとともに、県内の多様な主体による活動実践を交え、身近な地域生活課題としての移動・外出支援について考えるためセミナーを開催した。

期　日	場　所	内　　容	参加者数
R2.11.5 （木）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	（１）講義 「外出や移動支援に関する法律や制度の理解と支え合い・助け合いによる移動支援の実践事例」 講師　特定非営利活動法人　全国移動サービスネットワーク 副理事長　河崎　民子氏 （２）実践発表／パネルディスカッション 発表者／パネリスト ① 外出支援事業 笑顔咲く佐久山　さくやま１号の取組 佐久山地区社会福祉協議会 外出支援事業 事業部長 滝田　法幸氏 佐久山地区第２層協議体 生活支援コーディネーター 中津　昭一氏	77 人

		② 介護事業所との連携による買物支援活動 小山市第１層協議体 生活支援コーディネーター宮川　ゆり子氏 　コーディネーター 　特定非営利活動法人　全国移動サービスネットワーク 副理事長　河崎　民子氏	

⑥　各種助成事業の情報提供等

地域福祉の推進及びボランティア活動支援を対象とした、各種団体の助成情報を市町社協並びにボランティア団体等に提供した。

⑶　関係機関・団体との連携及び支援

①　福祉ボランティアネットワーク化推進事業の実施

ア　研修の開催

県内の市町社協、ボランティア中間支援団体等を対象に、ボランティア活動の推進、受け入れ等に関わる関係団体・機関・企業とネットワーク構築を行う必要性を理解しそのプロセスや、協働のまちづくりを進めるための仲間づくりのコツを学ぶため研修を実施した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.12.11 （金）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	(1) 講義・演習 「ネットワーキング　～協働のまちづくりを進めるための仲間づくりのコツ～　」 講師 一般社団法人とちぎ市民協働研究会 専務理事・事務局長　認定特定非営利活動法人宇都宮まちづくり市民工房常務理事　土崎　雄祐氏	6人

②　災害時福祉救援ボランティア推進事業の実施

ア　栃木県・日光市総合防災訓練

本会独自訓練として職員の安否確認訓練を実施した。

期　日	場　所	内　容
R2.8.30（日）	日光市 日光運動公園	【総合防災訓練の訓練内容】 中止 【本会独自の訓練内容】 ・安否確認訓練〈R2.10.6（火）実施〉

③　福祉ボランティア団体育成・指導事業の実施

県内福祉ボランティア団体の育成、ボランティア団体間の連携強化を図ることを目的として、栃木県ボランティア連絡協議会に研修会の開催を委託した。

④　栃木県ボランティア連絡協議会との連携

栃木県ボランティア連絡協議会と連携・協力し、県内のボランティア・社会参加活動の振興を図った。

3　福祉教育の推進

⑴　福祉教育プログラムの開発・推進

①　人権・福祉教育推進セミナーの開催

地域社会の担い手育成の中核となる人権教育、福祉教育担当者を対象に社会福祉への理解と関心を高めるための人権・福祉教育に関するセミナーを開催した。

期日	場　所	内　容	参加者数
R2.10.15 （木）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	⑴講義「当事者とともに取り組む人権・福祉教育」 【講師】 宇都宮短期大学　教授　宮脇　文恵氏 ⑵講義・演習「発達障害についての理解と寄り添うための工夫を考える」 【講師】 ぽっぷ☆こーん代表　櫻井　栄里氏 ⑶質疑応答・まとめ	11人

②　福祉教育推進リーダー養成研修会の開催

多様性や異文化への理解を深め、地域の外国人へのかかわり方について考えることを目的として本研修を開催した。

期日	場　所	内　容	参加者数
R3.1.18 （月）	オンライン	⑴講義「福祉教育と外国籍の方との共生について」 講師　国際医療福祉大学 准教授 大石 剛史 氏 ⑵とちぎ福祉教育研究会第5期活動報告 ⑶ シンポジウム 「地域における外国籍の方の現状と外国籍の方の理解を育むための福祉教育について」 ＜シンポジスト＞ 国際医療福祉大学 准教授 大石 剛史氏 株式会社きぼう国際外語学院 栗又 由利子氏 石川 ヴィルジリー氏 グエン ゴック クオン氏 ⑷質疑応答・まとめ	14人

⑵　学習機会の提供

①「地域共生社会」普及啓発シンポジウムの開催

社会福祉施設、行政、社協、自治会、民生委員・児童委員、NPO・ボランティア等、地域福祉活動の実践者や地域づくりに関わる方を対象に、「地域共生社会」の実現に向けた地域づくりについて、シンポジウムを開催した。

期日	場所	内容	参加者数
R3.1.22 （金）	オンライン	⑴ 基調講演 「地域共生社会の実現に向けて～地域住民がともに参画し協働する地域づくりの意義とその実践について～」 講師　東洋大学　教授　加山　弾氏 ⑵ 実践発表／パネルディスカッション ①住民と関係機関の連携の場とネットワークづくりの取組 社会福祉法人市貝町社会福祉協議会	73 人

		事務局次長　北井　孝文氏 ②地域活性化のためのはつらつセンターの取組 社会福祉法人両崖福祉会 健康デイサービスセンターけやき 管理者　中島　敦史氏 ③地域の若者と若者を必要としている現場をつなぐ取組 特定非営利活動法人とちぎユースサポーターズネットワーク 代表理事　岩井　俊宗氏 コーディネーター 東洋大学　教授　加山　弾氏	

② 学童・生徒のボランティア活動普及事業（“小地域で考える”福祉教育推進モデル事業）の実施

おおむね中学校区の地域を 1 か所（矢板市全域）を指定し、市町社協が中心となって、指定地域内の小学校、中学校、高等学校、地域住民、ボランティア団体が連携し、地域内の子どもたちへの福祉教育推進事業を実施した。

ア　連絡会議の開催

期日	場所	内容	参加者数
R3.2.22 （月）	オンライン	(1)事業実施報告 【報告者】 矢板市社会福祉協議会　主任　佐川　裕隆氏 (2)講義及びアドバイス 「小地域での福祉教育事業の展開～これからの福祉教育で大事な視点～」 【アドバイザー】 国際医療福祉大学　准教授／とちぎ福祉教育研究会 副座長　大石　剛史氏	4 人

③ 福祉講座・ボランティアスクール等の企画の相談、高齢者疑似体験装具の貸出、講師の紹介・派遣等の実施

ア　高齢者疑似体験装具の貸出（16 回）：再掲

イ　福祉講座等の企画の相談・講師紹介等（随時）

⑶ 福祉教育推進の基盤整備

① とちぎ福祉教育研究会

地域での様々な生活課題を学習素材とし、地域における福祉課題を共同して解決する力や、地域住民の福祉力を育むとともに、栃木県における新しい福祉教育のあり方、県内市町社協の福祉教育事業の推進を目的として、とちぎ福祉教育研究会を設置し研究を行った。（構成メンバー：教員、市町社協職員、県社協職員等）

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.6.26(金)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・モデルプログラムの作成について ・その他	11人
R2.7.17(金)	宇都宮市 とちぎ福祉	・モデルプログラムの作成について ・その他	7人

	プラザ		
R2.8.28（金）	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	・モデルプログラムの作成について ・その他	10人
R2.10.30(金)	宇都宮市とちぎ福祉プラザ オンライン併用	・模擬ウォークラリーについて ・福祉教育推進リーダー養成研修について ・全国福祉教育推進員フォローアップセミナーの報告	10人
R2.11.27(金)	野木町内	・模擬ウォークラリーの実践	10人
R2.12.25(金)	宇都宮市とちぎ福祉プラザ オンライン併用	・模擬ウォークラリーの振り返り ・福祉教育推進リーダー養成研修について ・高校生サミットについて	10人
R3.1.25(月)	オンライン	・福祉教育推進リーダー養成研修の振り返り ・高校生サミットについて ・第5期報告書について ・第6期の活動について	11人
R3.2.8(月)	オンライン	・コロナ禍における福祉教育の現状と課題（座談会） ・第6期の活動について ・高校生サミットについて	10人
R3.3.10(水)	オンライン	・第6期の活動について ・高校生サミットについて	7人

4　民生委員・児童委員活動との協働

⑴　栃木県民生委員児童委員協議会との連携・協働

栃木県民生委員児童委員協議会の主催する事業への協力及び協働活動を推進した。

①第 30 回栃木県民生委員児童委員大会〔中止〕

⑵　民生委員・児童委員活動の充実支援

①　単位民生委員児童委員協議会会長研修会の開催

民生委員児童委員活動の推進及び研鑽に資することを目的として、栃木県民生委員児童委員協議会と共催で実施した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.12.7 （月）	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	・行政説明 「地域福祉の動向と県行政施策について」 【説明者】栃木県保健福祉部保健福祉課 主幹兼課長補佐　河野　美穂子氏 ・基調講演 「民生委員・児童委員に期待される役割と今後の活動方向」 【講師】ルーテル学院大学　教授・学術顧問 市川　一宏氏	174人

②　新任・中堅民生委員児童委員研修会の開催

制度・施策などの動きを的確にとらえ、住民のさまざまな相談やニーズに応えられるよう民生委員児童委員の研鑽に資することを目的に実施した。

地区	期　日	場　所	内　容	参加者数
県央	第1日目 R2.9.25 （金）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	※各地区とも共通のプログラム 《第1日目》 ・基調講演「民生委員・児童委員の活動の概要と相談支援のポイント」 【講師】KT 福祉研究所 代表　松藤　和生氏 ・避難行動要支援者対策について 【講師】栃木県保健福祉部保健福祉課 ・地域共生社会の実現について 【講師】栃木県保健福祉部保健福祉課 ・成年後見制度について 【講師】栃木県保健福祉部保健福祉課 《第2日目》 ・生活困窮世帯の支援制度について 【講師】栃木県保健福祉部保健福祉課 ・見守り活動について 【講師】市町民生委員児童委員協議会 民生委員 ・子ども・子育て世帯の支援の概要について 【講師】栃木県保健福祉部子ども政策課	第1日目 135人 第2日目 132人
	第2日目 R2.10.19 （月）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ		
県北	第1日目 R2.9.30 （水）	第1日目 那須塩原市 黒磯文化会館小ホール		第1日目 137人 第2日目 133人
	第2日目 R2.11.4 （水）	第2日目 那須塩原市 三島ホール		
県南	第1日目 R2.10.27 （火）	栃木市 栃木文化会館		第1日目 151人 第2日目 133人
	第2日目 R2.11.10 （火）	栃木市 栃木文化会館		

③　心配ごと相談所相談員研修会の開催

相談援助の基本について学習し、相談員の技術を高め、円滑な相談援助活動を実施するため、研修会を実施した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
R3.2.9 （火）	オンライン	・講義①「心配ごと相談所相談員の意義・役割と『新しい生活様式』における相談・支援活動」 ・講義②「事例から学ぶ相談活動の工夫・ポイントについて」 【講師】KT福祉研究所　代表　松藤　和生氏	26人

④　指定民生委員児童委員協議会への支援

民生委員児童委員協議会運営の充実強化を目的として、助成金を交付し民生委員児童委員活動の推進を図った。（2 地区）

助　成　先	助成額	助成年度
鹿沼市北押原地区民生委員児童委員協議会 小山市大谷北地区民生委員児童委員協議会	各63,000円	R1～2

⑤　市町民生委員児童委員協議会の要請に応じた支援活動の実施

各種会議、研修会等を通して、民生委員児童委員活動への支援を行った。

⑥　全国民生委員互助共励事業の実施

会員の死亡、傷病及び配偶者の死亡等に対する弔慰金または見舞金、並びに退任者に対

する慰労金の給付を行った。

〔全国民生委員互助事業給付〕

一般死亡	配偶者死亡	一般傷病	災害見舞	退任慰労	公務関係
7件	12件	25件	1件	24件	1件

⑦　民生委員・児童委員協力者等育成事業の実施

民生委員・児童委員活動について一層の周知・啓発を行い、地域全体でその活動を支える意識を醸成し、その協力者と将来の活動者を育成するため実施した。

ア　民生委員協力者・後継者育成講座の開催

期　日	場　所	内　　容	参加者数
R2.10.24 （土）	下野市 南河内公民館大ホール	・講演「民生委員・児童委員制度とその役割について」 【講師】 国際医療福祉大学 教授　小林　雅彦氏 ・実践発表及びパネルディスカッション 【コーディネーター】 国際医療福祉大学 教授　小林　雅彦氏 【発表者】 南河内地区民生委員児童委員協議会 会長　渡邊　欣宥氏 国分寺地区民生委員児童委員協議会 会長　小貫　シゲ子氏 石橋地区民生委員児童委員協議会 会長　軽部　益子氏	77人
R2.11.7 （土）	さくら市 氏家公民館ホール	・民生委員活動の実践発表 【発表者】 さくら市民生委員児童委員協議会連合会 会長　小林　行雄氏 ・民生委員活動一日体験の発表 さくら市社会福祉協議会氏家支部　主任相談員兼就労支援員 高久　京子氏 ・講演「民生委員の役割と地域との連携について」 【講師】 （一社）とちぎ市民協働研究会専務理事・事務局長 土崎　雄祐氏	42人
R2.12.10 （木）	芳賀町 農業者トレーニングセンター	・講演「民生委員の役割と地域との連携について」 【講師】 （一社）とちぎ市民協働研究会専務理事・事務局長 土崎　雄祐氏 ・民生委員活動の実践発表・質疑応答 【コーディネーター】 （一社）とちぎ市民協働研究会専務理事・事務局長 土崎　雄祐氏 【発表者】 芳賀町民生委員児童委員協議会 加藤　春江氏 菊池　富美雄氏	35人

イ　民生委員活動一日体験事業の実施

期　日	場　所	内　　容	参加者数
R2.10.4 （日）	さくら市 さくら市役所、さくら市内一人暮らし高齢者宅等	・民生委員制度の説明 【講師】 栃木県保健福祉部保健福祉課 専門研究員　神山　実愛氏 さくら市民生委員児童委員協議会連合会 会長　小林　行雄氏 ・訪問活動への同行 ・ふりかえり、講評	3 人

5　共同募金会との協働

共に地域福祉の推進を図るパートナーとして、共同募金の趣旨、役割の周知と理解の促進のため、各種募金活動への協力と歳末たすけあい運動に参加すると共にポスターを作成した。

また、各種研修、事業等で連携を図った。

6　障害者の社会参加の促進

⑴　とちぎ視聴覚障害者情報センター（点字図書館・聴覚障害者情報提供施設）の充実

点訳・音訳図書の製作・貸出を実施するとともに、手話通訳者、要約筆記者の養成及び派遣支援を行うことにより、視聴覚障害者への情報提供や社会参加の促進を図った。また、点訳・音訳に携わるボランティアの養成・技術の向上を目的とした講習会を開催し、ボランティア活動の支援等を行った。

とちぎ視聴覚障害者情報センター利用者数及び活動者数

視覚障害	聴覚言語障害	奉仕員等	計
15,924人	1,140 人	1,457 人	18,521 人

①　点字図書館だより等の発行〔再掲〕

新刊図書案内、センターからのお知らせ等利用者及び関係機関への広報を行った。

ア　点字図書館だより（年 4 回発行）

〔発行部数〕

点　字	墨　字	テープ	デイジー
各230部	各 550 部	各 15 部	各 61 部

イ　各種情報の提供

	発行頻度	発行部数	提供方法
声の情報若草	月 1 回	各 83 巻	デイジー・カセットテープ貸出
福祉労働	年 4 回	各 7 巻	デイジー貸出
とちぎタウンガイド	年 4 回	各 28 巻	デイジー貸出
ステレオ	月 1 回	各 19 巻	デイジー貸出

②　点字図書館の整備・貸出

視覚障害者に各種の情報を提供するため、点字・録音図書等の整備・貸出を行った。

ア　点字・録音図書利用状況

利用者数	貸出冊数	新規登録者数
15,924人	42,019冊	14人

〔図書貸出状況内訳〕

	点字図書			録音図書				合計
	点字	ＤＬ	計	テープ	ＣＤ	ＤＬ	計	
０ 総 記	14	843	857	0	30	307	337	1,194
１ 哲 学	6	1,083	1,089	0	87	989	1,076	2,165
２ 歴 史	16	526	542	0	95	892	987	1,529
３社会科学	17	1,141	1,158	0	79	1,650	1,729	2,887
４自然科学	100	1,499	1,599	4	71	2,308	2,383	3,982
５ 技 術	50	1,009	1,059	0	21	883	904	1,963
６ 産 業	7	227	234	0	14	89	103	337
７ 芸 術	26	874	900	0	110	2,003	2,113	3,013
８ 言 語	33	378	411	0	9	744	753	1,164
９ 文 学	335	9,485	9,820	392	3,001	10,519	13,912	23,732
そ の 他	0	44	44	0	9	0	9	53
合 計	604	17,109	17,713	396	3,526	20,384	24,306	42,019

〔点字・録音雑誌貸出状況内訳〕

	点字雑誌			録音雑誌			
	点 字	Ｄ Ｌ	計	テープ	Ｃ Ｄ	Ｄ Ｌ	計
タイトル数	366	0	366	187	4,652	90	4,929
冊（巻）数	366	0	366	187	4,652	90	4,929

〔点字・録音図書蔵書数〕

図書名	点字図書	録音図書	デイジー図書
タイトル数	11,291	5,055	5,075
冊（巻）数	37,259	31,918	5,086

イ　サピエの利用

視覚障害者等の目で文字を読むことが困難な方々に対して、さまざまな情報を点字、音声データで提供するネットワーク（サピエ）を通じて、点字・録音図書の登録、点字データのアップ・ダウン、オンラインリクエストによる相互貸借を行った。

・　図書の登録　　点字図書　　104 タイトル、録音図書（CD）　　60 タイトル

・　コンテンツの登録

	点字データ	音声デイジー	テキストデイジー
アップタイトル数	105	76	5
ダウンタイトル数	9,224	22,742	423

・　相互貸借　　オンラインリクエスト（送信数　2,730回・受信数　1,580回）

③　音訳技術講習会の開催

雑誌、蔵書の音訳活動をしているボランティアの音訳技術の更なる向上を目指して講習会を開催した。

期 日	場 所	内 容	参加者数
R2.12.10（木）	宇都宮市	読書バリアフリーか	80人

	とちぎ福祉プラザ	ら考えるこれからの音訳	

④　専門書点訳ボランティア養成研修会の開催

点字図書館で不足している専門書の増加を図るため、専門書の点訳を行うボランティアの養成を行った。

期　日	場　所	内　容	参加者数
R3.2.9（火）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	楽譜点訳の基礎講座	2人

⑤　ＤＡＩＳＹ図書製作ボランティアの養成

ＤＡＩＳＹ図書（デジタル録音図書）を製作するボランティアの養成を行った。

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.8.25（火） R2.9.1（火）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	デイジー録音図書編集ソフトを使用したパソコンによるCD図書製作のための知識の習得	各6人

⑥　県内点訳・音訳グループとの連携

県内点訳・音訳グループを対象とした研修会を開催し、情報を共有するとともに連携を強化した。

事業名	期　日	場　所	内　容	参加者数
とちぎ視聴覚障害者情報センター点字図書館ボランティア募集説明会及びボランティア懇談会	R3 2.12(金)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・センターの見学とボランティア活動についての詳細説明 ・質疑応答	7人

⑦　点字ニュース即時提供事業の実施

点字情報を、インターネットを利用して情報を提供した。

ア　ＪＢニュース（点字版）の配布

公共図書館　1か所、視覚障害者関係団体　2か所、視覚障害者　3人

イ　インターネットによる情報提供（利用者　18人）

⑧　県広報誌の作成（点字・音声）

ア　点字広報誌「とちぎ」及び声の広報「とちぎ」の製作等

・点字広報誌「とちぎ」の点訳、印刷製本、発送（12回＋特別号　発行部数340部）

・声の広報「とちぎ」の音訳、製作、発送（12回＋特別号　発行本数160本）

イ　「県議会とちぎ」（点字版）（音声版）の製作等

・「県議会とちぎ」（点字版）の点訳、印刷製本、発送（4回発行　発行部数330部）

・「県議会とちぎ」（音声版）の音訳、製作、発送（4回発行　発行部数140本）

⑨　プライベートサービスの実施

視覚障害者等への図書や資料の個人的な点訳サービス等を行った。

・　点訳等　121件

⑩　earたより21の発行〔再掲〕

聴覚障害者への情報提供のため、earたより21を発行した。

（年4回発行　発行部数　各850部）

⑪　字幕（手話）入りビデオ・DVDライブラリーの整備・貸出

聴覚障害者に各種の情報を提供するため、字幕（手話）入りビデオ・DVD の整備・貸出を行った。

〔字幕（手話）入りビデオ・DVD貸出状況〕

分　類	貸出本数	分　類	貸出本数
C　趣味・教養	24本	S　スポーツ	0本
D　記録・報道	16本	V　芸能・娯楽	0本
E　教育・教材	5本	X　手話	25本
F　映画・ドラマ	9本	Y　手話付きの番組	0本
H　健康	3本	Z　手話学習用	136本
J　子ども物・アニメ	10本	T　情報センター	14本
M　文字放送	0本	合　計	242本

〔年齢別等利用者数〕

年代	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	合計（人）
貸出者数	0人	0人	2人	0人	26人	49人	51人	1人	129人

ビデオ利用登録者数　571人

〔字幕（手話）入りビデオ・DVD蔵書数〕

タイトル数	本　数
3,352	4,945

⑫　通訳者の養成

新たな手話通訳者や養成講習会の成り手を養成するための養成講習会や試験対策講習会等を開催した。

ア　手話通訳者養成講習会の開催

	事業名	期　日	場　所	内　容	参加者数
県央会場	手話通訳者養成講習会 手話通訳Ⅰ	R2.4.11(土) ～R3.3.6(土)	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	実技・理論 全38回	19人
	手話通訳者養成講習会 手話通訳Ⅱ	R2.4.11(土) ～R3.2.20(土)		実技・理論 全36回	15人
	手話通訳者養成講習会 手話通訳Ⅲ 土曜コース	R2.4.11(土) ～R2.9.12(土)		実技・理論 全14回	10人
	手話通訳者養成講習会 手話通訳Ⅲ 木曜コース	R2.4.11(土) ～R2.9.12(土)		実技・理論 全14回	13人
県南会場	手話通訳者養成講習会 手話通訳Ⅰ	R2.4.11(土) ～R3.3.6(土)	栃木市栃木保健福祉センター	実技・理論 全38回	15人
	手話通訳者養成講習会 手話通訳Ⅱ	R2.4.11 (土) ～R3.2.20(土)		実技・理論 全36回	9人
県北会場	手話通訳者養成講習会 手話通訳Ⅰ	R2.4.11 (土) ～R3.3.6(土)	那須塩原市健康長寿センター	実技・理論 全38回	5人
	手話通訳者養成講習会 手話通訳Ⅱ	R2.4.11(土) ～R3.2.20(土)		実技・理論 全36回	7人

イ　要約筆記者養成講習会の開催

事業名	期　日	場　所	内　容	参加者数
要約筆記者養成講習会 （手書き・パソコン）	R2.6.6(土) ～R3.1.16(土)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	実技・理論　全29回	11人

ウ　手話通訳者、要約筆記者試験対策講習会の開催

事業名	期　日	場　所	内　容	参加者数
手話通訳者養成 フォローアップ講習会 〔弱点克服〕	R2.6.6(土) ～7.11(土)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	読取・表現等 全4回	6人
手話通訳者養成 フォローアップ講習会 〔受験対策〕	R2.9.5(土) ～11.28(土)		演習 全11回	15人
要約筆記者養成講習会修了者フォローアップ講習会	R2.7.18(土) ～R3.1.9(土)		認定試験振り返り・実技 全7回	12人
要約筆記者認定試験対策講習会	R3.1.23(土) ～2.13(土)		理論・実技・模擬試験 全4回	22人

エ　手話通訳ステップアップ講習会（補講）の開催

事業名	期　日	場　所	内　容	参加者数
手話通訳者養成 ステップアップ講習会	R2.9.1(火) ～R3.2.16(火)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	読取・表現等 全11回	21人

⑬　通訳者認定試験の実施

手話通訳者、要約筆記者派遣事業等で活動する栃木県登録手話通訳者、要約筆記者の認定試験を実施した。

ア　栃木県登録手話通訳者認定試験（受験者数　14人・合格者数　2人）

イ　栃木県登録要約筆記者認定試験（受験者数　22人・合格者数　8人）

⑭　通訳者の派遣等

手話通訳者、要約筆記者の派遣のほか、通訳者の資質向上を図るための各種研修の実施、派遣事業をより効率的に実施していくための運営委員会の開催などを行った。

ア　手話通訳者派遣支援事業の実施

手話通訳者派遣支援業務委託契約市町（12市町・2団体）

	医療	研修会	職業	公的機関	会議	教育	講演会	各種講習	各種大会	家庭	司法	その他	合計
件数	248件	1件	14件	19件	8件	43件	1件	2件	0件	32件	0件	73件	441件

イ　要約筆記者派遣支援事業の実施

要約筆記者派遣支援業務委託契約市町（17市町）

	医療	研修会	職業	公的機関	会議	教育	講演会	各種講習	各種大会	家庭	司法	その他	合計
件数	6件	2件	0件	0件	36件	0件	0件	9件	1件	0件	0件	2件	56件

ウ　県域障害者福祉団体への派遣
　手話通訳（51件　延120人）
　要約筆記（17件　延63人）

エ　通訳者の企業・団体等への斡旋
　手話通訳（418件　延915人）
　要約筆記（152件　延370人）

オ　通訳者の広域的な派遣調整等
　・県外からの依頼
　　手話通訳（39件　延41人）
　・県外への依頼
　　手話通訳（45件　延47人）〔ア　手話通訳者派遣支援事業の一部）〕
　　要約筆記（ 2件　延 8人）〔イ　要約筆記者派遣支援事業の一部）〕
　・県内におけるその他の派遣調整
　　手話通訳（10件　延13人）

カ　手話通訳者研修会の実施

期　日	場　所	内　容	参加者数
第1回 R2.6.12(金) ～6.14(日)	オンライン	【自宅研修】 読み取り通訳演習	84人
第2回 R2.7.25(土)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	【講義】 「国内外における電話リレーサービスの現状と課題」 ［講師］筑波技術大学　准教授　井上　正之氏 ＊要約筆記者と合同で実施	65人
第3回 R2.9.6(日)	矢板市 矢板市生涯学習館	【実技演習】 「現場に合った通訳（情報保障）を考える」 ＊要約筆記者と合同で実施	17人
第4回 R2.11.1(日)	栃木市 キョクトウとちぎ蔵の街楽習館	【実技演習】 「現場に合った通訳（情報保障）を考える」 ＊要約筆記者と合同で実施	18人
第5回 R2.11.29(日)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	【講義・演習】 「手話通訳者の成長を促すピアグループスーパービジョン」 ［講師］九州産業大学　教授　倉知　延章氏	35人
第6回 R3.2.28(日)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ オンライン併用	【演習】 「Zoomの使い方講座」 ［講師］一般社団法人とちぎ市民協働研究会 専務理事・事務局長　土崎　雄祐氏 ［協力］一般社団法人栃木県聴覚障害者協会 特定非営利活動法人栃木県中途失聴・難聴者協会 ＊要約筆記者と合同で実施	41人

キ　手話通訳者ピアグループスーパービジョンの実施
　手話通訳者の精神的な負担を軽減し、専門職としての意識向上を目指すための研修を実施した。

期　日	場　所	対　象	参加者数
R2.9.6(日)	矢板市 矢板市生涯学習館	栃木県登録手話通訳者	9人
R2.11.1(日)	栃木市 キョクトウとちぎ蔵の街楽習館	栃木県登録手話通訳者	12人
R3.1.22(金)	中止		―

ク　栃木県登録（1～3年目）手話通訳者研修会の実施

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.12.14(月) ～20(日) R2.12.27(日)	オンライン 宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	【自宅研修・集合研修】 (1)読み取り通訳演習 (2)場面通訳演習 (3)事例検討	自宅　16人 集合　9人

ケ　栃木県登録手話通訳者新人研修会の実施

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.5.30(土)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	【説明・演習】 (1)事業説明 (2)事例検討 (3)実技演習 ＊要約筆記者と合同で実施	8人

コ　栃木県登録手話通訳者実技講習会の実施

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.12.13(日)	中止		―
R3.1.28(木) ～2.6(土)	オンライン	【自宅研修】 (1)事例検討 (2)場面通訳演習 ＊要約筆記者と合同で実施	5人

サ　要約筆記者研修会の実施

期　日	場　所	内　容	参加者数
第1回 R2.7.25(土)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	【講義】 「国内外における電話リレーサービスの現状と課題」 ［講師］筑波技術大学　准教授　井上　正之氏 ＊手話通訳者と合同で実施	35人
第2回 R2.9.6(日)	矢板市 矢板市生涯学習館	【実技演習】 「現場に合った通訳（情報保障）を考える」 ＊手話通訳者と合同で実施	14人
第3回 R2.11.1(日)	栃木市 キョクトウとちぎ蔵の街楽習館	【実技演習】 「現場に合った通訳（情報保障）を考える」 ＊手話通訳者と合同で実施	10人
第4回 R3.2.28(日)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ オンライン	【演習】 「Zoomの使い方講座」 ［講師］一般社団法人とちぎ市民協働研究会 専務理事・事務局長　土崎　雄祐氏	35人

	併用	［協力］一般社団法人栃木県聴覚障害者協会 特定非営利活動法人栃木県中途失聴・難聴者協会 ＊手話通訳者と合同で実施	

シ　栃木県登録要約筆記者新人研修会の実施

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.5.30(土)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	【説明・演習】 (1)事業説明 (2)事例検討 (3)実技演習 ＊手話通訳者と合同で実施	4人

ス　栃木県登録要約筆記者実技講習会の実施

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.12.13(日)	中止		―
R3.1.28(木) ～2.6(土)	オンライン	【自宅研修】 (1)事例検討 (2)場面通訳演習 ＊手話通訳者と合同で実施	2人

セ　栃木県手話通訳者・要約筆記者派遣事業運営委員会等の開催

・運営委員会

期　日	場　所	内　容
R3.3.5(金)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	【報告・協議】 (1)令和2年度手話通訳者・要約筆記者派遣事業の報告及び令和3年度事業計画 (2)令和2年度手話通訳者・要約筆記者派遣事業実態調査の報告 (3)令和3年度栃木県登録手話通訳者・要約筆記者の派遣登録更新に係る指定研修について (4)栃木県登録手話通訳者・要約筆記者の派遣停止者の再登録条件について (5)遠隔手話通訳について (6)派遣事業運営委員の委嘱期間について

・手話部会

期　日	場　所	内　容
R3.3.13(土)	書面	

・要約筆記部会

期　日	場　所	内　容
R3.3.13(土)	書面	

ソ　意思疎通支援事業担当者（派遣コーディネーター）会議の実施

各市町における意思疎通支援事業の担当者や派遣コーディネーターが直面する課題を整理し、通訳者派遣等をより適切に行うための会議を実施した。

期　日	場　所	内　容
R2.7.31(金)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	【説明・情報提供】 「新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の取組みについて」 ［報告者］一般社団法人栃木県聴覚障害者協会　等 【意見交換・情報共有】
R3.2.22(月)	オンライン	【説明・情報提供】 「本県における遠隔手話通訳の取組みについて」 ［報告者］栃木県保健福祉部障害福祉課 【意見交換・情報共有】

タ　頸肩腕検診の実施

期　日	場所・依頼先	対象者	受診者数
R2.11.2(月) ～R3.2.26(金)	医療法人社団宇光会村井クリニック	(1)栃木県登録手話通訳者 (2)栃木県登録要約筆記者 (3)手話通訳者養成講習会 ろう講師 (4)盲ろう者向け通訳介助員	60人

⑮　聴覚障害者向け相談支援（98件）

⑯　障害者のための情報機器技術習得研修会の開催

視聴覚障害者が自らパソコンでインターネット、電子メール等で情報を入手し、生活に活用できる環境作りの支援を目的として研修会を開催した。

事業名	期　日	場　所	内　容	参加者数
パソコン教室開催事業 (視覚障害者)	R2.10.17（土）、11.7（土）11.21（土）、12.5（土）、R3.1.22（金）、2.6（土）、2.19（金）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	パソコン操作の技術習得	延23人
パソコン教室開催事業 (聴覚障害者)	R2.10.24（土）、31（土）		Web会議・研修等向けソフト「Zoom」の使い方	延22人

⑰　情報機器等の貸出

機　器　名	貸出件数	機　器　名	貸出件数
デイジー再生機器	0件	映像再生機器	0件
録音機器	10件	パソコン機器	8件
ヒアリングループ	0件	カメラ等	2件
投影機器	8件	合計	28件

⑵　障害者差別解消法など法制度改正等への適切な対応

社会的障壁の除去の実施についての必要かつ合理的な配慮を的確に行うため、事務所、会議室等の構造の改善及び設備の整備、職員に対する意識啓発など、必要な環境の整備に努めた。

⑶ とちぎセルプセンターの充実強化

① とちぎセルプセンターへの職員配置

とちぎセルプセンターは、就労支援事業所等の作業の受注確保や商品の販路拡大、新商品（独自商品・ブランド商品）の開発や技術支援、共同受注システムのネットワーク化を図ることを目的として設置され、現在本会職員が円滑に事業が実施できるよう運営支援を行っている。

② おもいやり駐車場スペースつぎつぎ事業

表示板設置協力施設からの申出を受け、セルプセンターの会員事業所においてステッカー貼付作業を行った。

⑷ 関係団体等との連携及び支援

① 栃木県障害者スポーツ大会（中止）

② 栃木県障害者文化祭（中止）

③ 各種当事者組織に対する支援の実施

④ 第22回全国障害者スポーツ大会情報支援スタッフの養成

令和 4（2022）年に本県で開催される第 77 回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」及び第 22 回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」に参加する聴覚に障害のある選手、役員及び観客に対して、手話や筆談、要約筆記により、適切な情報を保障する情報支援スタッフを養成するための事業を行った。

ア 情報支援スタッフ養成連絡会議の開催

情報支援スタッフを計画的に養成するための協議を行った。

期 日	場 所	内 容	参加者数
R2.9.25 (金)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	【報告・協議】 (1)令和2年度事業の経過報告について (2)今後の事業スケジュールについて (3)普及啓発について	12人
R2.11.26 (木)	宇都宮市 カンセキス タジアムと ちぎ	【視察調査】 (1)カンセキスタジアムとちぎ視察調査	12人
R3.3.31 (水)	書面		―

イ 情報支援スタッフ養成連絡会議部会の開催

手話・要約筆記等の各分野における部会を設置の上、令和3（2021）年からの情報支援スタッフ養成の実施に向け、テキスト附属DVDの作成及び指導者・リーダーの役割・人選等について検討した。

・手話部会

期 日	場 所	内 容	参加者数
R2.6.30 (火)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	【報告・協議】 (1)情報支援スタッフ養成テキスト(手話編)附属DVDの内容について	4人

R2.7.28 (火)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	【報告・協議】 (1)情報支援スタッフ養成テキスト(手話編)附属DVDの撮影について (2)情報支援スタッフの養成・配置及び指導者・リーダーの選出について	3人
R2.9.15 (火)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	【報告・協議】 (1)指導者・リーダーの選出について (2)指導者・リーダー研修演習の準備について	4人
R3.3.16 (火)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	【報告・協議】 (1)事業の進捗状況について (2)リーダーの選出について	3人

・要約筆記部会

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.7.30 (木)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	【報告・協議】 (1)情報支援スタッフの養成・配置及び指導者・リーダーの選出について	4人
R2.9.17 (木)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	【報告・協議】 (1)指導者・リーダーの選出について (2)指導者・リーダー研修演習の準備について	4人
R3.3.18 (木)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	【報告・協議】 (1)事業の進捗状況について (2)リーダーの選出について	4人

ウ　情報支援スタッフ養成テキスト(手話編)附属 DVD の制作

情報支援スタッフ養成テキスト(手話編)に附属する DVD の撮影を行った。

(出演者)

一般社団法人栃木県聴覚障害者協会

石川　有沙氏、稲川　直樹氏、大橋　祐生氏、長内　健介氏、小野里　真美氏

川岸　泰彰氏

栃木県手話通訳士協会

大橋　ひとみ氏、手塚　靖子氏

栃木県手話通訳問題研究会

石井　智子氏、渡邊　千浪氏

(撮影・編集)アイネット・ビデオクリエイト

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.7.19 (日)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	【撮影】 (1)単語・例文等の撮影	8人
R2.8.22 (土)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	【撮影】 (1)単語・例文等の撮影	8人
R2.9.19 (土)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	【撮影】 (1)単語・例文等の撮影 (2)歌の撮影	8人
R2.10.12 (月)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	【撮影】 (1)単語・例文等の撮影 (2)歌の撮影	4人

R3.1.5 (火)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	【撮影】 (1)単語・例文等の撮影	3人

エ　先催県視察調査

第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」及び第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」における情報支援スタッフの活動内容及び養成方法について視察調査を計画していたが、新型コロナウイルスの影響により両大会が延期となった。

オ　指導者・リーダー研修

情報支援ボランティア養成講座における指導者や、競技会場等においてスタッフを統括するリーダーを養成するための研修を行った。

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.8.9(日)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	【説明】 (1)令和2年度情報支援スタッフ指導者・リーダー研修について	86人
R2.9.20 (日)	中止		―
R2.9.27 (日)	中止		―
R2.11.15 (日)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	【演習】 (1)情報支援スタッフ養成講座に向けた指導演習	113人
R2.11.23 (月)	宇都宮市 カンセキス タジアムと ちぎ	【競技見学会】 (1)障害者スポーツ(陸上競技)見学会	27人
R2.12.6 (日)	宇都宮市 栃木県総合 運動公園	【競技見学会】 (1)障害者スポーツ(フライングディスク競技)見学会	15人
R2.12.13 (日)	宇都宮市 みずほの中 央公園	【競技見学会】 (1)障害者スポーツ(アーチェリー競技)見学会	7人
R2.12.20 (日)	中止		―
R3.1.10 (日)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	【演習】 (1)情報支援スタッフ養成講座に向けた指導演習	44人

カ　普及啓発

関係事業等で、情報支援スタッフ養成事業の普及・啓発等を実施した。

キ　情報支援スタッフ養成テキストの製本

令和3（2021）年度に開催する情報支援スタッフ養成講座で使用するテキスト2種（手話編・文字情報支援編）の製本を行った。

ク　情報支援スタッフ登録証の発行

情報支援スタッフに申込みのあった方に対し、登録証を発行した。

7　福祉拠点における活動の充実

⑴　とちぎ福祉プラザの円滑な運営

栃木県からの指定管理(令和元年～５年度)をうけて、とちぎ福祉プラザの管理運営業務を行った。

①貸出施設利用状況

➢ とちぎ福祉プラザ（開館日数 334 日）

施設区分等	利用回数等（回）	利用者数(人)
多目的ホール	235	20,416
特別会議室	147	1,766
レクリエーション室	336	2,738
和　室	157	836
調理実習室	60	625
第１研修室	362	8,561
第２研修室	428	11,095
２０１会議室	449	3,601
福祉研修室	399	18,758
３０１会議室	336	3,588
４０１会議室	335	3,528
４０２会議室	321	2,695
４０３会議室	315	2,739
４０４会議室	384	4,462
相談室	195	634
受付・案内対応	－	5,893
視察・見学	2	44
モデルルーム	－	667
合　計	4,461	92,646

➢ 障害者スポーツセンター（わかくさアリーナ）（開館日数 253 日）

施設区分等	利用回数等（回）	利用者数(人)
アリーナ全面	384	4,542
アリーナ半面	603	6,874
ＳＳＴ室①	103	914
ＳＳＴ室②	92	803
会議室	185	1,287
トレーニング室	103	113
多目的室	486	1,542
受付・案内対応	－	4,360
視察・見学	3	14
合　計	1,959	20,449

②とちぎ福祉プラザ管理運営協議会

民間福祉活動の拠点としてのとちぎ福祉プラザの機能を活かすため、とちぎ福祉プラザ入居団体との連絡調整を行った。（年２回：R2.7.16、R3.1.26、入居団体数　33）

Ⅱ　市町社協活動の推進・支援

1　市町社協の基盤強化と事業への支援

(1)　「社協・生活支援活動強化方針」の推進

①　地域福祉活動計画策定の支援

ア　策定事業への助成

計画策定にかかる経費の一部を栃木県地域福祉振興基金（栃の実基金）から助成した。

助　成　先	助　成　額
日光市社会福祉協議会、小山市社会福祉協議会 芳賀町社会福祉協議会、野木町社会福祉協議会 那須町社会福祉協議会、那珂川町社会福祉協議会	1,462,096 円

イ　地域福祉推進セミナーの開催

市町が策定する地域福祉計画及び市町社協が策定する地域福祉活動計画の意義や策定手法を学ぶ研修会を実施した。

期 日	場　所	内　　容	参加者数
R3.1.29 （金）	オンライン	講演 「地域共生社会実現に向けた 地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定」 講師 高崎健康福祉大学健康福祉学部社会福祉学科 教授 金井 敏 氏 実践報告／パネルディスカッション 「山形市における包括的な支援体制の構築と地域福祉計画・活動計画について」 報告者／パネラー 山形市役所 福祉推進部生活福祉課 課長補佐 大沢 紀夫氏 福）山形市社会福祉協議会地域福祉課 課長 江部直美氏 コーディネーター： 高崎健康福祉大学 教授 金井 敏氏	33 人

ウ　策定社協への個別支援

計画づくりに取り組む社協へ必要な情報の提供等の支援を行った。

②　コミュニティワークの推進と相談支援体制の強化

地域福祉の推進を図るための「人づくり」「組織づくり」等を支援するため、研修会等を実施した。

ア　社協コミュニティワーク研修会（基礎編・認定コース）

10 期生の研修を実施し、修了者には修了証及び認定カードを交付した。

期 日	場　所	内　　容	参加者数
R2.6.11 （木）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	(1)講義・演習「コミュニティワーク論①（地域福祉と社協、コミュニティワーク概論）」 (2)講義・演習「コミュニティワーク論②（コミュニティワークの具体的な日常業務、個別支	12 人

期 日	場 所	内 容	参加者数
		援と地域支援の違い、３つの目標ほか）」 講師　日光市社会福祉協議会 地域福祉戦略室長　松本　昌宏氏	
R2.9.8 （火）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	(1)演習「記録の作成方法①（地区カルテ・行動記録・支援計画・長期経過記録・その他の記録の基礎）」 講師　日光市社会福祉協議会 地域福祉戦略室長　松本　昌宏氏 (2) 講義・演習「コミュニティワーク論③（コミュニティワークの実践方法、プログラム開発、プログラム評価ほか）」 講師　明治学院大学 准教授　榊原　美樹氏	7 人
R2.11.13 （金）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	(1) 講義・演習「記録の作成方法②（事業企画シート、目標とプログラム）」 (2) 講義・演習「コミュニティワーク論④（事例検討の意義、方法、事例検討の実際ほか）」 講師　日光市社会福祉協議会 地域福祉戦略室長松本　昌宏氏	10 人
R3.3.4 （木）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	(1)演習「プログラム発表、全体総括」 講師　日光市社会福祉協議会 地域福祉戦略室長　松本　昌宏氏	4 人

イ　生活支援活動強化推進事業の実施

住み慣れた地域で暮らし続けられるように支援することを目的に、住民に身近な圏域における福祉活動、地域づくりを推進するためモデル地域を選定し（2 か所）、アドバイザーを設置して事業を実施した。

・モデル社協：佐野市社会福祉協議会(1 年目)

・アドバイザー：宇都宮短期大学　教授　宮脇　文恵氏

事業名	期 日	場 所	内 容
地区担当者会議	R2.10.2(金)	佐野市 佐野市社協 オンライン併用	(1)地区との関わりや仕事の進め方などで悩みや課題 (2)地区担当者と地区社協支援職員との協働、連携について
地区社協支援職員研修会	R2.11.6(金)	佐野市 佐野市社協	(1)講義「社協は、何をするところ？」～「私の仕事」と地域のつながり (2)社会資源マップ作り
地区担当者会議	R3.1.15(金)	佐野市 佐野市社協 オンライン併用	(1) 仕事の仕訳について (2) 地区社協支援職員との協働連携について
佐野市地区社会福祉協議会連絡会	R3.2.3（水）	佐野市 佐野市社協 オンライン併用	(1) 講義「8050 問題」と、私たち ～本人と家族の気持ちを知り、地域で共に暮らす～

事業名	期 日	場 所	内 容
地区社協支援職員研修会	R3.3.12(金)	佐野市 佐野市社協	地域支援を行っていくための視点と行動

・モデル社協：矢板市社会福祉協議会(1年目)
・アドバイザー：宇都宮短期大学　准教授　小野　篤司氏

事業名	期 日	場 所	内 容
担当職員研修会	R2.7.7（火）	矢板市 矢板市社協	(1)講義「コミュニティワーク基礎研修」
職員研修会	R2.9.14(月)	矢板市 矢板市社協	(1)講義「地域共生社会の実現に向けた社協の求められる役割について」 (2)グループワーク 「地域共生社会の実現に向けた社協の求められる役割について」
担当職員研修会	R3.2.15(月)	矢板市 矢板市社協	(1)演習　矢板地区、片岡地区の地区カルテの作成、各地区の資源の把握や課題の共有

ウ　管理職対象コミュニティワーク研修会の開催

地域共生社会実現に向けた社協の役割や求められる取り組み学ぶため、管理職を対象に研修会を開催した。

期 日	場 所	内　　容	参加者数
R2.10.30 （金）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	(1)講義「地域共生・地域包括ケア時代の社協組織のあり方」 講師　国際医療福祉大学 教授　林　和美氏	18人

③　小地域福祉活動推進事業の推進

ア　「地域共生社会」普及啓発シンポジウムの開催（再掲）

社会福祉施設、行政、社協、自治会、民生委員・児童委員、NPO・ボランティア等、地域福祉活動の実践者や地域づくりに関わる方を対象に、「地域共生社会」の実現に向けた地域づくりについて、シンポジウムを開催した。

期日	場所	内容	参加者数
R3.1.22 （金）	オンライン	⑴ 基調講演 「地域共生社会の実現に向けて～地域住民がともに参画し協働する地域づくりの意義とその実践について～」 講師　東洋大学　教授　加山　弾氏 ⑵ 実践発表／パネルディスカッション ①住民と関係機関の連携の場とネットワークづくりの取組 社会福祉法人市貝町社会福祉協議会 事務局次長　北井　孝文氏 ②地域活性化のためのはつらつセンターの取組 社会福祉法人両崖福祉会 健康デイサービスセンターけやき	73人

		管理者　中島　敦史氏 ③地域の若者と若者を必要としている現場をつなぐ取組 特定非営利活動法人とちぎユースサポーターズネットワーク 代表理事　岩井　俊宗氏 コーディネーター 東洋大学　教授　加山　弾氏	

④　相談支援コーディネーター養成研修の実施

ア　相談支援コーディネーター養成研修の開催

地域共生社会の実現に向けて、市町において多機関が協働する包括的相談支援体制の中核を担う人材を育成するため、養成研修を開催した。（修了者 19 人）

回　数	期　日	場　所	内　容
第 1 回	R2.9.14(月)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	①講義「地域共生社会の実現と相談支援コーディネーターの役割」 講師　栃木県保健福祉部保健福祉課　主任 室井　靖之氏 ②講義「地域共生社会の実現と地域福祉論」 講師　厚生労働省社会・援護局　地域福祉課 包括的支援体制整備推進官 鏑木　奈津子氏 ③講義・演習「社会福祉援助技術総論」 講師　国際医療福祉大学 准教授　大石　剛史氏 ④講義「社会的孤立や複合的課題の理解①　生活困窮者支援の視点から」 講師　社会福祉法人佐野市社会福祉協議会 主査　堤崎　正人氏
第 2 回	R2.10.1(木)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	①講義「社会的孤立や複合的課題の理解②高齢者福祉の視点から」 講師　NPO 法人風の詩　理事長　永島　徹氏 ②講義「社会的孤立や複合的課題の理解③児童福祉の視点から」 講師　一般社団法人栃木県若年者支援機構 代表理事　栃木県子ども若者・ひきこもり総合相談センター長　中野　謙作氏 ③講義「社会的孤立や複合的課題の理解④成年後見制度」 講師　一般社団法人栃木県社会福祉士会 権利擁護センターぱあとなあとちぎ 松本　裕行氏 ④講義「社会的孤立や複合的課題の理解⑤障害者福祉の視点から」 講師　とちぎ障がい者相談支援専門員協会 会長　渡辺　純一氏
第 3 回	R2.10.26(月)	宇都宮市	①事例発表「包括的支援体制の構築」

		とちぎ福祉プラザ	事例発表者 ・栃木市地域包括ケア推進課 副主幹　中村　康広氏 ・香川県琴平町社会福祉協議会 会長　越智　和子氏 ②演習「包括的な支援体制整備における現状と課題」 講師　　国際医療福祉大学 准教授　大石　剛史氏
第4回	R2.11.16(月)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	①講義・演習「多機関連携のスキル①スーパービジョン」 講師　　NPO法人風の詩　理事長　永島　徹氏 ②講義・演習「多機関連携のスキル②ファシリテーション」 講師　　日本ファシリテーション協会 杉村　郁雄氏
第5回	R2.11.30(月)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	①講義「『制度の狭間』問題と多職種連携の意味 するところ」 ②演習「『社会的つながりが弱い人』の生活に活用できる地域資源をかんがえてみよう」 講師　　NPO法人風の詩　理事長　永島　徹氏
第6回	R2.12.21(月)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	①講義・演習「社会資源の開発手法」 講師　　金城学院大学　講師　橋川　健祐氏 ②演習「相談支援コーディネーターとしての活動展望（総括）」 講師　　国際医療福祉大学 准教授　大石　剛史氏 ③ 修了式

⑵ 地域福祉推進のための市町社協の運営基盤強化

① 市町社協事務局長会議の開催（書面）

② 市町社協役職員研修会の実施

ア 市町社協初任者職員研修会

新任社協職員として必要な基礎知識及び技術、仕事に取り組む基本的な姿勢を習得するため、研修会を開催した。受講者（前期：20人　後期：19人）

【前期】

回数	期 日	場 所	内 容
第1回	R2.6.30 （火）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・オリエンテーション ・社会福祉協議会の基本理念と役割 【講師】栃木県社会福祉協議会 地域福祉部長　齋藤　禎

回数	期 日	場 所	内 容
第２回	R2.7.6 （月）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・基礎実務①「日常生活自立支援事業の概要について」 【講師】栃木県社会福祉協議会　主査　鈴木　佐苗 ・基礎実務②「生活困窮者自立支援事業の概要について」 【講師】栃木県社会福祉協議会　主任　矢口　美穂 ・基礎実務③「生活福祉資金関係事業の概要について」 【講師】栃木県社会福祉協議会　主査　大野　定之 ・基礎実務④「民生委員制度やその活動、社協とのかかわりについて」 【講師】栃木県民生委員児童委員協議会 常務理事兼事務局長　荷見　晃氏
第３回	R2.7.13 （月）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・福祉教育論① 【講師】作新学院高等学校　教諭　森　照代氏 （とちぎ福祉教育研究会　座長） ・ボランティア・市民活動論① 【講師】矢板市社会福祉協議会 主任　佐川　裕隆氏
第４回	R2.7.20 （月）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・基礎実務⑤「市町社協における共同募金支会の役割について」 【講師】栃木県共同募金会　主事　粕谷　亜紀氏 ・ボランティア・市民活動論② 【講師】認定NPO法人宇都宮まちづくり市民工房 理事長　安藤　正知氏

【後期】

回数	期　日	場　所	内　容
第１回	R2.8.19 （水）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・オリエンテーション ・ビジネスマナー基礎① 【講師】有限会社エファ　代表取締役　菊地　理恵氏
第２回	R2.8.21 （金）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・ビジネスマナー基礎② 【講師】有限会社エファ　代表取締役　菊地　理恵氏
第３回	R2.8.31 （月）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・社会福祉援助技術論 【講師】国際医療福祉大学　准教授　大石　剛史氏 （とちぎ福祉教育研究会　副座長） ・コミュニティワーク論① 【講師】那須町社会福祉協議会 主任主査 木下　博之氏
第４回	R2.9.3 （木）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・コミュニティワーク論② 【講師】日光市社会福祉協議会　主査　中村　哲也氏 ・福祉教育論② 【講師】四天王寺大学　准教授　吉田　祐一郎氏 （とちぎ福祉教育研究会）
第５回	R2.9.11 （金）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・ボランティア・市民活動論③ 【講師】鹿沼市社会福祉協議会 主査　柴田　貴史氏

第6回	R2.9.18 （金）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・コミュニティワーク論③ 【講師】市貝町社会福祉協議会 事務局次長　北井　孝文氏 ・ふりかえり 栃木県社会福祉協議会　地域福祉・ボランティア課

イ　市町社協中堅職員研修会

中堅職員が将来、リーダー的存在を目指す職員として、役割について理解を深め、社協職員としての資質・能力の開発と向上を図るため、研修会を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.11.20 （金）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・講義・演習「ブラッシュアップ強化研修　～情報共有は組織強化のカギ！～　」 【講師】有限会社エファ 代表取締役　菊地　理恵氏	15人

ウ　市町社協管理職員研修会

管理職が自らの立場・役割を認識し、職員育成・組織運営管理に必要な知識を学び、住民への社協事業サービスの提供者として、資質・能力の開発と向上を図るため、研修会を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.12.24 （木）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・講義・演習「マネジメント育成研修」 【講師】有限会社エファ 代表取締役　菊地　理恵氏	11人

エ　市町社協トップセミナー

地域福祉を進める社協のトップとして、組織経営及び事業運営機能を高めるため、セミナーを開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
R3.2.25 （木）	オンライン	・講演「地域共生社会の実現と社会福祉協議会の使命と役割　～改正社会福祉法の概要と重層的支援体制整備事業～　」 【講師】国際医療福祉大学 教授　小林　雅彦氏	32人

オ　市町社協労務管理セミナー

労働関係法制度の動向について学び、適切な労務管理に役立てるためにセミナーを開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.8.25 （火）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・講義「働き方改革への対応について」 ・演習「有期雇用労働法対応のための取組手順書に基づく手順の演習」 【講師】社会保険労務士法人SILCS 代表社員社長　社会保険労務士　今井　洋子氏	20人

カ　市町社協経理研修会

初任者向けに日常の経理処理、社協の会計及び税務にかかる基礎や留意点について

研修会を開催した。

期 日	場 所	内 容	参加者数
R2.9.7 （月）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・講義「社会福祉協議会の会計の基礎について」 「社会福祉協議会の税務の基礎について」 【講師】根本明人税理士事務所 根本　明人氏	29 人

③　人事・労務管理アドバイザー事業の実施

労働及び社会保険に関する法令に適正に対応し健全な労働環境を整備するため、社会保険労務士と業務契約を結び、県内社会福祉協議会からの相談に対応した。（相談件数21 件）

④　栃木県地域福祉振興基金（栃の実基金）事業の実施

地域における民間福祉活動の推進並びにボランティア活動の振興を目的として、栃木県地域福祉振興基金を活用し、市町社会福祉協議会、市民団体等への支援を行った。

ア　地域福祉推進事業・ボランティア活動振興事業

No.	社協名	社協別No.	事業名	旧要領/新要領	補助年度		助成額(円)
					開始	終了	補助予定額
1	宇都宮市	1	地域の居場所づくりネットワーク事業	旧要領	H28	R2	300,000
		2	清原地区２０２５年福祉のまちづくりを考える会	旧要領	H29	R3	100,000
		3	城山地区サロン事業	旧要領	H29	R3	300,000
		4	宮の原地区サロン事業	旧要領	H29	R3	140,000
		5	泉が丘地区サロン事業	旧要領	H30	R4	240,000
		6	雀宮地区サロン事業	旧要領	H30	R4	260,000
		7	国本地区サロン事業	旧要領	H30	R4	190,000
		8	河内地区福祉のまちづくり計画（小地域福祉活動計画）策定	旧要領	H28	R2	200,000
		9	平石地区福祉のまちづくり計画（小地域福祉活動計画）策定	旧要領	H28	R2	200,000
		10	瑞穂野地区福祉のまちづくり計画（小地域福祉活動計画）策定	旧要領	H29	R3	200,000
		11	泉が丘地区福祉のまちづくり計画（小地域福祉活動計画）策定	新要領	R1	R5	200,000
2	足利市	1	障がい児・者ふれあいサロン「お陽さまカフェ」	旧要領	H29	R3	100,000
		2	ボランティア養成講座	旧要領	H29	R3	300,000
		3	地域福祉活動者研修事業	新要領	R1	R5	200,000
		4	災害ボランティアセンター機能強化事業	新要領	R1	R5	300,000
		5	足利市思いやりマップ作成事業	新要領	R2	R2	200,000
3	栃木市	1	認知症高齢者等見守り支援事業	旧要領	H30	R4	62,379
		2	我が事・丸ごと地域懇談会事業	旧要領	H30	R4	300,000
		3	親子ふれあいサロン事業（栃木地区）	旧要領	H30	R4	300,000
		4	地域力強化推進事業「コミュニティサロン（オレンジカフェ）」	旧要領	H30	R4	300,000

		5	大平地区社協サロン等支援事業	旧要領	H30	R4	91,540
		6	権利擁護システム整備事業	旧要領	H30	R2	118,800
4	佐野市	1	法人後見事業	旧要領	H30	R2	300,000
		2	地域福祉活動拠点整備事業	新要領	R1	R5	300,000
5	日光市	1	社会福祉法人の「地域における公益的な活動」推進事業	旧要領	H29	R3	300,000
		2	まちの縁側事業（今市モデル）	旧要領	H30	R4	300,000
		3	総合相談・生活支援体制強化事業	旧要領	H30	R2	280,000
		4	多様な協働・連携育み事業	新要領	R1	R3	300,000
		5	地域資源把握推進事業	新要領	R2	R2	300,000
		6	第3期日光市地域福祉活動計画策定事業	新要領	R1	R2	12,096
6	小山市	1	地区社協活動計画策定・フォローアップ事業	旧要領	H29	R3	300,000
		2	第4期小山市地域福祉活動計画	新要領	R2	R2	300,000
7	大田原市	1	小地域福祉活動計画策定事業	旧要領	H30	R4	100,000
		2	大田原市社会福祉法人連絡会活動事業	新要領	R1	R3	300,000
8	矢板市	1	地区社協設立事業	旧要領	H29	R2	150,000
		2	新たな居場所づくり推進事業	新要領	R2	R6	15,000
		3	居場所サポートネットワーク事業	新要領	R2	R6	150,000
		4	お元気マップ(外出支援)協力店フォローアップ事業	新要領	R2	R6	110,000
		5	ひとり暮らし高齢者等交流事業	新要領	R2	R6	140,000
9	那須塩原市	1	ボランティアセンター事業人材発掘・育成事業	新要領	R2	R2	300,000
10	さくら市	1	さくらレコードサロン	旧要領	H29	R3	300,000
		2	いきいきふれあいサロン	旧要領	H30	R4	300,000
		3	涙活	新要領	R1	R5	300,000
11	那須烏山市	1	地域福祉ボランティアネットワーク事業	旧要領	H28	R2	300,000
12	下野市	1	法人後見事業	新要領	R1	R5	300,000
13	益子町	1	おせっかい育成プロジェクト	新要領	R2	R6	300,000
14	茂木町	1	子ども食堂支援事業、子ども・子育て支援事業	旧要領	H29	R3	300,000
		2	みんなが支援者開拓事業	新要領	R1	R5	300,000
		3	自立した地域での暮らしのための段階的地域支援体制づくり事業	新要領	R1	R5	300,000
		4	居心地のいい居場所づくり事業	新要領	R1	R3	1,000,000
15	市貝町	1	小地域ネットワーク会議事業	旧要領	H28	R2	300,000
		2	障害者の居場所づくり事業	旧要領	H28	R2	250,000
		3	福祉防災訓練事業	旧要領	H30	R4	300,000
		4	総合相談機能強化事業	新要領	R1	R5	130,000
		5	権利擁護普及啓発にかかる協議体整備に向けた啓発事業	新要領	R1	R3	250,000
16	芳賀町	1	食事サービスを通したふれあい事業の	新要領	R1	R5	300,000

			開発				
		2	第2期地域福祉活動計画策定事業	新要領	R1	R2	300,000
17	壬生町	1	世代間交流事業（お達者サロン）	旧要領	H28	R2	220,000
18	野木町	1	法人後見事業	新要領	R2	R6	300,000
		2	地域福祉活動計画事業	新要領	R2	R3	300,000
19	那須町	1	ひきこもり対策支援人材発掘・育成事業	新要領	R2	R2	50,000
		2	第4期那須町地域計画・福祉活動計画策定事業	新要領	R2	R2	250,000
20	那珂川町	1	第3期那珂川町地域福祉活動計画策定事業	新要領	R2	R2	300,000
旧要領事業　小計				12社協　33事業			7,702,719
新要領事業　小計				17社協　30事業			7,807,096
合計				20社協　63事業			15,509,815

⑤　市町社協事業継続計画（BCP）策定事業の実施（新規）

ア　事業継続計画（BCP）研修会の開催

市町社協及び市町行政を対象に、BCP 策定の基本的な内容と策定の流れ、感染症対策 BCP のポイントについて理解を深めるための研修会を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.9.9 （水）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・講義 「事業継続計画とは」 「事業継続計画の検討の仕方」 「（参考）感染症対策の BCP」 講師 株式会社浜銀総合研究所　経営コンサルティング部　主任コンサルタント　江嶋　哲也氏	30人

イ　とちぎ社協事業継続計画（BCP）策定・運用検討会

市町社協における BCP の策定推進のため、社協の特性に応じた BCP 作成ツール【簡易版】を作成した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.9.29 （火）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・事業説明及び検討会スケジュールについて ・社協 BCP の基本的フレームワーク骨子案について ・災害時に想定される事態の洗い出しと整理 ・新たに発生する業務の洗い出し ・社協における BCP 策定のあり方について	10人
R2.11.6 （金）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・災害時に想定される事態への対応策の検討 ・事業・業務の優先度と優先度のつけ方について	11人
R2.12.10 （木）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・事業・業務の優先度と優先度のつけ方について ・初動～BCP 発動～解除の流れ ・その他	9人
R3.3.5	宇都宮市	・令和3年度介護報酬改定に伴う BCP 策定義務	10人

（金）	とちぎ福祉プラザオンライン併用	化について ・フレームワークへの落とし込み・素案作成 ・R3 年度検討会について	

⑥　市町社協向け情報の提供

市町社協の事業運営に参考となる情報を収集し、適宜提供を行った。（福祉の動向、先進事例等の情報提供）

⑶　市町社協活動促進のための調査・研究

①　市町社会福祉協議会部会の開催

期　日	場　所	内　　容	参加者数
R2.6.11 （木）	書面	・協議 (1)令和２年度栃木県への社会福祉に関する要望について	13 人
R2.9.1 （火）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・報告 (1)栃木県社会福祉協議会令和元年度事業報告及び令和２年度事業計画（地域福祉関連）について (2)日常生活自立支援事業（あすてらす）の全市町社協実施方式について (3)新型コロナウィルスに係る生活福祉資金貸付について (4)令和２年度栃木県への社会福祉に関する要望について ・協議 (1)新型コロナウィルス禍における社協事業の実施について	11 人

〔市町社会福祉協議会部会委員〕（R3.3.31 現在）

氏　名	所　属・職　名	備　考
磯野　里子	真岡市社会福祉協議会会長	部会長
大島　一夫	宇都宮市社会福祉協議会常務理事兼事務局長	
赤羽根　則男	栃木市社会福祉協議会常務理事兼事務局長	
中村　裕二	那須塩原市社会福祉協議会常務理事兼事務局長	副部会長
柴田　利江	上三川町社会福祉協議会常務理事	副部会長
星野　正浩	日光市社会福祉協議会事務局長	
平山　敦子	茂木町社会福祉協議会事務局長	
松本　昌宏	日光市社会福祉協議会地域福祉戦略室長兼足尾支所長	
赤坂　誠	足利市社会福祉協議会地域福祉推進担当係長	
遠藤　利浩	小山市社会福祉協議会高齢者サポート係長	
手塚　均	真岡市社会福祉協議会生活支援係長・自立相談支援センター係長	
市村　雅人	下野市社会福祉協議会総務課主査	
木下　博之	那須町社会福祉協議会りんどう作業所主査	

② 市町社協活動実態調査の実施

県内市町社協の概況及び事業内容について調査し、報告書をまとめた。

③ 新型コロナウィルス対応に関するアンケート調査の実施

新型コロナウィルスによる事業への影響の長期化による運営や活動上の課題等の把握のためアンケート調査を実施した。

④ オンラインを活用した地域づくりの取組み及びオンライン環境に関する調査の実施

コロナ禍において、地域でのつながりを絶やさないための新しい取組みとして、オンラインを活用した地域づくりへの取組み状況や市町社協におけるオンライン環境の整備状況のアンケート調査を実施した。

⑷ 栃木県市町社協職員連絡協議会等との連携及び支援

① 栃木県市町社協職員連絡協議会（職連協）への支援及び研修・研究活動の推進

職連協と連携・協力し、市町社協職員の資質向上、社協活動の研究などを図るため共催で研修会を開催した。

事業名	期日	場所	内容	参加者数
栃木県市町社協職員連絡協議会研修事業	R3.2.2（火）	オンライン	(1)第1部【事前準備編】 これからZoomを導入する際の留意点や契約方法、料金、通信環境等について (2)第2部【実践・活用編】 実際にZoomを活用してのオンライン会議の開催方法や、地域での活用方法等について 【講師】有限会社トレンディハウス 代表取締役　野田　精一氏	102人

2　新しい地域支援事業の推進

⑴ 「互助」発展のためのインフォーマルサービスの研究・開発

① 助け合い活動推進連絡会議の開催

県内の住民参加型在宅福祉サービス実施団体間の連携推進を図るとともに、住民主体による移動支援への理解を深めるために連絡会議を実施した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.9.15（火）	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	(1)講義「住民主体による移動支援の動向と事例」 講師 特定非営利活動法人　全国移動サービスネットワーク　副理事長　河崎　民子氏 (2)意見・情報交換	33人

② 連絡会議の開催

ア　市町社協地域福祉推進担当者連絡会議の開催

社会福祉協議会が実施する地域福祉推進事業を取り巻く動向や課題の共有化と、相互の情報交換並びに職員の顔の見える関係づくりを通じて、市町社協の地域福祉業務の増進を図るため、担当者連絡会議を開催した。（＊Ⅰ2(1)④ア「市町社協ボランティア担当者連絡会議」の再掲）

期 日	場 所	内 容	参加者数
R2.7.31 （金）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	(1)説明「新型コロナウィルス対応に関する緊急アンケート調査結果」及び「新型コロナウィルス感染拡大防止に配慮した地域住民等による福祉活動・ボランティア活動の進め方（令和 2 年 7 月 22 日付全社協発）」について （2）報告　新たな生活様式にあわせた地域福祉活動の実践報告 報告①　鹿沼ケーブルテレビを利用した「ステイホーム支援プロジェクト」 鹿沼市社会福祉協議会 地域福祉係長　齋藤　裕嗣氏 報告②　Facebook を活用したふくし出前講座「ふくしクイズ」 那須烏山市社会福祉協議会 地域福祉係　主事　大森　友貴氏 (3)意見交換・情報交換 コロナ禍における事業の進め方について (4)説明 今年度の栃木県地域福祉振興基金（栃の実基金）事業について	19 人

イ　市町社協介護・障害サービス担当者連絡会議の開催

社協で実施する在宅福祉サービスや、地域福祉の視点での在宅福祉サービス事業の展開について課題の共有化と相互の情報交換及び、担当者間のネットワーク構築を図るため、担当者連絡会議を開催した。

期 日	場 所	内 容	参加者数
R2.9.25 （金）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	(1) 講義「新型コロナウィルス感染拡大防止の対応策を含めたリスク管理体制の整備及びリスク発生時の対応について」 (2) 感染症対策を含めたリスク管理に関する情報交換 (3) 全体共有・まとめ 講師　株式会社フォーサイツコンサルティング 代表取締役社長　　浅野　睦氏	11 人

⑵　「地域包括ケアシステム連絡会議」の設置・運営

市町社協をはじめ、生活支援コーディネーターや協議体の設置主体を対象に、県内各地での生活支援体制整備事業の推進及び生活支援コーディネーターの資質向上を図ることを目的に開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.12.1 （火）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	(1)講義 「介護予防・日常生活支援総合事業等について」 講師 厚生労働省　関東信越厚生局　健康福祉部　地域包括ケア推進課 課長補佐　孕石　ゆき氏、係長　酒井　健之氏	53 人

期　日	場　所	内　容	参加者数
		(2)活動事例 ①「上三川町社協におけるくろねえ事業の取組み」 発表者 上三川町社会福祉協議会 地域福祉係　係長　天谷　明生氏 地域包括支援ｾﾝﾀｰ　主査/保健師　菅谷　玲美氏 　　地域福祉係　主査　田中　秀幸氏 ②「所沢市の生活支援体制整備事業について」 所沢市社会福祉協議会　地域福祉推進課　コミュニティソーシャルワーカー/第 1 層コーディネーター 佐藤　文氏	

⑶　「生活支援コーディネーター連絡会議」の設置・運営

市町の生活支援コーディネーターが、生活支援体制整備事業の取組状況の共有やネットワークづくり、資質向上を図るため、連絡会議（情報交換会）を行った。

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.10.22 （木）	宇都宮市 県庁北別館	(1)説明 「生活支援体制整備事業の現状について」 　説明 　　栃木県高齢対策課　主事　須藤　星歌氏 (2)情報交換 　①コロナ禍における取組状況と課題の共有 　②テーマ別意見交換 (3)全体共有	45 人

Ⅲ　福祉サービス利用者のための支援の強化

１　福祉サービス利用者の権利擁護の充実

利用者本位の福祉サービスが提供されるよう、日常生活自立支援事業（とちぎ権利擁護センター・あすてらす）を展開した。

⑴　福祉サービス利用援助事業の推進

①　契約締結審査会の開催

利用申込者との契約の適否や支援内容等を審査する契約締結審査会を開催した。

回　数	期　日	場　所	内　容	出席委員数
第１回	R2.5.19(火)	書面	・契約審査１件	６人
第２回	R2.7.21(火)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・契約審査１件 ・解約審査１件	４人
第３回	R2.11.17(火)		・契約審査１件	６人

〔審査内容〕

項　目	高齢者	知的障害者	精神障害者	身体障害者	計
契約審査 （契約能力の疑義等）		2			2
契約審査 （成年後見人等と契約）		1			1
報告審査（助言）					
解約審査		1			1
支援計画変更審査					
計		4			4

〔審査結果〕

項　目	高齢者	知的障害者	精神障害者	身体障害者	計
契約締結		3			3
助言等					
否　決					
解　約		1			1
解約否・継続支援					
計		4			4

〔令和２年度契約締結者数（令和３年３月31日現在）〕

対象者	契約数	解約数	実利用者数
認知症高齢者等	146	132	490
知的障害者	29	18	247
精神障害者	41	20	253
そ　の　他	4	11	51
合　計	220	181	1,041

②　金融機関連絡会議の開催

日常的金銭管理サービスに対する理解の促進と円滑な実施を図るため、金融機関連絡会議を開催した。

期　日	場　所	内　容	出席者数
R2.11.12 (木)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	⑴あすてらすの状況報告 ⑵議題 ①「あすてらす」と金融機関との連携について ②市町社協実施方式への移行にともなう対応について ③その他	7 人

③　基幹的社協連絡会議の開催

県内 13 か所の基幹的社協の専門員を対象に会議を行い、情報の共有化や困難ケースの解決に向け検討を行った。

回数	期　日	場　所	内　容	参加者数
第 1 回	R2.4.21 (火)	中止		
第 2 回	R2.6.17 (水)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	(1)令和 2 年度年間予定等について (2)令和 2 年度定期報告様式について (3)令和元年度あすてらすの実施状況報告について (4)栃木県運営適正化委員会運営監視改善申入事項について (5)全市町社協実施方式への移行に関する意向調査の結果について (6)意見交換等	25 人
第 3 回	R2.8.18 (火)		(1)日常生活自立支援事業（あすてらす）における全市町社協実施方式に向けた移行説明会	51 人
第 4 回	R2.10.20 (火)		(1)全市町社協実施方式への移行状況について (2)令和 3 年度予算要求の状況について (3)情報交換	24 人
第 5 回	R2.12.17 (木)		(1)令和 2 年度日常生活自立支援事業（あすてらす）専門員研修	33 人
第 6 回	R3.2.16 (火)	オンライン	(1)県社協からの報告事項等 ①令和 3 年度予算、事業計画等について ②令和 3 年 4 月からのあすてらす実施体制について ③その他 (2)ブレイクアウトルーム(グループ討議)	29 人

⑵　事業従事者の資質の向上

①　生活支援員研修会の開催

利用者への支援活動に携わっている生活支援員及び専門員を対象に支援者として必要な知識と援助技術を身につけることを目的に研修会を開催した。

期　日	場　所	内　　容	参加者数
基本研修 R2.5.28 (木)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・講義「日常生活自立支援事業の概要」 【講師】栃木県社会福祉協議会 権利擁護課 ・講義「生活支援員の役割と具体的業務」 【講師】あすてらす・おおたわら	22 人

		専門員　志賀　はな絵 氏 ・講義「利用者の理解(認知症高齢者・知的障害者・精神障害者)」 【講師】社会福祉法人恵友会　桜花 施設長　若倉　健 氏	
応用研修 R2.8.27 （木）		講義 「『感染症』への対応について ～高齢者施設での実践をとおして～」 【講師】医療法人北斗会 高齢福祉部　部長　松浦　富美恵 氏	31 人
実践研修 R2.12.8 （火）		講義 「援助者として求められる視点・技法を学ぶ」 【講師】一般社団法人社会福祉事務所にじみる 髙田　美保 氏	66 人

② 専門員研修会の開催

基幹的社協連絡会議等で随時困難事例の検討を行ったほか、専門員の日々の利用者支援での気付きや課題等について情報共有するとともに、専門員の資質向上を図ることを目的に研修会を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
新任研修 R2.10.20 （火）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	講義 「日常生活自立支援事業について」 【講師】あすてらす・とちぎ 専門員　膝附　紀子 氏	10 人
実践研修 R2.12.17 （木） 【再掲】	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	講義 「罪を犯した高齢者・障害者の支援について ～再犯防止、退所後の支援とは～」 【講師】宇都宮保護観察所 所長　猪間　徳子 氏 栃木県地域生活定着支援センター センター長　青木　康夫 氏	33 人

⑶ 事業実施体制の充実強化

① 関係機関連絡会議の開催

期　日	場　所	内　　容
R3.1.25 （月）	書面	・日常生活自立支援事業（あすてらす）及び とちぎ成年後見支援センターの現況報告 ・事前質問 ・情報交換

② 基幹的社協の育成

県内 13 か所の市社協に業務の一部を委託した。

〔令和２年度基幹的社協相談件数及び契約者数（令和３年３月 31 日現在）〕

基幹的社協名	一般相談件数	専門相談件数	契約者数
宇都宮市社会福祉協議会	2,921	1	17
足利市社会福祉協議会	1,228	0	20

基幹的社協名	一般相談件数	専門相談件数	契約者数
栃木市社会福祉協議会	2,030	6	7
佐野市社会福祉協議会	1,709	1	22
鹿沼市社会福祉協議会	3,404	0	15
日光市社会福祉協議会	863	6	28
小山市社会福祉協議会	3,777	6	12
真岡市社会福祉協議会	528	0	20
大田原市社会福祉協議会	1,554	1	8
矢板市社会福祉協議会	928	4	28
那須塩原市社会福祉協議会	1,524	4	36
那須烏山市社会福祉協議会	414	6	4
下野市社会福祉協議会	547	1	3
合　計	21,427	36	220

③　各関係機関等への事業説明及び連携

各種研修会等の講師として事業内容等について説明を行った。

期　日	場　所	内　容
R2.6.9(火)	書面	相談支援機関職員研修　制度説明
R2.7.6(月)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	市町社協新任職員研修　制度説明
R2.8.28(金)		法人後見支援員養成研修　制度説明
R2.11.30(月)	高根沢町 高根沢町社会福祉協議会	高根沢町社会福祉協議会役職員研修会 「あすてらす全市町社協方式への移行に向けて」

④　市町社協の連携強化

13 基幹的社協訪問の実施や困難ケースへの立ち会い等を通して、各基幹的社協の実態把握に努めた。

また、現在の基幹的社協実施方式から市町社協実施方式への移行に向けて、「移行事務説明会」及び「移行に関する意向調査」（年２回）を実施した。

移行事務説明会

期 日	場　所	内　容
R2.8.18 (火) 【再掲】	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	(1)移行にともなう工程、委託料等について (2)専門員の業務等について (3)その他

⑤　専門相談の充実

公益社団法人成年後見センター・リーガルサポートと契約を締結し、基幹的社協において司法書士による専門相談を実施し、相談体制の充実を図った。

２　成年後見制度の活用促進

⑴　成年後見制度にかかる啓発・相談の充実

①　成年後見制度利用促進研修会の開催

成年後見制度の利用の促進に関する法律（成年後見制度利用促進法）における“地域連携ネットワークの構築”や“中核機関の設置”による地域への効果について広報周知を目的とした研修会を開催することで、地域における成年後見制度の利用支援を

始めとした円滑な権利擁護支援が図れるよう推進した。

期　日	場　所	内　　容	参加者数
R2.12.3 （木）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	講演「成年後見制度利用促進法 ～地域連携ネットワークが目指すものとは」 講師　白鷗大学法学部　准教授　蓮田　哲也氏	115 人

② 成年後見制度普及啓発セミナーin 那須塩原の開催

県民や地域における関係機関の支援者に対して、成年後見制度の内容について理解を促すとともに、専門職を相談員に迎えて無料相談会を催し、制度の利用促進を図ることを目的に研修会を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.9.28 （月）	那須塩原市 いきいきふれあいセンター	・講演①「成年後見制度とは～制度の目的や内容について」 【講師】宇都宮家庭裁判所　主任書記官 島田　貴士氏 ・講演②「活用事例の紹介～制度の活用で解決できることできないこと」 【講師】(公社)成年後見センター・リーガルサポートとちぎ支部　相談役　佐伯　祐子氏 ・個別相談会 【相談員】県弁護士会、県司法書士会、県社会福祉士会	43 人

⑵ 相談支援機関における取組の強化

①県民・相談支援機関からの相談対応

ア　電話相談

一般県民や社会福祉施設、相談支援機関からの相談に対して、必要に応じて、専門職の助言を得た上で、成年後見制度利用に関する助言や情報提供を行った。また、適切な関係機関等へつないだ。

（相談件数　35 件）

イ　関係機関主催会議等職員派遣

・令和２年度矢板市市民後見推進事業講座講師対応（矢板市社協主催）
・高根沢町成年後見制度中核機関設置に向けての研修（高根沢町主催）
・那須町成年後見制度利用促進体制整備関係者打合せ（那須町主催）
・その他各市町社協法人後見運営委員会、成年後見推進会議、宇都宮家裁家事関係機関連絡会議等出席　33 件

② 法人後見支援員養成研修の実施

法人後見事業を実施する社協の体制強化を図ることを目的に法人後見業務をサポートする法人後見支援員の養成を行うため、研修を実施した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
第１回 R2.7.28 （火）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	講義「権利擁護（倫理）の考え方～本人尊重、意思決定支援とは」 講師　権利擁護センター・ぱあとなあとちぎ （栃木県社会福祉士会）　財川　美穂氏 菊池　　均氏 講義「成年後見制度について」 講師 宇都宮家庭裁判所 主任書記官　島田　貴士氏 講義「成年後見人の職務について（身上監護、財産	27 人

期　日	場　所	内　容	参加者数
		管理）～後見人ができること、できないこと」 講師　成年後見センター・リーガルサポートとちぎ支部 権利擁護推進室相談役（司法書士）佐伯　祐子氏	
第2回 R2.8.28 （金）		講義「社会福祉協議会概論 社協が目指すものとは～地域福祉と権利擁護」 講師　栃木県社会福祉協議会 地域福祉部長　齋藤　禎 講義「社会福祉協議会各論日常生活自立支援事業（あすてらす）について」 講師　栃木県社会福祉協議会生活支援部権利擁護課 講義「法人後見事業と法人後見支援員の活動内容について」 講師　那須烏山市社会福祉協議会 権利擁護係　係長　小林　美里氏	17人
第3回 R2.9.8 （火）		講義・演習「後見業務の実務概論／後見業務の実務事例検討」 講師　成年後見センター・リーガルサポートとちぎ支部 支部長　竹田　知史氏	13人

③　法人後見事業担当職員（専門員）研修の実施（新規）

成年後見制度の利用を進めていく中で、後見人の担い手として法人が期待されている。本研修では、県内市町社会福祉協議会（以下市町社協という。）が法人後見人として後見業務を円滑に行うことができるよう、法人後見業務を主として担当する職員（法人後見専門員という。）の研鑽を図ることを目的として実施した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
第　1　回 R2.7.28 （火）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	講義「権利擁護（倫理）の考え方～本人尊重、意思決定支援とは」 講師　権利擁護センター・ぱあとなあとちぎ （栃木県社会福祉士会）　財川　美穂氏 菊池　　均氏 講義「成年後見制度について」 講師 宇都宮家庭裁判所 主任書記官 島田　貴士氏 講義「成年後見人の職務について（身上監護、財産管理）～後見人ができること、できないこと」 講師　成年後見センター・リーガルサポートとちぎ支部 権利擁護推進室　相談役（司法書士）佐伯　祐子氏	27人
第2回 R2.9.2 （水）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	講義「後見の実務①～申立書類、財産調査、後見計画・収支予定表の作成等」 講義「後見の実務②～報告書、報酬付与申立書の作成、後見事務終了時の手続き／死後事務等」 講義「法人後見業務の実践論～ケース検討会議における制度活用の判断から申立手続き、審判、受任、死後事務」	19人

		講師　成年後見センター・リーガルサポートとちぎ支部 支部長　竹田　知史氏	
第3回 R2.9.10 (木)		講義「財産法の基礎について」 講師　白鷗大学　法学部　准教授　蓮田　哲也氏 講義「財産管理業務について」 講師　栃木県弁護士会　弁護士　山下　雄大氏	20人
第4回 R2.10.6 (火)		講義「家族法の基礎について」 講師　白鷗大学　法学部　教授　水野　紀子氏 講義「身上保護業務について」 講師　権利擁護センター・ぱあとなあとちぎ (栃木県社会福祉士会)　阿部　和史氏	16人

※第1回は、③法人後見支援員養成研修の第1回を兼ねて実施した。

④　法人後見支援員フォローアップ研修会の開催

本会法人後見支援員（人材）バンクに登録している方（75名）が地域で円滑に活動できるよう研鑽を図ることを目的として実施した。

期　日	場　所	内　　容	参加者数
R2.8.28 (金)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	講義「法人後見事業と法人後見支援員の活動内容について」 講師　那須烏山市社会福祉協議会 権利擁護係　係長　小林　美里氏	20人

※　法人後見支援員養成研修の第2回の一部を兼ねて実施した。

⑤　法人後見事業推進連絡会議の開催

県内で法人後見事業を実施している社会福祉協議会（以下「社協」）における取り組みについて情報交換するとともに、担当職員のスキルアップに向けた研修等の企画や今後の法人後見事業の推進について検討することを目的に開催した。

ア　第1回

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.6.4 (木)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	情報交換「受任事例の共有～初めて受任した法人後見の事例について」 その他情報交換「中核機関の受託について他」	14人

イ　第2回

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.9.30 (水)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	講義「身寄りがない人の医療等に係る意思決定支援について」 講師（福）恩賜財団済生会宇都宮病院 地域連携課　荻津　守氏 質疑応答・情報交換	18人

ウ　第3回

期　日	場　所	内　容	参加者数
R3.2.1 (月)	オンライン	講義「相続制度について(直近の改正事項も含む)」 講師（公社）成年後見センター・リーガルサポート とちぎ支部　支部長　竹田　知史氏 質疑応答・情報交換	15人

⑥　相談支援機関職員研修の実施

地域の相談支援機関において権利擁護制度活用の必要性や支援の方針について、適切な判断力と行政や司法、福祉機関等の関係機関との連携方法などを学び地域で、適切な権利擁護支援を円滑に遂行できる体制を強化することを目的とした研修を実施した。

期　日	場　所	内　　容	参加者数
第1回 R2.6.9(火) (全体会)	書面	講義「権利擁護の理解～権利擁護の視点について」 講師　成年後見センター・リーガルサポートとちぎ支部 権利擁護推進室　相談役（司法書士）佐伯　祐子氏 講義「成年後見制度について（概要、申し立て～審判流れ等）」 講師 宇都宮家庭裁判所 主任書記官 島田　貴士氏 講義「日常生活自立支援事業について（概要、相談から利用までの流れ等）」 講師　栃木県社会福祉協議会生活支援部権利擁護課	90人
第2回 R2.6.23 （火） (対象:地域包括社会福祉士)	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	講義・演習「日常生活自立支援事業活用事例検討」 講師　小山市社会福祉協議会 主査（あすてらす専門員）高麗　正生氏 講義・演習「成年後見制度活用事例検討」 講師　権利擁護センター・ぱあとなあとちぎ （栃木県社会福祉士会）　阿部　千亜紀氏	28人
第3回 R2.7.1(水) (対象:相談支援専門員)		講義・演習「日常生活自立支援事業活用事例検討」 講師　小山市社会福祉協議会 主査（あすてらす専門員）高麗　正生氏 講義・演習「成年後見制度活用事例検討」 講師　権利擁護センター・ぱあとなあとちぎ （栃木県社会福祉士会）　松本　裕行氏	25人
第4回 R2.7.7(火) (対象:介護支援専門員)		講義・演習「日常生活自立支援事業活用事例検討」 講師　小山市社会福祉協議会 主査（あすてらす専門員）高麗　正生氏 講義・演習「成年後見制度活用事例検討」 講師　権利擁護センター・ぱあとなあとちぎ （栃木県社会福祉士会）　小口　みほ子氏	27人

⑶　関係機関との連携体制の構築

①　とちぎ成年後見支援センター運営委員会（新規）

本会に設置しているとちぎ成年後見支援センターの的確かつ効果的な運営を図るため県内で成年後見制度利用促進に取り組む福祉、司法の専門職をはじめ、県、家庭裁判所等の関係機関らとセンター事業の展開や連携体制の構築について協議した。

期　日	場　所	内　　容	出席者数
第1回 R2.7.15 （水）	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	協議事項 ・とちぎ成年後見支援センター運営委員会委員長等の選出について ・令和２年度とちぎ成年後見支援センターの事業について ・栃木県内の成年後見制度利用促進の取り組みについて	5人
第2回		協議事項	5人

R2.12.15 （火）		・法人後見事業の推進について 法人後見支援員の活用について、法人後見業務連携のあり方について ・栃木県内の成年後見制度利用促進体制整備について ・令和３年度とちぎ成年後見支援センター事業について	

② 栃木県成年後見制度利用促進体制整備研修の実施

市町に整備される地域連携ネットワークの中核を担う機関（中核機関）における市町行政等の担い手に対して、成年後見制度利用促進法と基本計画策定の背景、取り組み等をはじめとした成年後見制度利用促進に必要な知識、支援方法を学ぶ研修を実施した。

期　日	場　所	内　　容	参加者数
第１回 R2.10.19 （月）	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	行政説明「成年後見制度利用促進体制整備国・県の動向について」 栃木県保健福祉部保健福祉課　係長　羽鳥　光雄氏 講義「成年後見制度利用促進法と基本計画策定の背景、市町行政（中核機関）に求められること」 講師　栃木県弁護士会高齢者等援護ｾﾝﾀｰ運営委員会 委員　山下　雄大氏 講義「権利擁護支援について～意思決定支援とは」 講師　権利擁護センター・ぱあとなあとちぎ （栃木県社会福祉士会）　阿部　千亜紀氏 講義「地域共生社会と権利擁護の展開について」 講師　国際医療福祉大学　医療福祉学部 准教授　大石　剛史氏	46 人
第２回 R2.11.5 （木）		講義「相談者の主訴を聞き取るポイント、手法など」 講師　権利擁護センター・ぱあとなあとちぎ （栃木県社会福祉士会）檜山　光治氏 講義「成年後見制度理解（概要、申し立て～審判流れ等）他」 講師　宇都宮家庭裁判所 主任書記官　島田　貴士氏 講義「後見人活動事例の紹介～後見人としてできること できないこと」 講師　成年後見センター・リーガルサポートとちぎ支部 権利擁護推進室　相談役（司法書士）佐伯　祐子氏	41 人
第３回 R2.11.9 （月）		講義「相談者に対する分かりやすい成年後見制度の説明の仕方について」 講義・演習「事例検討から成年後見制度利用の必要性判断のポイントについて～事例紹介」 講師　成年後見センター・リーガルサポートとちぎ支部 支部長　竹田　知史氏 講義「首長申立ての意義、事例にみるケース会議から首長申立てに至るまでの流れ」、「日光市における地域連携ネットワークについて」 講師　日光市健康福祉部　高齢福祉課　主査 上野　晃司氏	48 人

3　福祉サービス運営適正化の推進

本会に設置された第三者機関である栃木県運営適正化委員会において、日常生活自立支援事業（とちぎ権利擁護センター・あすてらす）の適正な運営の確保や福祉サービスに関する利用者等からの苦情の解決を図るため各種事業を実施した。

・受付相談件数　121 件　（内訳）　苦情　　84 件
その他の相談　　37 件

⑴　運営適正化委員会機能の充実

①　栃木県選考委員会の開催

回　数	期　日	場　所	内　容	出席人数
第 1 回	R2.9.1(火)	とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)	・委員長・副委員長の選出について ・栃木県運営適正化委員会委員の選考について	6 人

②　栃木県運営適正化委員会の開催

回　数	期　日	場　所	内　容	出席人数
第 1 回	R2.5.19(火)	書面	・令和元年度事業報告について ・令和 2 年度事業計画(案)について	18 人
第 2 回	R2.10.5(月)	とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)	・委員長・副委員長の選任について ・運営適正化委員会の概要について ・各合議体委員の指名について	16 人

③　苦情解決委員会の開催

回　数	期　日	場　所	内　容	出席者数
第 1 回	R2.5.19(火)	書面	・継続審議（報告）（2 件） ・新規審議（報告）（1 件）	8 人
第 2 回	R2.7.14(火)	とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)	・継続審議（2 件） ・新規審議（1 件）	7 人
第 3 回	R2.10.5(月)	とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)	・委員長・副委員長の選任について ・継続審議（2 件） ・新規審議（1 件） ・巡回支援の実施について	8 人
第 4 回	R2.12.8(火)	とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)	・継続審議（2 件） ・報告事項（1 件） ・巡回支援の実施について	8 人
第 5 回	R3.1.25(月)	とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)・オンライン併用	・継続審議（2 件）	8 人
第 6 回	R3.3.23(火)	とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)・オンライン併用	・報告事項（2 件）	8 人

④　運営監視委員会の開催

回　数	期　日	場　所	内　容	出席人数
第 1 回	R2.5.19(火)	書面	・令和 2 年度運営監視について ・令和元年度運営監視改善申し入れ事項に対する報告について（報告） ・令和元年度とちぎ権利擁護センター実績報告について（報告）	10 人

回　数	期　日	場　所	内　容	出席人数
第2回	R2.10.5(月)	とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)	・委員長・副委員長の選任について ・令和 2 年度運営監視（6～7 月分）実施報告について ・令和 2 年度運営監視日程等（11 月～12 月）について	8 人
第3回	R3.3.9(火)	とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)	・令和2年度運営監視結果について ・令和 3 年度からの運営監視の実施方法について	9 人

⑤　苦情解決のための調査、助言、斡旋等

福祉サービスの苦情解決に向けて、事業所への訪問調査、助言、改善申入れ、虐待の通報等を行った。

⑥　日常生活自立支援事業（あすてらす）基幹的社協への巡回・監視指導の実施

事業の委託先である基幹的社協（13 か所）の適正な運営を確保するために、金銭管理サービスにおける金銭の取扱い及び管理状況等について訪問調査を実施し、改善申し入れをするとともに、栃木県社会福祉協議会に対して基幹的社協の指導等について申し入れをした。

期　日	場　所	実施基幹的社協名
R2.6.12(金)	真岡市総合福祉保健センター	真岡市社会福祉協議会
R2.7.9(木)	鹿沼市総合福祉センター	鹿沼市社会福祉協議会
R2.7.9(木)	日光市春日町庁舎	日光市社会福祉協議会
R2.7.30(木)	矢板市きずな館	矢板市社会福祉協議会
R2.7.30(木)	大田原市役所Ａ別館	大田原市社会福祉協議会
R2.10.2(金)	那須烏山市社会福祉センター	那須烏山市社会福祉協議会
R2.11.16(月)	小山市役所神鳥谷庁舎	小山市社会福祉協議会
R2.11.26(木)	那須塩原市健康長寿センター	那須塩原市社会福祉協議会
R2.11.27(金)	佐野市総合福祉センター	佐野市社会福祉協議会
R2.11.27(金)	足利市総合福祉センター	足利市社会福祉協議会
R2.12.3(木)	宇都宮市総合福祉センター	宇都宮市社会福祉協議会
R2.12.14(月)	栃木市保健福祉センター	栃木市社会福祉協議会
R2.12.14(月)	下野市保健福祉センター	下野市社会福祉協議会

⑦　パンフレット・ポスター等の配布、市町広報誌等による広報の実施

県内全市町行政・社協へ苦情解決制度周知の依頼を行った。また、研修会等において苦情解決制度周知のポスターを配布した。

⑧　苦情解決事業に関する研修会の開催

苦情解決責任者等を対象に、講義及び演習を通して苦情・事故が起きた際の対応方法等について学ぶことを目的に研修会を実施した。

事業名	期　日	場　所	内　容	参加者数
福祉サービス苦情解決研修会	R2.10.15(木)	とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)	・講義「苦情対応研修～苦情対応の正しい手順を学ぶ～」 【講師】株式会社インソース 北村　まり氏	140 人

⑨　福祉サービス事業所への巡回指導及び巡回支援

事業所に訪問のうえ、苦情解決体制の整備状況を確認し、適切な体制の整備や苦情解決方法等について必要な助言等を行った。（社会福祉協議会 1 か所（オンライン））

⑩　栃木県国民健康保険団体連合会等との情報交換

関係機関主催の会議や研修会等に参加し、情報の収集や交換を行った。

会議等名	期　日	場所	内　容
介護サービス相談担当者連絡会(主催)栃木県国民健康保険団体連合会	R2.7.14(火)	書面	・報告事項 (1)令和元年度介護サービスに係る苦情・相談等の状況について (2)令和2年度事業計画について
関東甲信越静ブロック運営適正化委員会委員長等連絡会及び相談員連絡会	R2.10.9(金)	オンライン	・提出議題の協議 ・情報交換
運営適正化委員会事業研究協議会・相談員研修会 (主催)全国社会福祉協議会	R2.10.16(火) ～30(金)	オンライン	・行政説明「社会福祉を取り巻く状況と苦情解決の仕組みの取組方針について」 厚生労働省社会・援護局福祉基盤課 ・説明「実施状況調査結果の概要と今後の取り組みについて」 全国社会福祉協議会政策企画部 ・説明「日常生活自立支援事業の現状と課題」 全国社会福祉協議会地域福祉部 ・講義「福祉サービスにおける苦情解決とは何かーサービスの質向上に向けて」 【講師】 立教大学コミュニティ福祉学部 教授　平野　方紹氏 ・講義「精神障害の特性と理解」「精神障害者への苦情対応について」 【講師】 早稲田大学人間科学学術院人間科学部 教授　岩崎　香氏
運営適正化委員会相談員研修会オンライン情報交換会 (主催)全国社会福祉協議会	R2.10.30(金)	オンライン	各運営適正化委員会における苦情への対応状況や福祉施設・事業所へのはたらきかけ等についての情報交換

4　福祉サービスの質の向上の支援

本会に設置された第三者機関であるとちぎ福祉サービス第三者評価推進機構において、福祉サービス事業者の提供する福祉サービスの質の向上と利用者の適切なサービスの選択に資することを目的として各種事業を実施し、栃木県における福祉サービス第三者評価事業の推進を図った。

また、評価機関として地域密着型サービス外部評価事業を実施した。

⑴ 福祉サービス第三者評価の推進

① とちぎ福祉サービス第三者評価推進機構運営委員会の開催

期　日	場　所	内　容	出席人数
R3.3.15 （月）	とちぎ福祉プラザ (宇都宮市)	・令和2年度事業実施状況について（報告） ・令和3年度事業計画（案）について	9人

② とちぎ福祉サービス第三者評価推進機構認証部会の開催

期　日	場　所	内　容	出席人数
R2.10.21 （水）	とちぎ福祉プラザ (宇都宮市)	・令和2年度事業進捗状況報告について（報告） ・第三者評価機関の認証について	5人

③ とちぎ福祉サービス第三者評価推進機構基準等部会の開催

回数	期　日	場　所	内　容	出席人数
第1回	R2.6.11 （木）	とちぎ福祉プラザ (宇都宮市)	・評価基準の一部改正について ・評価結果公表要領の一部改正について ・評価調査者研修について ・啓発・促進について	4人
第2回	R2.9.17 （木）	とちぎ福祉プラザ (宇都宮市)	・評価調査者養成研修修了者の認定について ・新型コロナウィルス感染症の影響に伴う評価調査者資格の有効期間の延長について	5人

④ 評価調査者研修の開催

評価調査者養成研修及び評価調査者継続研修を実施した。

ア 評価調査者養成研修の開催（受講者修了者数5人）

回数	期　日	場所	内容
1日目	R2.8.3 （月）	とちぎ福祉プラザ (宇都宮市)	・講義「1　第三者評価の理念と基本的な考え方」 【講師】福田　雅章氏 ・講義「2　評価調査者の役割と倫理」 【講師】福田　雅章氏 ・講義「3　利用者調査の方法等について」 【講師】葭田　美知子氏 ・講義「4　第三者評価の全体像」 【講師】推進機構事務局
2日目	R2.8.18 （火）		・講義「5　第三者評価基準の理解と判断のポイント「共通分野」」　【講師】林　和美氏 ・講義「6　第三者評価基準の理解と判断のポイント「高齢分野」」　【講師】林　和美氏 ・講義「7　第三者評価基準の理解と判断のポイント「障害分野」」　【講師】松野　直之氏
3日目	R2.8.25 （火）		・講義「8　第三者評価基準の理解と判断のポイント「保育分野」」　【講師】坪井　真氏 ・演習「9　書面（事前）審査の着眼点」 【講師】坪井　真氏 ・演習「10　訪問調査の着眼点」 【講師】坪井　真氏

回数	期　日	場所	内容
4 日目	R2.9.3 （木）	二葉幼児園 （宇都宮市）	・実習「11　実習Ⅰ」　【講師】坪井　真氏
5 日目	R2.9.10 （木）	とちぎ福祉プラザ （宇都宮市）	・実習「12　実習Ⅱ」　【講師】坪井　真氏 ・全体会「終了レポート」【講師】坪井　真氏

イ　評価調査者継続研修の開催

期　日	場所	内容	参加者数
R2.9.16 （水）	とちぎ女性センターパルティ （宇都宮市）	・講義・演習 1 「第三者評価の実際①事前分析、利用者調査、自己評価」 ・講義・演習 2 「第三者評価の実際②訪問調査、合議・評価結果のとりまとめ」 【講師】 一般社団法人全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会副会長／岩手県福祉サービス運営適正化委員会事務局長　　右京　昌久氏	46 人
R2.10.23 （金）	とちぎ福祉プラザ （宇都宮市）		

⑤　普及啓発事業の開催

ア　推進シンポジウムの開催

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.11.6 （金）	とちぎ福祉プラザ （宇都宮市）	・講義「福祉サービス第三者評価の目的と意義」 【講師】 一般社団法人全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会　　理事　岡田　賢宏氏 ・パネルディスカッション 「第三者評価ってどうやるの？～知ってほしい！私たちのいいところ～」 【パネリスト】 特別養護老人ホームとちの木荘 施設長　神村　恭弘氏 障害者支援施設栃の葉荘 課長代理　津久井　健一氏 こばと保育園 園長　豊嶋　藤子氏 【コーディネーター】 一般社団法人全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会　　理事　岡田　賢宏氏	37 人

⑥　推進機構ニュースの発行

第三者評価事業の普及推進を目的として、広報啓発を行った。

ア　「推進機構ニュース」の発行

第三者評価事業の普及啓発を目的に 2 回発行し、評価対象事業所、関係機関等に各回約 1,300 か所ずつ配布した。

イ　ホームページの充実

とちぎ福祉サービス第三者評価推進機構のホームページに、第三者評価事業の内容、評価機関の情報、評価結果等を掲載した。

⑦　第三者評価機関の認証

申請のあった評価機関に対して、評価機関の認証を行った。

ア　新規　申請なし

イ　継続

認証番号	評価機関名	所在地	認証期間
と評機 05-01	特定非営利活動法人 International Social Service Culture Center	栃木県塩谷郡塩谷町大字熊ノ木 1099－1	R2.11.1～ R5.3.31
と評機 05-02	株式会社 アールピーアイ栃木	栃木県宇都宮市鶴田町 1333－1	R2.11.1～ R5.3.31
と評機 05-03	特定非営利活動法人アスク	栃木県那須塩原市松浦町 118－189	R2.11.1～ R5.3.31
と評機 06-03	株式会社大高商事	栃木県宇都宮市宝木本町 1474－5	R2.11.1～ R5.3.31
と評機 08-01	特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ	大阪府大阪市中央区常磐町 2－1－8 FG ビル大阪 4 階	R2.11.1～ R5.3.31
と評機 08-02	一般社団法人 栃木県社会福祉士会	栃木県宇都宮市若草 1－10－6	R2.11.1～ R5.3.31
と評機 15-01	特定非営利活動法人 ライフサポート樂樂	千葉県旭市口 1004－17	R2.11.1～ R5.3.31
と評機 17-01	合同会社 福祉経営情報サービス	東京都中央区銀座 6－6－1 銀座風月堂ビル 5 階	R2.11.1～ R5.3.31

⑧　第三者評価結果の公表

公表期間は 5 年間とし、公表後、評価実施済証を交付した。　（3 月 23 日現在）

No.	公表日	事業所名	サービス区分	評価機関
1	R2.10.16	SB ワークス真岡	就労継続支援 B 型	一般社団法人 栃木県社会福祉士会
2	R2.12.22	栃木市 おおつか保育園	保育所	特定非営利活動法人 アスク
3	R3.2.24	那須塩原市 ひがしなす保育園	保育所	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ
4	R3.3.24	栃木市 大平南第 2 保育園	保育所	株式会社大高商事
5	R3.3.24	那須塩原市 大貫保育園	保育所	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ
6	R3.3.24	日光市 日光保育園	保育所	特定非営利活動法人 InternationalSocialServiceCultureCenter
7	R3.3.24	日光市 並木保育園	保育所	特定非営利活動法人 InternationalSocialServiceCultureCenter
8	R3.3.31	栃木市 くらのまち保育園	保育所	一般社団法人栃木県社会福祉士会
9	R3.3.31	栃木県済生会高齢者ケアセンター ケアハウス公孫樹	ケアハウス	一般社団法人栃木県社会福祉士会

⑨会議・研修への参加

会議等名	期日	場所	内　容
令和２年度評価事業普及協議会 (主催)全国社会福祉協議会	R2.9.7(月) ～28（月）	オンライン	・基調説明「福祉サービス第三者評価事業について」　厚生労働省社会・援護局福祉基盤課 ・説明「第三者評価事業の実施状況と令和２年度の取り組み」　全国社会福祉協議会政策企画部 ・行政説明「各分野の施策の動向と第三者評価事業の促進に向けて」 厚生労働省老健局高齢者支援課 厚生労働省社会・援護局障害福祉部障害福祉課 厚生労働省社会・援護局保護課 厚生労働省子ども家庭局保育課 厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課
令和２年度評価調査者指導者研修会（基礎的研修） （主催）全国社会福祉協議会	R2.11.9(月) ～20（金）	オンライン	・講義１「第三者評の理念と基本的な考え方」「第三者評価の全体像」指導と留意点、「福祉サービスの質の向上と第三者評価事業」 【講師】厚生労働省社会・援護局福祉基盤課 ・講義２「評価調査者の役割と倫理」 【講師】神奈川県立保健福祉大学 顧問　山崎　美貴子氏 ・講義３「『福祉サービス第三者評価基準ガイドライン』の理解」指導と留意点 【講師】国立保健医療科学院 保健医療経済評価研究センター長　福田　敬氏 ・講義４「高齢者福祉サービス版福祉サービス第三者評価基準ガイドライン」の概要とポイント 【講師】福井県立大学　教授　奥西　栄介氏 ・講義５「障害者・児版福祉サービス第三者評価基準ガイドライン」の概要とポイント 【講師】一般社団法人日本発達障害ネットワーク 副理事長　大塚　晃氏 ・講義６「保育所版福祉サービス第三者評価基準ガイドライン」の概要とポイント 【講師】大阪総合保育大学大学院 学長　大方　美香氏 ・講義７「救護施設の現状と今後のあり方」 【講義】全国救護施設協議会 総務・財務・広報委員会委員長　松田　昌訓氏
令和２年度評価調査者指導者研修会（実習指導法） （主催）全国社会福祉協議会	R2.11.25(水)	オンライン	①評価機関における事前分析の方法と基本情報シートの活用状況 ②利用者調査・訪問調査における留意点 ③評価の判断基（a,b,c）の判断根拠と課題 ④評価機関のマネジメントと評価調査者・評価機関の質向上のための取組 ⑤演習シートの解説 ⑥その他意見交換 【講師】 全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会

			代表　新津　ふみ子氏、理事　岡田　賢宏氏

⑵　地域密着型サービス外部評価事業の実施

地域密着型福祉サービス提供事業者の提供するサービスの質の向上と利用者の適切なサービスの選択に資することを目的として評価事業を実施した。

①　外部評価の実施

地域密着型サービス外部評価実施の契約を締結し、14 件の訪問調査を実施し、独立行政法人福祉医療機構の運営するワムネットで 18 件（令和元年度訪問調査実施分も含む）の評価結果の公表をした。

【平成 17 年度事業開始からの訪問調査累計：908 件、公表累計：900 件】

Ⅳ　福祉人材の確保と育成

1　福祉人材の確保と定着

⑴　福祉人材の参入促進

①　無料職業紹介事業の実施

ア　求人状況

区　分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規求人数(人)		996	230	659	910	158	752	713	460	737	786	428	401	7,230
内訳	正職員	452	134	395	435	78	424	354	201	328	352	166	154	3,473
	常勤(正以外)	95	20	57	88	15	87	67	61	113	81	65	90	839
	非・パート	449	76	207	387	65	241	292	198	296	353	197	157	2,918
有効求人数（人）		996	1,193	1,767	1,770	1,709	1,811	1,645	1,922	1,905	1,987	1,907	1,600	20,212
新規求人事業所数		146	43	122	172	43	137	132	87	125	134	81	76	1,298
有効求人事業所数		146	172	258	285	281	281	261	286	281	273	271	230	3,025
紹介・応募人数		9	7	17	14	30	47	19	25	30	34	22	43	297
内訳	紹　介	9	3	17	14	30	45	17	25	28	32	21	43	284
	応　募	0	4	0	0	0	2	2	0	2	2	1	0	13
採用人数		8	4	9	9	13	26	17	22	10	25	23	62	228
内訳	正職員	4	1	4	5	5	16	6	14	7	16	9	23	110
	常勤(正以外)	2	1	1	2	2	3	2	1	2	3	0	10	29
	非・パート	2	2	4	2	6	7	9	7	1	6	14	29	89

イ　求職状況

区　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規求職者数（人）	57	79	92	196	77	100	204	91	139	139	114	133	1,421
有効求職者数（人）	236	191	201	344	352	352	406	413	449	382	384	384	4,094

ウ　求人・求職相談状況

区　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
求人相談件数	197	163	318	302	318	220	304	251	412	343	318	315	3,461
求職相談件数	531	367	416	543	453	513	430	614	542	522	513	437	5,881

（上記ウのうち、毎月第3土曜日に実施した休日開所の来所者数：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
6	7	5	3	3	8	4	10	7	3	18	6	80

② 福祉のお仕事就職フェア（合同相談会）の開催

期日	場　所	内　容	備　考
R2.7.18 （土）	とちぎ福祉プラザ （宇都宮市）	①個別相談コーナー ②福祉人材センター相談コーナー	法人　34法人 参加者数　107人 採用者数　10人

③ 就職支援セミナー（求人・求職者向け）の開催

ア　求人事業者を対象に「福祉人材採用力UPセミナー」を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.11.12 （木）	とちぎ福祉プラザ （宇都宮市）	・「人材採用対策研修～組織で求める人材を採用するために～」 【講師】　株式会社　アーチーズ 搅上　登彦　氏 ・「働き方改革関連法・同一労働同一賃金対策」 【講師】 社会保険労務士法人　アミック人事サポート 代表社員　高橋　友恵　氏	33人

イ　福祉職への就労希望者を対象「福祉のしごと就職支援セミナー（参加法人による1分間プレゼンテーション）」

期　日	場　所	内　容	備考
R2.7.18 （土）	中止	参加法人による1分間プレゼンテーション	

④ 福祉人材・研修センターニュースの発行(再掲)

№201～204号発行　発行部数各2,500部

⑤ 小学・中学・高校への出前講座の開催

ア　小学校　　単位：人

期　日	学　校　名	参加者数
R2.6.8　6.9	小山市立城東小学校	133
R2.6.19	足利市立富田小学校	28
R2.6.25	佐野市立旗川小学校	25
R2.9.28	佐野市立常盤小学校	11
R2.9.29	鹿沼市立津田小学校	34
R2.10.14	さくら市立押上小学校	22
R2.10.28	佐野市立石塚小学校	23
R2.11.5	佐野市立出流原小学校	11
R2.11.6　11.13	宇都宮市清原中央小学校	171
R2.11.26	日光市立日光小学校	39
R2.12.23	佐野市立氷室小学校	7
R3.1.14	上三川町立明治小学校	31
R3.1.19	宇都宮市立田原西小学校	37
	計　13校	572人

イ　中学校　　単位：人

期　日	学　校　名	参加者数
R2.11.10	鹿沼市立北犬飼中学校	76
R2.11.27	那須塩原市立高林中学校	32
	計　2校	108人

ウ　高等学校　　単位：人

期　日	学校	参加者数
R2.6.22	栃木県立日光明峰高等学校	16
R2.9.9	栃木県立小山城南高等学校	12
R2.10.13	栃木県立真岡北陵高等学校	26
R2.10.29	栃木県立烏山高等学校	20
R3.3.12	足利短期大学附属高等学校	73
	計　5校	147人
	合　計　20校	827人

⑥　介護のお仕事見て‼聞いて‼体験してみよう‼(見学・体験バスツアー代替事業)

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.10.30（金） 一般向け	とちぎ福祉プラザ （宇都宮市）	①　オリエンテーション ②　講義 「介護のお仕事について」 ③　きれいな手洗い体験 ④　介護食体験 ⑤　お仕事体験 ⑥　車イス・リフト車体験 ⑦　リフト付介護ベッド移乗体験	9人
R2.10.31（土） 小・中学生向け			小学生 10人 中学生 9人
R2.12.13（日） 小・中学生向け			小学生 8人 保護者 2人
			計　38人

⑦　介護員養成研修（初任者研修・生活援助従事者研修）　14件　544,000円

(2)　就労への支援と人材確保の促進

①　潜在的有資格者等対象の講座開催

ア　福祉・介護職スタート講座

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.9.11(金)	宇都宮市泉が丘ふれあいプラザ (宇都宮市)	「障害者支援施設のお仕事」　施設見学あり 講師　社会福祉法人飛山の里福祉会 宇都宮市泉が丘ふれあいプラザ 高橋　勝久　氏	10人
R2.9.26(土)	とちぎ福祉プラザ (宇都宮市)	「特別養護老人ホームのお仕事」 講師　社会福祉法人千成会 特別養護老人ホームひょうたん村 刑部　樹雄　氏	17人
R2.10.17(土)	デイサービスセンター奈坪ヶ丘.デイサービスセンター奈坪ヶ丘第二 (宇都宮市)	「デイサービスのお仕事」　施設見学あり 講師　社会福祉法人奈坪ヶ丘福祉会 デイサービスセンター奈坪ヶ丘 デイサービスセンター奈坪ヶ丘第二 大山　祥伸　氏	9人
R2.11.21(土)	とちぎ福祉プラザ (宇都宮市)	「介護老人保健施設・生活相談員のお仕事」 講師　医療法人北斗会 宇都宮シルバーホーム 松浦　冨美恵　氏	10人
R3.1.16（土）	とちぎ福祉プラザ	「訪問介護のお仕事」 講師　社会福祉法人日光市社会福祉協議会	10人

期　日	場　所	内　容	参加者数
	(宇都宮市)	介護保険事業所ひかり 佐藤　優子　氏	

計　　56人

② 職場体験事業の実施

福祉・介護職見学・体験事業として協力施設において実施した。

コース別延人数	参加者延人数	見学・体験施設	体験延日数
見学　　25人 体験1日　　17人 体験2～3日　4人	高齢分野　33人	26か所	37日
	障害分野　13人	8か所	15日
	計　46人	計　34か所	計　52日

③ 離職した介護人材の届出制度の運用　　468人（R3.3月8日時点）

④ 福祉のお仕事出張相談の実施

ハローワーク名	開催日数	相談件数	ハローワーク名	開催日数	相談件数
鹿沼	20	25	大田原	20	48
栃木	20	46	小山	20	39
佐野	21	43	日光	11	19
足利	22	53	黒磯	19	28
真岡	21	60	那須烏山	11	17
矢板	11	16	とちぎジョブモール	0	0
			計	196	394

⑤ エリア別就職フェアの開催

期　日	会　場	事業所数	参加者数	採用者数
R2.8.22(土)	健康長寿センター（那須塩原市）	14	21	1
R2.9.19(土)	真岡商工会議所	14	18	0
R2.10.3(土)	栃木市栃木文化会館	18	46	4
R2.11.7（土）	佐野市総合福祉センター	14	17	1
R2.11.21(土)	矢板イースタンホテル	14	22	1
R2.12.12(土)	とちぎ健康の森	26	96	13
R3.1.23(土)	小山市中央公民館	10	28	7
R3.2.20(土)	とちぎ福祉プラザ	18	50	11
計	8回	128	298	38

⑥ 事業所訪問の実施　　5か所

⑦ 社会福祉施設採用内定者研修会の開催

期　日	場　所	内　容	参加者数
〈高齢〉 R3.3.11～25まで（15日間）	オンライン	講義 「福祉現場で活用できるビジネスマナー」 講師　株式会社ツクイスタッフ 喜山　志津香 氏	147人

⑧ 保育士・保育所支援センターの設置運営

保育士に特化した就職相談や職場復帰のための研修等を実施した。

ア　紹介、採用状況（再掲）

区　分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
有効求人数（人）		186	227	389	419	422	481	376	427	391	413	385	262	4,378
紹介・応募人数		0	1	4	5	15	22	7	7	10	10	4	3	88
内訳	紹　介	0	1	4	5	15	22	7	7	10	9	3	3	86
	応　募	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
採用人数		1	1	3	2	15	16	12	4	8	7	3	5	77
内訳	正職員	0	0	0	1	6	12	5	3	4	5	2	3	41
	常勤（正以外）	0	0	0	0	1	3	2	1	0	1	1	0	9
	非・パート	1	1	3	1	8	1	5	0	4	1	0	2	27

イ　求職状況(再掲)

区　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
有効求職者数（人）	56	61	60	123	146	129	123	111	118	91	87	87	1,192

ウ　潜在保育士データベースの管理・運営
とちぎ保育士サポートシステム登録者数　3,563 人

エ　メールマガジンの発行　　発信回数　28 回
通常号 48～59 号、特別号 47～58 号、臨時号 4 号

オ　ホームページにて情報発信　　68 件

⑨　保育のお仕事就職フェアの開催

期　日	場　所	内　容	事業所数	参加者数	採用者数
R2.7.18（日）	とちぎ福祉プラザ（宇都宮市）	① 個別相談コーナー ② とちぎ保育士・保育所支援センター相談コーナー	47	136	34
R2.10.3(土)	栃木市栃木文化会館(栃木市)	① 個別面談コーナー ② とちぎ保育士・保育所支援センター相談コーナー	12	11	1
R2.11.21(土)	矢板イースタンホテル（矢板市）	① 個別面談コーナー ② とちぎ保育士・保育所支援センター相談コーナー	14	8	0
R2.12.12（土）	とちぎ健康の森（宇都宮市）	① 個別面談コーナー ② とちぎ保育士・保育所支援センター相談コーナー	17	34	9
R3.2.20（土）	とちぎ福祉プラザ（宇都宮市）	①個別相談コーナー ② とちぎ保育士・保育所支援センター相談コーナー	14	23	1

計　　事業所数 104 か所、参加者数 212 人、採用者数　45 人

⑩　潜在保育士等対象の講座等開催

ア　保育のお仕事スタート講座

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.9.15 （火）	栃木第五地区コミュニティセンター (栃木市)	「読み聞かせ講座」 講師　小金沢　頼子　氏	5人
R2.10.27 （火）	とちぎ福祉プラザ (宇都宮市)	「幼児体育講座」 講師　骨盤ダイエット・コアトレーニング 専門スタジオBODYPLANET 代表　森島　達　氏 「幼児音楽講座」 講師　つながりあそびうた研究所 主任　町田　浩志　氏	9人
R2.12.3 （木）	とちぎ福祉プラザ (宇都宮市)	「食物とアレルギー」 講師　栃木健康福祉協会 健康作り課　係長　梶原　真咲子　氏 「幼児造形講座」 講師　子ども環境デザイン研究所 代表　矢生　秀仁　氏	16人
			計　30人

イ　事業者向けセミナー

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.11.13 （金）	とちぎ福祉プラザ (宇都宮市)	・「人材採用対策研修～組織で求める人材を採用するために～」 【講師】　株式会社　アーチーズ 撹上　登彦　氏 ・「働き方改革関連法・同一労働同一賃金対策」 【講師】 社会保険労務士法人　アミック人事サポート 代表社員　高橋　友恵　氏	12人

ウ　復職応援コミュニティ「おしゃべりカフェ　らふ&ラフ」

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.7.3 （金）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	ミニ講座「保育の魅力」 製作「作って遊ぼう　おりがみあそび 懇談会	3人
R2.8.27 （木）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	ミニ講座「ヒヤリハットの活用」 製作「作って遊ぼう　紙コップ人形」 懇談会	4人
R2.11. 9 （月）	大田原市 トコトコ大田原	ミニ講座「保育記録　種類と記入のポイント」 つくって遊ぼう「クリスマス制作」 懇談会	3人
R3.1.16 （土） 【中止】	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	ミニ講座「就職について」 つくって遊ぼう「鬼のお面」 懇談会	―
R3.3.16 （火）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	ミニ講座「就職後も役立つコミュニケーション講座」、「プチ読み聞かせ講座」 懇談会	7人
			計　17人

(3) 職場定着への支援

① 介護福祉士修学資金等の貸付け

ア 介護福祉士等修学資金

			貸付人数	交付金額
新規	2年課程（9校）	1年生	86人	68,600,000円
	4年課程（2校）	1年生	9人	6,800,000円
	4年課程（2校）	2年生	7人	5,880,000円
継続	2年課程（9校）	2年生	58人	47,890,000円
	4年課程（1校）	2年生	9人	5,400,000円
		3年生	6人	3,600,000円
		4年生	7人	5,880,000円
合　計			182人	144,050,000円

イ 実務者研修受講資金　　貸付人数　30人、　交付金額　5,849,000円

ウ 再就職準備金　　貸付人数　29人、　交付金額　10,600,000円

エ 社会福祉士修学資金

		貸付人数	貸付金額
新規	（4校）	6人	4,400,000円
継続	（2校）	3人	1,300,000円
合計		9人	5,700,000円

② 保育士修学資金等の貸付け

ア 保育士修学資金

			貸付人数	交付金額
新規	2年課程（10校）	1年生	58人	45,880,000円
		2年生	4人	3,000,000円
	3年課程（2校）	1年生	11人	6,600,000円
		2年生	1人	600,000円
		3年生	0人	0円
	4年課程（5校）	1年生	12人	5,800,000円
		2年生	5人	2,000,000円
		3年生	1人	200,000円
		4年生	0人	0円
継続	2年課程（9校）	2年生	79人	39,050,000円
	3年課程（2校）	2年生	9人	1,800,000円
		3年生	11人	4,600,000円
	4年課程（9校）	2年生	16人	2,400,000円
		3年生	17人	2,700,000円
		4年生	14人	4,600,000円
	合計		238人	119,630,000円

ア 保育補助者雇上費貸付　　交付数　2事業所　交付金額　6,565,080円

イ 未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付
交付人数　86人、　交付金額　8,932,475円

ウ 就職準備金貸付　　交付人数　70人、　交付金額　27,573,000円

③ 福利厚生事業の実施

民間社会福祉施設職員等の福利厚生の増進を図るために設立された福利厚生センター

の地方事務局として、各種の福利厚生サービスを提供した。

・福利厚生センター県内加入状況（令和３年３月現在）

加入法人数　83 法人　　会員数　3,836 人

ア　福利厚生事業の助成

・スポーツ大会への助成（福祉基金充当事業）　【該当なし】

・人間ドック費用の助成（福祉基金充当事業）　133 人　1,903,818 円

イ　会員交流事業の実施

事業名	期　日	場　所	内　容	参加者数
チケットあっせん販売	R2.8～11 月	日光市	「山のレストラン」お食事クーポン	150 人
	R2.8～10 月	宇都宮市	「オトワレストラン」お食事クーポン	80 人
	R2.8～11 月	那須烏山市	「クローバー」お食事クーポン	150 人
	R2.7～11 月	栃木市	「肉のふきあげ」お食事クーポン	75 人
	R2.8～R3.1 月	宇都宮市	「月山」お食事クーポン	100 人
	R2.9.15（火）	宇都宮市文化会館(宇都宮市)	しまじろうコンサート すすめ！たからのしまのだいぼうけん	【中止】
	R2.10.11（日）	電通四季劇場【海】(東京都)	劇団四季「アラジン」	【中止】
	R2.10.24（土）	四季劇場【夏】(東京都)	劇団四季「ライオンキング」	【中止】
	R2.11.28（土）	キャッツシアター(東京都)	劇団四季「キャッツ」	【中止】
	R2.10～11 月	東京ディズニーランド(千葉県)	東京ディズニーリゾートパークファンパーティー	【中止】
	6 ヶ月有効	県内指定映画館	映画鑑賞券	【中止】
	6 ヶ月有効	県内指定温泉施設	宿泊・日帰り温泉クーポン	【中止】
	R2.4 月～12 月	東京ディズニーリゾート（千葉県）	東京ディズニーリゾート特別利用券	43 人
	期限なし	指定施設	ジェフグルメカード	1,630 人

ウ　福利厚生センター全国会議への参加

期　日	場　所	内　　容
R2.7	中止	新任担当者研修会
R2.9	書面	全国連絡会議

エ　入会促進及び事業の利用促進　　9 事業所訪問

（4）その他

①　福祉人材・研修センター運営委員会の開催

期　日	場　所	内　容
R2.9.25（金）	とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)	・福祉人材・研修センター事業の取組み状況について ・その他

② 企業合同説明会等への相談コーナー出展

事業名	主催者	期　日	場　所	相談者等
はじめてみよう！介護の仕事就職説明会＆面接会	ハローワーク宇都宮・栃木労働局	R3.2.26（金）	コンセーレ（宇都宮市）	45人

計　45人

③ 福祉従事者養成校及び学生等への情報提供

事業名	主催者	期　日	場　所	参加者
福祉人材センター及びとちぎ保育士・保育所支援センター資料配布、就職フェア案内	栃木県社会福祉協議会	R2.6.16（火）	宇都宮共和大学 国際介護・看護・保育専門学校	－
		R2.6.17（水）	佐野日本大学短期大学 白鴎大学	
		R2.6.19（金）	宇都宮ビジネス電子専門学校 作新学院大学女子短期大学	
		R2.6.26（金）	國學院大學栃木短期大學 マロニエ医療福祉専門学校	
介護職員初任者研修	TBC福祉教育センター	R2.9.11（金）	TBC福祉教育センター（宇都宮市）	19人
	企業組合労協センター事業団	R3.1.6（水）	宇都宮市サン・アビリティーズ（宇都宮市）	22人
介護労働講習（実務者研修）	介護労働安定センター	R2.10.23（金）	とちぎ福祉プラザ（宇都宮市）	30人
中高年向け介護入門的研修	矢板市高齢対策課	R2.11.26（木）	矢板市社会福祉協議会きずな館（矢板市）	8人
	那須塩原市高齢福祉課	R2.12.10（木）	那須塩原市黒磯保健センター（那須塩原市）	18人
就職ガイダンス	宇都宮短期大学	R3.1.25（月）	宇都宮短期大学	26人
介護福祉士修学資金及び保育士修学資金貸付制度卒業前説明会	栃木県社会福祉協議会	R3.2.2（火） R3.2.8（月） R3.2.17（水） R3.3.10（水）	とちぎ福祉プラザ	146人
		R3.2.25（木）	さくら総合専門学校（さくら市）	27人

計　296人

④ 研修会等への参加

研修・会議名	主催者	期　日	場　所
第１回栃木県介護人材確保対策連絡調整会議	栃木県		書面
第２回栃木県介護人材確保対策連絡調整会議			

研修・会議名	主催者	期　日	場　所
栃木介護労働懇談会	介護労働安定センター栃木支所	R2.7.7（金）	とちぎ福祉プラザ（宇都宮市）
		R2.11.17（火）	とちぎ福祉プラザ（宇都宮市）
福祉人材センター業務・法令研修会	全国社会福祉協議会	R2.8.3（月）～9.4（金）	Web 研修会
福祉人材情報システム研修会	全国社会福祉協議会	R2.9.28（月）～12.28（月）	Web 研修会
福祉人材センター全国連絡会議	全国社会福祉協議会	R2.10.13（火）	Web 会議
職業紹介責任者講習	株式会社ウェルネット	R2.10.8（木）	栃木県総合文化センター（宇都宮市）
マッチング機能強化研修	全国社会福祉協議会	R2.11.20（金） 11.26（木）	Web 研修会
福祉人材センター・バンク基幹職員会議	全国社会福祉協議会	R2.12.18（金）	Web 会議
保育士・保育所支援センター等実施福祉人材センター連絡会議	全国社会福祉協議会	R3.1.21（木）	Web 会議
ブロック別マッチング機能強化研修	全国社会福祉協議会・山梨県社会福祉協議会	R3.2.19（金）	Web 研修会
オンライン活用セミナー	全国社会福祉協議会	R3.3.19（金）	Web 研修会

２　福祉人材の育成

(1)　専門研修の充実

①　社会福祉事業従事者専門研修の開催

社会福祉従事者を対象に、専門性の向上と組織性を高める研修会を開催した。

※コロナウィルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和２年６月末まで研修を中止とした。

事業名	期　日	研修内容・講師	時間等	参加者数
1　社会福祉施設採用内定者研修 （一部再掲）	R3.3.11～25 【オンライン】	・講義・演習 「福祉現場で活用できるビジネスマナー」 講師　株式会社ツクイスタッフ 喜山　志津香 氏		147 人
2　社会福祉施設新任職員研修（前期）	（高齢） R2.5.18(月) 【中止】	・講義「人間関係とコミュニケーション」 講師　（一社）とちぎ市民協働研究会 代表理事　廣瀬　隆人　氏 ・体験発表「福祉の仕事に携わって～先輩から～」 発表者　未定	体験発表 1H 講義・演習 4H	

	（障害・児童） R2.5.18(月) 【中止】	・講義「人間関係とコミュニケーション」 講師　（一社）とちぎ市民協働研究会 代表理事　廣瀬　隆人　氏 ・体験発表「福祉の仕事に携わって～先輩から～」 発表者　未定	体験発表 1H 講義・演習 4H	
3　社会福祉施設新任職員研修（後期）	（高齢） R2.9.28(月)	・講義「高齢者福祉の仕組みと介護サービス事業所・施設の役割」 講師　栃木県保健福祉部高齢対策課 ・講義「信頼されるスタッフを目指して」 講師　ｽﾏｲﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ 代表　小林　里江　氏	講義・演習 5H	28 人
	（障害・児童） R2.9.29(火)	・講義「障害者福祉の仕組みと障害者サービス事業所・施設の役割」 講師　栃木県保健福祉部障害福祉課 ・講義「児童福祉の仕組みと児童福祉事業所・施設の役割」 講師　栃木県保健福祉部こども政策課 ・講義「信頼されるスタッフを目指して」 講師　ｽﾏｲﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ 代表　小林　里江　氏	講義・演習 5H	43 人
4　社会福祉施設中堅職員研修	R2.7.1(水) R2.7.8(水)	・講義「中堅職員の果たすべき役割」 講師　㈱ﾋｭｰﾏﾝｽｷﾙ開発センター 代表取締役 笠井　徳子　氏	講義・演習 5H	71 人 67 人
5　社会福祉施設指導監督職員研修	R2.9.2(水) R2.9.3(木)	・講義「指導的立場にある職員の果たすべき役割 講師　㈱ﾋｭｰﾏﾝｷｬﾘｱﾀﾞｲﾅﾐｸｽ 代表取締役社長 大野　陽子　氏	講義・演習 5H	39 人 31 人
6　社会福祉施設長研修	R2.10.12(月)	・講義「働きやすい職場づくりに向けた管理者の役割」 講師　㈱ﾌｫｰｻｲﾂｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ 代表取締役　浅野　睦　氏	講義・演習 3H	43 人
7　老人福祉施設介護従事者研修	R2.9.4(金)	・講義「高齢者施設におけるターミナルケアとは①」 講師　さくら訪問看護ｽﾃｰｼｮﾝ 師長　鳥居　香織　氏 ・演習「高齢者施設におけるターミナルケアとは②」 講師　国際医療福祉大学 保健医療学部 教授　松本　明美　氏	講義・演習 5H	32 人

8　老人福祉施設機能訓練指導員研	R2.6.1(月) 【中止】	・講義「老人福祉施設における機能訓練」 講師　㈱大起エンゼルヘルプ 入居・通所事業部 事業部長補佐 田中　義行　氏	講義・演習 5H	―
9　老人福祉施設看護職員研修	R2.9.24(木)	・講義「高齢者のフィジカルアセスメント～事例から学ぶよくある症状・訴えから異常を見抜く～」 講師　獨協医科大学　看護学部 准教授　丸井　明美　氏	講義・演習 5H	22 人
10　障害者福祉施設支援員研修	R2.10.2(金)	・講義「行動障害の理解と対応について」 講師　（独）国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 あじさい・かわせみ寮長 伊豆山　澄男　氏 しらかば寮　主任生活支援員 狩野　和大　氏	講義・演習 5H	31 人
11　障害児通所支援事業所等従事者研修	R2.6.19(金) 【中止】	・講義「障害児の発達支援と障害児虐待防止の理解と対応について」 講師　とちぎ・ふじ発達研究所 代表　佐藤　俊夫　氏	講義・演習 2.5H 2 回	― ―
12　相談技術研修	R2.10.22(木) R2.10.23(金)	・講義「コミュニケーションの基礎と応用」「相談力」 講師　みそら行政書士・社会福祉士事務所 代表　鈴木　雅人　氏	講義・演習 5H	延 119 人
13　保育所新任保育士研修	R2.6.3(水) 【中止】	・講義「乳幼児保育の疾病・事故の予防と対処」 講師　国際医療福祉大学 教授　世良　喜子氏 ・講義「新任保育士に期待すること」 講師　幼保連携型認定こども園 足利こばと幼稚園 副園長　三田　貴子氏	講義・演習 5H	―
14　保育所主任保育士研修	R2.6.12(金) 【中止】	・講義「子どもの人権擁護を踏まえた保護者対応」 講師　キャリア・コンサルタント シニア産業カウンセラー 栗原　知女　氏	講義・演習 5H	―
15　保育所長研修	R2.7.7(火)	・講義「保育所等における子どもの人権とは？職員における虐待を予防するために」 講師　保育と虐待対応事例研究会 主宰　佐藤　初美　氏	講義・演習 3H	52 人
16　福祉広報力アップ研修	R2.7.21(火)	・講義「さらに高いクオリティの広報紙をつくるためのカンタン 10 のテクニック」 講師　栃ナビ！エディター 佐藤　剛夫　氏	講義・演習 3H	46 人
17　メンタルヘルス推進者研修	R2.10.6(火) R2.10.20（火）	・講義「職場内のメンタルヘルス対策」 講師　ユニバーサルマネジメント 代表　岡本　百利子　氏	講義・演習 3H	32 人 35 人

18　口腔ケア研修	R2.8.7（金）	・講義「口腔ケアの必要性と実践の基本」 講師　デンタルサポート㈱ 歯科衛生士　橋長　千鶴　氏 歯科衛生士　赤沼　昭子　氏	講義・演習 5H	44人
19　社会福祉行政新任職員研修	R2.4.24(金) 【中止】	・講義　「社会福祉の視点について」 講師　国際医療福祉大学 医療福祉・マネジメント学科 教授　林　和美　氏 ・講義　「高齢者福祉行政の動向」 講師　栃木県保健福祉部高齢対策課 ・講義　「障害者福祉行政の動向」 講師　栃木県保健福祉部障害福祉課 ・講義　「児童福祉行政の動向」 講師　栃木県保健福祉部こども政策課	講義 1.5 H 分科会 講義 1.5 H	―
20　生活保護行政新任職員研修	R2.4.14(火)	・講義「生活保護の実務」「生活困窮者自立支援制度」「保護の実施要領」 ・事例研究 講師　栃木県保健福祉部保健福祉課	講義・演習 5H	40人 資料配布
	R2.5.19(火)	・講義「医療扶助運営要領」「介護扶助」 ・事例研究 講師　栃木県保健福祉部保健福祉課		40人 資料配布
	R2.6.16(火)	・講義「保護の実施要領」 ・事例研究 講師　栃木県保健福祉部保健福祉課		40人 資料配布
21　生活保護査察指導員等研修	【中止】			―
22　母子･父子自立支援員等研修	R2.6.22(月) 【中止】	・講義「ひとり親家族及び生活困窮者等に対する家計カウンセリング」 講師　中島FP事務所～家計と育児の相談室～ CFP（R)・育児相談アドバイザー 中島　智美　氏	講義・演習 4H	―
23　保育士等キャリアアップ研修（乳児保育研修）	R2.8.5(水) R2.8.26(水) R2.9.1（火） R2.9.26（土）	乳児保育研修① ・講義「乳児保育の意義」「乳児保育の環境」 講師　子どもとことば研究会 代表　今井　和子　氏	講義・演習 5H	65人 37人 98人 84人
	R2.9.7(月) R2.9.17(木) R2.10.11（日） R2.11.10（火）	乳児保育研修② ・講義「乳児への適切な関わり」「乳児の発達に応じた保育内容」 講師　子どもとことば研究会 代表　今井　和子　氏		95人 69人 65人 45人
	R2.11.30(月) R2.12.4(金) R2.12.14（月） R3.1.16（土）	乳児保育研修③ ・講義「乳児保育の指導計画、記録及び評価」 講師　子どもとことば研究会 代表　今井　和子　氏		41人 66人 88人 75人

（幼児教育研修）	R2.11.13(金) R2.11.22(日) R2.12.23（水）	幼児教育研修① ・講義「幼児教育の意義」「小学校との接続」 講師　作新学院大学女子短期大学 専任講師　山本 詩織 氏	講義・演習 5H	37 人 49 人 91 人
	R2.9.12(土) R2.9.14(月) R2.10.5（月）	幼児教育研修② ・講義「幼児教育の環境」 講師　作新学院大学女子短期大学部 教授　青木　章彦　氏		54 人 39 人 87 人
	R2.6.3(水) R2.7.22（水） R2.10.10（月）	幼児教育研修③ ・講義「幼児教育の指導計画、記録及び評価」「幼児の発達に応じた保育内容」 講師　作新学院大学女子短期大学部 教授　坪井　真　氏		25 人 90 人 65 人
（障害児保育研修）	R2.6.9(火) R2.6.24(水) R2.7.10（金） R2.7.26（日）	障害児保育研修① ・講義「障害の理解」 講師　とちぎ・ふじ発達研究所 代表　佐藤　俊夫　氏	講義・演習 5H	19 人 65 人 91 人 67 人
	R2.8.24(月) R2.8.30(日) R2.9.8（火） R2.9.25（金）	障害児保育研修② ・講義「障害児の発達の援助」「障害児保育の環境」 講師　とちぎ・ふじ発達研究所 代表　佐藤　俊夫　氏		82 人 63 人 33 人 60 人
	R2.10.23(金) R2.11.11(水) R2.12.13（日） R2.12.15（火）	障害児保育研修③ ・講義「家庭及び関係機関との連携」「障害児保育の指導計画、記録及び評価」 講師　とちぎ・ふじ発達研究所 代表　佐藤　俊夫　氏		30 人 84 人 57 人 66 人
（食育・アレルギー対応研修）	R2.9.16(水) R2.9.29(火) R2.10.3（土） R2.10.13（火）	食育・アレルギー対応研修① ・講義「栄養に関する基礎知識」「保育所における食事提供ガイドライン」 講師　白鴎大学教育学部 名誉教授　髙橋　美保　氏	講義・演習 5H	68 人 50 人 48 人 63 人
	R2.10.20(火) R2.11.4(水) R2.11.17（火） R2.11.21（土）	食育・アレルギー対応研修② ・講義「食育計画の作成と活用」 講師　白鴎大学教育学部 名誉教授　髙橋　美保　氏		46 人 65 人 63 人 52 人
	R2.7.30(木) R2.10.8(木) R2.11.12（木） R2.12.19（土）	食育・アレルギー対応研修③ ・講義「アレルギー疾患の理解」「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」 講師　獨協医科大学小児科学 主任教授　吉原　重美　氏		61 人 61 人 47 人 58 人
（保健衛生・安全対策研修）	R2.9.11(金) R2.10.26(月) R2.11.28（土）	保健衛生・安全対策研修① ・講義「保健計画の作成と活用」「健康安全管理」 講師　國學院大學栃木短期大学 教授　後藤　正人　氏	講義・演習 5H	39 人 96 人 56 人

	R2.7.2(木) R2.7.3(金) R2.8.22（土）	保健衛生・安全対策研修② ・講義「事故防止」「教育保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」 講師　㈱ﾌｫｰｻｲﾂｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ 代表取締役　浅野　睦　氏		37 人 96 人 60 人
	R2.8.7(金) R2.8.21(金) R2.8.23（日）	保健衛生・安全対策研修③ ・講義「保育所における感染症対策」 講師　MS&AD ｲﾝﾀｰﾘｽｸ総研㈱ 主任ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ 岡田 拓巳氏		47 人 92 人 54 人
（保護者支援・子育て支援研修）	R2.8.25(火) R2.8.31(月) R2.9.10（木） R2.9.19（土）	保護者支援・子育て支援研修① ・講義「保護者支援・子育て支援の意義」「保護者に対する相談援助」 講師　恵泉女学園大学 准教授　丸橋　亮子　氏	講義・演習 5H	65 人 68 人 44 人 54 人
	R2.12.9（水） R2.12.16(水) R3.1.20（水） R3.1.23（土）	保護者支援・子育て支援研修② ・講義「地域における子育て支援」 講師　（福）養徳園 総合施設長　福田　雅章　氏 児童家庭支援ｾﾝﾀｰちゅうりっぷ 副ｾﾝﾀｰ長　片桐　洋史　氏		61 人 43 人 67 人 51 人
	R2.9.23(水) R2.11.18(水) R3.1.13（水） R3.1.24（日）	保護者支援・子育て支援研修③ ・講義「虐待予防」「関係機関との連携、地域資源の活用」 講師　保育と虐待対応事例研究会 主宰　佐藤　初美　氏		68 人 37 人 82 人 36 人
（マネジメント研修）	R2.9.24(木) R2.9.27(日) R2.9.30（水）	マネジメント研修① ・講義「マネジメントの理解」 講師　㈱ﾋｭｰﾏﾝｷｬﾘｱﾀﾞｲﾅﾐｸｽ 代表　大野　陽子　氏	講義・演習 5H	35 人 52 人 77 人
	R2.10.7(水) R2.10.17(土) R2.10.21（水）	マネジメント研修② ・講義「リーダーシップ・組織目標の設定」 講師　㈱ﾋｭｰﾏﾝｷｬﾘｱﾀﾞｲﾅﾐｸｽ 代表　大野　陽子　氏		78 人 50 人 35 人
	R2.10.22(木) R2.10.24(土) R2.10.28（水）	マネジメント研修③ ・講義「人材育成・働きやすい環境づくり」 講師　㈱ﾋｭｰﾏﾝｷｬﾘｱﾀﾞｲﾅﾐｸｽ 代表　大野　陽子　氏		34 人 55 人 74 人
（保育実践研修）	R2.7.9（木） R2.7.16（木） 【中止】	保育実践研修① ・講義「身体を使った遊び」「保育における環境構成」「子どもとの関わり方」 講師　宇都宮共和大学 教授　河田　隆　氏	講義・演習 5H	－ － －
	R2.11.9（月） R2.11.16（月） 【中止】	保育実践研修② ・講義「言葉・音楽を使った遊び」「保育における環境構成」「子どもとの関わり方」 講師 つながり・あそび・うた研究所 主任　町田　浩志　氏		－ －

	R2.6.5（金） R2.6.19(金)【中止】	保育実践研修③ ・講義「物を使った遊び」「保育における環境構成」「子どもとの関わり方」 講師　こども環境デザイン研究所 代表　矢生　秀仁　氏		－ － －

計　15　研修、　117 日（オンライン研修含む)、延　5,509 人

(2)　独自研修の充実

社会福祉従事者福祉講座の開催

事業名	期　日	研修内容・講師	時間等	参加者数
コーチング講座	R3.2.24(水)	・講義「人材育成の基本～ティーチングとコーチングの活用～」 講師　昭和大学 講師　大谷　佳子氏	講義・演習 5H	60 人
アンガーマネジメント講座	R2.12.10(木) 12.16（水）	・講義「怒りと上手に付き合う自分になろう～ｱﾝｶﾞｰﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ～」 講師　ﾔﾏｾﾞﾝｺﾐｭﾆｹｲｼｮﾝｽﾞ㈱ 山本　果奈氏	講義・演習 5H 2 回	54 人 57 人
負担の少ない移動・移乗介助講座	R2.7.29(水) 【中止】	・講義「負担の少ない移動・移乗介助講座」 講師　野沢の里　理学療法科長 髙橋　一将　氏 ヴィラフォーレスタ(森の家) 理学療法士 君嶋　綾　氏	講義・演習 3H 2 回	－ －
認知症ケア講座	R2.11.18（水）	・講義「認知症ケアの基本を振り返る」 講師　認知症介護研究・研修仙台ｾﾝﾀｰ ｾﾝﾀｰ長　加藤　伸司　氏	講義・演習 3H	46 人
コミュニケーション講座	R2.11.10（火）	･講義「キモチとココロの伝え方・読取り方」 講師　とちぎ市民協働研究会 代表理事　廣瀬　隆人　氏	講義・演習 3H 2 回	60 人 (AM) 50 人 (PM)

計　4 研修、　5 日、延　327　人

Ⅴ　生活困窮者の自立支援の推進

1　生活困窮者への自立支援

⑴　市町社協と連携した生活困窮者への自立支援の推進

①　生活困窮者相談窓口の設置

生活困窮者等を対象に、生活福祉資金の活用を含め、課題解決に向けた相談支援等の対応を行った。

②　相談員の相談技術向上のための支援対応

県内市町社協の総合相談窓口担当者等が生活困窮者を支援していくための必要な相談技術と専門知識の習得に向けて、市町社協からの個別相談等に応じた。

⑵　生活困窮者自立支援事業を実施する関係機関との連携強化

①　生活困窮者自立相談支援機関連絡調整会議の開催

生活困窮者自立支援の円滑な事業実施に向けて、各市町、市町社会福祉協議会、健康福祉センターの担当者の相談援助力向上を図るための連絡会議を県と共同開催した。

回　数	期　日	場　所	内　容
第１回	R3.3	書　面	・自立相談支援制度の概要について ・栃木県の自立相談支援の状況について ・就労自立促進事業について ・生活福祉資金貸付事業について ・就労準備支援事業と家計改善支援事業の促進について

②　認定就労訓練事業者を開拓するための説明会の開催

就労が困難な生活困窮者の訓練の場となる「中間的就労」を行う認定就労訓練事業者を開拓するための説明会を開催した。

回　数	期　日	場　所	内　容
第１回	R3.3	書　面	・認定就労訓練事業について ・認定就労訓練事業における先進事例について

③　生活困窮者自立相談支援事業従事者養成研修の実施

（生活困窮者自立支援制度従事者研修企画会議の開催）

生活困窮者自立支援制度の相談員の資質向上を目的とする研修の実施方法に関する研修企画会議を開催した。

回　数	期　日	場　所	内　容	参加者数
第１回	R2.10.2(金)	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	・生活困窮者自立支援事業従事者養成研修の持ち方について	８人

（生活困窮者自立支援制度従事者養成研修会の開催）

生活困窮者自立支援制度従事者の資質の向上を図るため、研修会を開催した。

回　数	期　日	場　所	内　容	参加者数
第１回	R3.1	書　面	・生活困窮者支援の基本的な考え方について ・「地域共生社会」の実現について	－

回　数	期　日	場　所	内　容	参加者数
			・就職氷河期世代に対する支援強化について ・「生活を支えるための支援のご案内」について	
第2回	R3.1.26(火)	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	・ひきこもり支援について ・困窮者制度の理念について　外	11人
第3回	R3.1.27(水)	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	・任意事業との連携による効果的な支援について ・コロナ禍における生活困窮者支援について　外	11人

2　貸付事業等による自立支援

(1) 生活福祉資金貸付事業等の推進

①　生活福祉資金貸付事業

ア　生活福祉資金貸付業務の実施

生活福祉資金貸付事業を市町社協及び民生委員並びに保護の実施機関と連携の上に実施し、対象世帯の自立支援を行った。

a　貸付中件数及び金額

資金種類	件　数	金　額（円）
生活福祉資金	31,430	10,878,933,061
生活福祉資金（不動産担保型生活資金）	5	40,421,527
生活福祉資金（要保護世帯向け不動産担保型生活資金）	38	193,121,203

b　生活福祉資金（不動産担保型生活資金）の貸付

・　不動産鑑定件数 2件（新規1件、再評価1件）
・　契約締結件数　1件

c　生活福祉資金（要保護世帯向け不動産担保型生活資金）の貸付

・　不動産鑑定件数　6件（新規1件、再評価5件）
・　契約締結件数　0件

d　貸付状況及び償還状況

・　貸付金申込、決定状況

種別＼区分		貸付状況			
		申　込		決　定	
		件数	金　額（円）	件数	金　額（円）
一般	総合支援資金	36	23,960,000	35	9,250,000
	福祉資金福祉費	15	10,603,540	12	5,763,000
	緊急小口資金	7	700,000	7	700,000
	教育支援資金	33	42,181,470	31	34,881,000
	不動産担保型生活資金	1	15,427,300	1	15,427,300
	要保護世帯向け不動産担保型生活資金	2	9,989,000	—	—

	計	94	102,861,310	86	66,021,300
コロナ特例	総合支援資金	14,754	7,294,062,000	14,754	7,294,062,000
	緊急小口資金	15,971	3,004,270,000	15,971	3,004,270,000
	計	30,725	10,298,332,000	30,725	10,298,332,000

・　貸付金償還免除等

種別＼区分		申請		承認	
		件数	金額（円）	件数	金額（円）
貸付金償還免除	生活福祉資金	17	5,246,333	17	5,246,333
	要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0	0	0	0
延滞利子支払免除		4	1,754,053	2	268,034
貸付金償還猶予		10	－	10	－

・　償還状況
健全債権（当年度元金）　　54,395,107円（償還率 78.27%）
長期滞留債権（当年度元金）　852,040円（償還率　2.73%）

イ　生活福祉資金運営委員会等の開催

貸付決定、貸付金償還猶予、延滞利子支払免除などを始め、制度運用等に関する協議を行うため、運営委員会及び専門部会を下記のとおり開催した。

a　運営委員会

期日	場所	内容	出席者数
R2.4.20(月)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・委員長の選任について ・生活福祉資金専門部会員及び不動産担保型生活資金専門部会長の選任について ・令和元年度の取組状況と令和２年度の取組方針について	10人

b　生活福祉資金専門部会

回数	期日	場所	内容	出席者数
第1回	R2.7.16(木)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	（審査）貸付　2件 延滞利子支払免除　1件	8人
第2回	R2.8.27(木)		（審査）貸付　2件	6人
第3回	R2.10.8(木)		（審査）貸付　2件	7人
第4回	R2.12.1(火)		（審査）貸付　2件 償還猶予　1件 延滞利子支払免除　1件	7人
第5回	R3.2	書面	（審査）償還猶予　2件	9人

C　不動産担保型生活資金専門部会

回　数	期　日	場　所	内　容	出席者数
第1回	R2.4.20(月)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	(審査) 貸付　1件	7人
第2回	R3.3	書　面	(審査) 貸付　1件	7人

ウ　生活福祉資金研修会等の開催

制度の適切かつ円滑な運営を図るため研修会等を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.7.15(水)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	総合支援資金特例貸付の延長貸付対応に係る説明会 ・緊急小口資金及び総合支援資金特例貸付の現状等 ・総合支援資金特例貸付の延長貸付への対応について	30人
R3.2.9(火)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ オンライン 併用	総合支援資金特例貸付の再貸付及び特例貸付の償還免除に関する説明会 ・総合支援資金特例貸付の再貸付への対応について ・特例貸付の償還免除について	―

エ　市町社協との連携による個別援助活動の実施

経済的自立及び生活意欲の助長促進等のため、市町社協と連携し、随時個別援助活動を実施した。

オ　生活福祉資金等の債権管理の強化

償還業務の適正化及び債権管理を強化するため、滞納世帯に対して、訪問指導(5 件)、面談(12 件)、電話による催告(188 件)、督促状の発行(4 回)等を行った。

カ　パンフレット等による広報の実施

パンフレットを市町社協に配布し、事業の周知を図った。

(全国会議等への出席状況)

会議名	期　日	場　所
都道府県・指定都市社会福祉協議会部・課・所長会議	R2.5	資料配付
都道府県・指定都市社協地域福祉担当オンライン意見交換会	R2.11.26(木)	オンライン
緊急小口資金等特例貸付の償還業務に関するブロック代表部課長会議	R2.12.3(木)	(東京都) 全社協会議室・オンライン併用
緊急小口資金等特例貸付に係る要望に関する都道府県社協常務理事・事務局長会議	R2.12.24(木)	(東京都) 全社協会議室・オンライン併用
緊急小口資金等特例貸付に関する常務理事・事務局長会議	R3.1.28(木)	オンライン

② 臨時特例つなぎ資金貸付事業

公的給付制度又は公的貸付制度を申請している住居のない離職者に対して、当該給付等の交付を受けるまでの当面の生活費を迅速に貸付けることにより、その自立を支援するため、貸付事業を実施した。

・　貸付中件数及び金額

資金種類	件　数	金　額（円）
臨時特例つなぎ資金	81	6,550,690

・　貸付状況

区分 種別	貸付状況			
	申　込		決　定	
	件　数	金　額（円）	件　数	金　額（円）
臨時特例つなぎ資金	4	400,000	4	400,000

・　貸付金償還免除

区分 種別	申　請		承　認	
	件　数	金　額（円）	件　数	金　額（円）
貸付金償還免除	4	366,680	4	366,680

③　地域改善対策（同和対策）福祉資金貸付事業

栃木県、関係団体の協力を得て償還指導を実施した。（償還中件数 93 件　金額 44,895,228 円）

⑵　交付事業による自立支援

愛の基金交付事業

他に援護の方法のない生活困窮者に対して交付による援助を行った。

・　寄付金　12 件　194,800 円
・　交付件数　1 件　52,000 円

Ⅵ　社会福祉事業経営者等との連携、支援

１　社会福祉施設経営支援・団体との連携、支援

⑴　福祉施設経営指導事業の実施

①　各種研修会、勉強会の開催

ア　社会福祉法人経営者研修会

事業名	期　日	場　所	内　容	参加者数
（緊急） 社会福祉法人 経営者研修会	R2.12.25(金)	オンライン	講義　「新型コロナウィルス感染症の基礎知識について」 講師　栃木県看護協会　教育研修課兼ﾅｰｽｾﾝﾀｰ課　課長（感染管理認定看護師）　野澤　寿美子　氏 行政説明　「社会福祉施設等の新型コロナ対策への支援について」 説明　栃木県保健福祉部高齢対策課介護保険班　班長　羽石　正夫　氏	41 人
第１回 社会福祉法人 経営者研修会	R3.2.3(水)	オンライン	講義　「福祉人材確保のポイント～経営者が押さえておくべきポイントを中心に～」 講師　全国社会福祉法人経営者協議会　福祉人材対策委員会　委員長 山田　雅人　氏 講義　「同一労働同一賃金について」 講師　栃木働き方改革推進支援ｾﾝﾀｰ副センター長　小沼　友宏　氏	28 人
第２回 社会福祉法人 経営者研修会	R3.2.17(水)	オンライン	講義　「新型コロナウィルス感染症によるクラスター発生施設の状況と取組み」 講師　埼玉県社会福祉法人経営者協議会　副会長　社会福祉法人名栗園理事長　池田　徳幸　氏	56 人

イ　青年経営者会の活動等

事業名	期　日	場　所	内　容	参加者数
青年経営者会 勉強会	R3.3.19（金）	オンライン	講義　「福祉分野における生産性向上とＩＣＴの活用」 講師　全国社会福祉協議会　法人振興部　土谷　一貴　氏	18 人

②　施設経営に関する情報提供

全国社会福祉法人経営者協議会からの情報を会員施設に提供した。

・「経営協情報」1 号～105 号

③　法人・施設訪問による指導・助言
・訪問数　　434 法人
・相談件数　434 件
④　電話・来所相談に対する指導・助言
・電話相談　425 件
・来所相談　 59 件

⑵　社会福祉法人経営者協議会への支援

栃木県社会福祉法人経営者協議会の事務局業務を担い、団体の実施事業に協力を行った。

⑶　社会福祉施設団体との連携、支援

①　社会福祉施設団体（種別協議会）からの事務受託

各社会福祉施設団体の事務局業務及び事業の一部を受託するとともに、団体の実施事業への協力及び運営支援を行った。（4 団体）

【特定非営利活動法人栃木県障害施設・事業協会】

目的：障害児・者（以下「障害者」という）及びその家族や地域に対し、障害者の自立と共生に関する事業を行い、国民誰もが人格と個性を尊重して相互に支えあう共生社会の実現に寄与することを目的とする。

対象：正会員　　法人の目的に賛同して入会した団体又は個人
　　賛助会員　この法人の事業を賛助するために入会した団体又は個人

なお、平成 28 年度からは、栃木県障害者文化祭の芸能発表・カラオケ大会に関する事務について受託した。

【栃木県社会就労センター協議会】

目的：　栃木県内の社会就労センター事業の発展を期するため、事業に関する調査・研究・協議を行い、会員相互の親睦並びに連絡調整を図ることを目的とする。

対象：　生活保護授産施設、社会事業授産施設（基準該当就労継続支援Ｂ型事業を含む。）次の事業を運営する障害福祉サービス事業所、障害者支援施設。就労継続支援Ａ型事業、就労継続支援Ｂ型事業、就労移行支援事業、生産活動を行う生活介護事業、地域活動支援センター

【栃木県地域包括・在宅介護支援センター協議会】

目的：　地域福祉の増進と地域包括支援センターと県内在宅介護支援センター等会員相互の連携を図り、その健全なる発展向上を期することを目的とする。

対象：地域包括支援センターと在宅介護支援センターの会員施設

【一般社団法人栃木県老人保健施設協会】

目的：栃木県内の老人保健施設（以下「老健施設」という。）及び公益社団法人全国老人保健施設協会（以下「全老健」という。）との相互の密接な連携のもとに老健施設の向上発展と使命遂行を図り、円滑な運営と業務の研鑽につとめ、社会の福祉増進に寄与することを目的とする。

対象：正会員　　老健施設で、この会の趣旨に賛同して入会した施設の代表者
　　賛助会員　この会の目的及び趣旨に賛同する個人及び団体

②　各社会福祉施設（団体）実施事業への支援

ア　種別協議会総会等への参加

名　称	期　日	場　所
栃木県地域包括・在宅介護支援センター協議会総会	R2.5	書面
栃木県社会福祉法人経営者協議会総会	R2.5	書面

名　称	期　日	場　所
一般社団法人栃木県老人保健施設協会社員総会	R2.5	書面
栃木県社会就労センター協議会総会	R2.5 R3.3.9(火)	書面 オンライン

イ　第 64 回栃木県保育事業研究大会の共催【中止】

③　社会福祉施設部会の開催及び団体・施設との連携強化

社会福祉施設の振興、発展にむけて、また、地域福祉への貢献にむけて、施設自らが課題を把握・抽出するとともに解決策を検討するために協議を行い、以て地域福祉の充実を図ることを目的として社会福祉施設部会を開催した。

ア　社会福祉施設部会の開催

期　日	場　所	内　容	参加者数
R3.3.11(木)	オンライン	(1)令和 2 年度社会福祉施設部会事業の実施状況について (2)令和 3 年度社会福祉施設部会の事業計画（案）について (3)栃木県社会福祉協議会理事及び評議員候補者の推薦種別団体の選出について (4)コロナ禍における各種別団体の近況について (5)その他	7 人

〔社会施設福祉部会委員〕

氏　名	所　属・役　職　名	備　考
風間　嘉信	栃木県保育協議会長	部会長
峯山　敏正	特定非営利活動法人栃木県障害施設・事業協会副会長	
阿由葉　寛	栃木県社会就労センター協議会長	
大山　知子	一般社団法人栃木県老人福祉施設協議会長	副部会長
荒井　一宏	栃木県母子生活支援施設連絡協議会長	
福田　雅章	栃木県児童養護施設等連絡協議会長	
浜野　修	栃木県地域包括・在宅介護支援センター協議会長	
矢尾板　誠一	一般社団法人栃木県老人保健施設協会長	

イ　社会福祉施設部会研修の開催【中止】

④　福祉有償運送等運転者講習会の開催【中止】

⑤　災害福祉広域支援ネットワーク事業の実施

大規模災害発生時に高齢者や障害者などの要配慮者に対し、社会福祉士や介護福祉士等の専門職で構成する「災害福祉広域支援チーム（ＤＷＡＴ）」を派遣するためのチーム員の養成研修等を実施した。

ア　災害福祉支援チーム員登録研修会の開催

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.12.9(水)	宇都宮市河内総合福祉センター	・「栃木県災害福祉支援チームの基本事項と活動」 講師　栃木県災害福祉広域支援協議会事務局 栃木県保健福祉部保健福祉課	31 人

期　日	場　所	内　容	参加者数
		講義「災害福祉支援チームの活動の実際と避難所での福祉ニーズを考える」 講師　栃木県災害福祉広域支援協議会 (株)Bluebird　ソーシャルワーク鹿沼 ソーシャルワーカー　川田　雅一氏 社会福祉法人すぎのこ会　けやきの家 施設長　輕部　愼吾氏	

イ　栃木県災害福祉支援チーム員（スキルアップ）研修会の開催

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.9.17(木) R2.9.18(金) R2.10.9(金) 録画配信	(9.17) 宇都宮市 総合文化センター (9.18) 宇都宮市 とちぎ福祉プラザ (10.9) 小山市立文化センター	「今後のＤＷＡＴ活動について」 講師　栃木県災害福祉広域支援協議会事務局 栃木県保健福祉部保健福祉課 講義「避難所理解と環境整備」 講師　一般社団法人ピースボート災害支援センター 理事 小林 深吾 氏（9.17/9.18/録画配信） スタッフ　関根　正孝氏（10.9） 講義「被災者心理の理解」 講師　公益社団法人日本医療社会福祉協会 災害支援チーム　福井　康江氏	(9.17) 26 人 (9.18) 40 人 (10.9) 27 人 (録画配信) 65 人

ウ　栃木県災害福祉支援チーム員（保健・医療との連携）研修会

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.8.4(火)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	「災害時の感染症対策」 講師　栃木県保健福祉部保健福祉課地域保健担当 課長補佐（統括保健師）　半田　冨美子氏	34 人

２　社会福祉法人による地域における公益的な活動の推進

⑴　社会福祉法人による地域における公益的な活動の推進

①　栃木県社会福祉法人による「地域における公益的な取組」推進協議会への支援

ア　「いちごハートねっと事業」実施状況（令和３年３月 31 日現在）

参加法人 122 法人（おこまり福祉相談実施事業所 301 事業所）

②　各種事業への支援

ア　おこまり福祉相談の実施

イ　あんしん支援事業の実施

・施設会議室等無償貸出（栃木県保護司会連合会）貸出無（コロナ感染症予防対策の為）

・フードバンク・サポート事業

フードドライブ

R2 年 9 月 15 日（火）寄付総重量 129 キロ

フードバンク宇都宮への定期提供　寄付総重量 464.5 キロ

・いちごカフェ

実施法人 7 法人　実施回数 9 回

・シトラスリボンプロジェクト
ポスター掲示・シトラスリボン寄贈・チラシ配布等

ウ　関係機関との連携

エ　広報活動の実施

・コミュニティＦＭ「ミヤラジ」『行列のできる！街かど相談室』への出演
「社会福祉法人と、いちごハートねっと事業について」

③　会議・研修会への支援

ア　連絡会議の開催

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.9.15（火）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	第１部　中間報告及び質疑応答 第２部　あんしん支援事業報告 いちご版《福祉 SOS ゲーム》 ＊講義と疑似体験 講師 文教大学人間科学部　教授　森　恭子氏 ＊モデル地区事業発表 №１那須塩原市 那須塩原市社会福祉協議会 主事　鈴木　直也氏 №2 清原地区 とちぎ YMCA 福祉会 総合施設長　塩澤　達俊氏 №3 壬生町 壬生町社会福祉協議会 地域支え合い推進員　岩田　恵美子氏 ＊ステッピングシェア	81 人

イ　おこまり福祉相談関連研修会の開催

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.11.19(木)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	テーマ「総合相談支援事業」 ＊現状課題 モデレーター 宇都宮大学地域デザイン科学部 准教授　石井　大一朗氏 ＊事例発表 栃木市地域包括ケア推進室 副主幹　中村　康広氏 市貝町総合相談支援センター センター長　　郷間　一宏氏 相談支援包括化推進員　　豊口　晶子氏 ＊ステッピングシェア	42 人

ウ　あんしん支援事業関連研修会の開催

期　日	場　所	内　容	参加者数
R2.10.14(水)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	テーマ「社会的処方の視点で描く、地域共生社会」 モデレーター 社会福祉法人同愛会　常務理事　菊地　月香氏 第１部	34 人

期　日	場　所	内　容	参加者数
		＊講話 　　宇都宮市協立診療所　常勤医　千嶋　　巌氏 ＊ステッピングシェア 第 2 部 ＊事例発表 日光市社会福祉協議会 主査　中村　哲也氏 ＊ステッピングシェア	

Ⅶ　災害対応力の強化

１　災害対応力の強化

⑴　災害ボランティア活動の環境づくり

事業名	期日	場　所	内　容	参加者数
災害ボランティアセンター運営研修 （再掲）	R3.1.28 （木）	オンライン	【第１部】講義 「災害時の IT 活用事例と検証中の災害 VC 運営システム」 講師 株式会社サイボウズ 災害支援チームリーダー　柴田　哲史氏 【第２部】講義・演習 「コロナ禍をふまえた新たな協働連携」 講師 特定非営利活動法人　にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長　李　仁鉄氏	【第1部】 29人 【第2部】 22人

⑵　関係機関・団体との関係づくり

事業名	期　日	場　所	内　容	参加者数
①災害ボランティアネットワーク会議 （再掲）	R2.7.27 （月）	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	(1)導入説明「令和元年東日本台風災害における栃木県の状況」 説明 栃木県社協　地域福祉・ボランティア課 (2)事例発表「令和元年東日本台風災害における活動・連携事例」 発表者 栃木市　保健福祉部福祉総務課 課長　首長　正博氏 宇都宮市社会福祉協議会　総務企画課 困難主任　八木　茂氏 特定非営利活動法人トチギ環境未来基地 代表理事　塚本　竜也氏 公益社団法人日本青年会議所関東地区 栃木ブロック協議会 とちぎ政策委員会　委員長　酒寄　貴光氏 (3)講義「災害時における新型コロナウイルス感染防止について」 講師 ３DS 株式会社　代表取締役　林　洋克氏	74人
②市町社協災害支援担当者連絡会議 （再掲）			(1)説明「令和元年東日本台風における県内の活動状況と活動状況から見えたポイント」 (2)協議・意見交換	21人

事業名		期　日	場　所	内　容	参加者数
③とちぎ災害支援のあり方検討会（再掲）	第10回会議	R2.4.22（水）	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	・令和元年度検討会活動の振り返り ・R2 年度検討会の活動計画・スケジュールについて	7人
	第11回会議	R2.6.17（水）		・「新型コロナウィルス感染拡大下における災害 VC の設置・運営等の考え方と留意点（案）」の整理	5人
	第12回会議	R2.8.24（月）		・モデル様式集の作成について	15人
	第13回会議	R2.11.19（木）		・講義・事例紹介「災害ボランティアセンターにおける『応援』『受援』について」 講師 宮城県社会福祉協議会　震災復興・地域福祉部　震災復興支援室 主幹　北川　進氏 ・災害ボランティアセンターにおける派遣者（外部支援者）に任せられる業務の基準について アドバイザー　同上	12人
	第14回会議	R3.2.12（金）	オンライン	・モデル様式集最終案について	14人
	第15回会議	R3.3.11（木）	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	・令和3年度県社協災害支援関係事業について ・災害ボランティアセンターにおける派遣者(外部支援者)に任せられる基準について ・検討会3年間の振り返り ・災害ボランティアセンターモデル様式集の発行について	10人

⑶　災害時の要援護者への支援の検討等

行政等の関係機関との調整を随時行った。

⑷　災害対応体制の強化

事業名	期　日	場　所	内容
①栃木県・日光市総合防災訓練（再掲）	R2.8.30(日)	日光市 日光運動公園	【総合防災訓練の訓練内容】 中止 【本会独自の訓練内容】 安否確認訓練〈R2.10.6(火)実施〉

②　マニュアル等の見直し、必要資機材等の確保・補充

適宜、資機材等の確認を行った。

③　栃木県災害ボランティアセンター報告書の作成（新規）

令和元年東日本台風（台風第 19 号）による豪雨災害に係る災害ボランティア活動の支援を検証するとともに、将来起こり得る災害対策に取り組む際の一助となることを目的に報告書を作成した。

Ⅷ　県社協の組織活動の強化

１　組織体制の充実

⑴　理事会・評議員会等の活性化

会務の適正な運営等を図るため、理事会、評議員会等を開催した。

①　理事会の開催

期　日	場　所	議　事
R2.6.8(月)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	〔議題〕 ⑴令和元年度事業報告について ⑵令和元年度一般会計及び生活福祉資金会計等決算について ⑶役員の選任について ⑷評議員選任・解任委員会委員の選任について ⑸評議員選任候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の開催について ⑹令和元会計年度に関する定時評議員会（令和 2 年度第 1 回評議員会）の招集について 〔報告〕 ⑴会長及び常務理事の職務執行状況について ⑵会長専決事項について ①令和 2 年度一般会計及び生活福祉資金等会計予算の補正について ②令和 2 年度生活福祉資金会計予算の大区分間流用について ③職員の任免及び課長・所長・室長職以上の人事の発令について ⑶　栃木県運営適正化委員会の業務報告について
R2.11.9(月)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	〔議題〕 ⑴会長及び常務理事の職務執行状況について ⑵会長専決事項について ①令和 2 年度一般会計及び生活福祉資金会計等予算の補正について ⑶令和２年度社会福祉業務指導監査（実地）の結果について ⑷新型コロナウイルス感染症の対応について ⑸活動推進計画（第３期）の点検・評価及び活動推進計画（第４期）の策定について
R3.3.10(水)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	〔議題〕 ⑴令和３年度事業計画（案）について ⑵令和３年度一般会計及び生活福祉資金等会計予算（案）について ⑶社会福祉法人栃木県社会福祉協議会経理規程の一部改正について ⑷役員候補者の選任について ⑸役員等損害賠償責任保険契約の締結について ⑹令和３年度における常勤役員の月額報酬及び期末手当の額について ⑺令和２年度資金運用状況及び令和３年度資金運用計画（案）について

期　日	場　所	議　事
		⑻栃木県社会福祉協議会活動推進計画（第４期）（案）について ⑼令和２年度第２回評議員会の招集について 〔報告〕 ⑴会長及び常務理事の職務執行状況について ⑵会長専決事項について ①令和２年度生活福祉資金会計等予算の補正について ②令和２年度一般会計予算の大区分間流用について ⑶　新型コロナウイルス感染症の対応について
R3.3.30(火)	決議の省略の方法による	〔議題〕 ⑴常務理事の選定について

②　評議員会の開催

期　日	場　所	議　事
R2.6.25(木)	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	〔議題〕 ⑴令和元年度事業報告について ⑵令和元年度一般会計及び生活福祉資金会計等決算について ⑶役員の選任について
R3.3.22(月)	決議の省略の方法による	〔議題〕 ⑴令和３年度事業計画（案）について ⑵号令和３年度一般会計及び生活福祉資金会計等予算(案)について ⑶役員の選任について ⑷令和３年度における常勤役員の月額報酬及び期末手当の額について ⑸栃木県社会福祉協議会活動推進計画（第４期）（案）について

③　会長・副会長会議の開催

期　日	場　所	議　事
R2.5.29(金)	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	理事会及び評議員会への提出議案・報告事項について
R3.3.2(火)	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	理事会及び評議員会への提出議案・報告事項について

④　監事監査の実施

期　日	場　所	議　事
R2.5.25(月)	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	⑴令和元年度事業報告について ⑵令和元年度一般会計及び生活福祉資金会計等収支決算について

⑤　評議員選任・解任委員会の実施

期　日	場　所	議　事
R2.6.10(水)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	評議員の選任について

⑵　部会活動の充実強化

①　市町社協部会の開催（再掲）

期　日	場　所	内　　容	参加者数
R2.6.11 （木）	書面開催	・協議 (1)令和２年度栃木県への社会福祉に関する要望について	13 人
R2.9.1 （火）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・報告 (1)栃木県社会福祉協議会令和元年度事業報告及び令和２年度事業計画（地域福祉関連）について (2)日常生活自立支援事業（あすてらす）の全市町社協実施方式について (3)新型コロナウィルスに係る生活福祉資金貸付について (4)令和２年度栃木県への社会福祉に関する要望について ・協議 (1)新型コロナウィルス禍における社協事業の実施について	11 人

②　社会福祉施設部会の開催（再掲）

期　日	場　所	内　容	参加者数
R3.3.11(木)	オンライン	(1)令和 2 年度社会福祉施設部会事業の実施状況について (2)令和 3 年度社会福祉施設部会の事業計画（案）について (3)栃木県社会福祉協議会理事及び評議員候補者の推薦種別団体の選出について (4)コロナ禍における各種別団体の近況について (5)その他	7 人

⑶　事務局体制の強化

①　活動推進計画（第４期）の事業点検・評価の実施

本会活動推進計画（第３期）の推進を目的として、令和元年度実施事業について、事業点検・評価を実施するとともに、活動推進計画（第４期）を策定した。

・活動推進計画推進委員会

期　日	場　所	内　容
R2.11.6(金)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	(1)令和元年度活動推進計画に伴う事業点検・評価について (2)活動推進計画（第４期）素案について
R3.2.26(金)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	(1)委員及びパブリックコメントの結果について (2)活動推進計画（第４期）（案）について

② 衛生委員会の設置及び開催

職員の衛生に関する事項を総合的に調査審議するため、衛生委員会（年 2 回）及び衛生教育（1 回）を開催した。

また、快適な職場環境の整備及び健康診断の実施その他健康の保持増進に努めた。

⑷ 危機管理体制の整備

災害時の活動資金となる災害活動資金準備積立金を充実した。（累計額　11,950,369 円）

⑸ 職員の資質の向上

① 社会福祉主事資格認定通信課程及び社会福祉士通信課程受講料等の助成

継続 2 名　／　期間　通年

② 職員研修の実施

期　日	内　容
R2.12.2(水)	講義・実践「主催者向け Zoom ミーティングの使い方」 講師　NPO 法人宇都宮まちづくり市民工房　鈴木里恋　氏

⑹ 政策提言（ソーシャルアクション）機能の強化

県内民間福祉関係団体の意見を取りまとめ、栃木県及び宇都宮市へ要望書を提出した。

期　日	場　所	内　容
R2.9.8(火)	宇都宮市 栃木県庁	各団体による要望内容説明及び意見交換
R2.8.28(金)	宇都宮市 宇都宮市役所	各団体による要望内容説明及び意見交換

2　運営基盤の強化

⑴　会員確保の促進

- 普通会員　会員数　548（団体）　　会費　8,012,400 円
- 賛助会員　会員数　 61（人・団体）　会費　　615,000 円

⑵ 財源の確保

① 図書斡旋、広告掲載等

図書の斡旋等を行うことにより自主収入を得るよう努めた。

（図書斡旋等による手数料収入　146,032 円、広告料収入 5,700,000 円）

② 有料駐車場の運営

栃木県から栃の実駐車場及び本町合同ビル駐車場を借り上げ、駐車場の管理運営を行った。

また、収入増を図るため栃の実駐車場において月極利用を実施している。

- 利用台数　38,763 台（栃の実駐車場 12,731 台、本町合同ビル駐車場 26,032 台）
- 月極契約　20 台／月
- 売上高　　20,530,615 円

③ 栃木県地域福祉振興基金（栃の実基金）の造成及び適切な運用等

ア　基金の造成

寄附　8 件　777,000 円

昭和 56 年からの基金累計額　1,393,031,140 円

イ　基金の適切な運用等

円滑に事業推進ができるよう有価証券を購入する等、基金の運用益を確保した。

ウ　栃木県地域福祉振興基金運営委員会の開催

回　数	期　日	場　所	内　容
第1回	R3.3.5(金)	書面	①令和2年度事業実施状況について ②令和3年度事業計画（案）について ③基金の運用について

3　経営の透明性の確保

⑴　情報公開の推進

改正社会福祉法第59条の2第2項で定められている定款及び貸借対照表、収支計算書、現況報告書をインターネットの利用により公表するとともに、情報開示請求への適切な対応を図るため、ファイル基準表及び文書ファイル管理台帳の整備を行った。

⑵　個人情報の適切な管理

本会個人情報保護規程に基づき、個人情報等の適切な取扱いに努めた。

⑶　苦情への適正な対応

広報紙やホームページ等により本会の苦情解決体制について周知し、利用者等からの苦情の解決に努めた。

● 新型コロナウイルス感染症の対応について

1　県社協全体の対応

(1)　職場における感染予防対策

・職員の服務の取扱い（在宅勤務、特別休暇等）
⇒執行体制の確保として一定程度の職員が出勤していない状態（概ね２割～５割減）を確保した。
・出勤前の検温、マスク着用の徹底
・窓口等の飛沫感染防止シート、ボード等の設置
⇒職員の座席間にボードを配置
・「新型コロナウイルス感染防止対策取組宣言」の実施

(2)　指定管理者としての対応

・施設内の感染予防対策の実施
・入居団体、利用者への周知
・ホームページによる情報提供
・利用者へ感染対策の周知徹底、使用後の清掃・消毒の徹底
⇒福祉プラザ入口に「足踏み式消毒スタンド」の設置
⇒「サーマルカメラ（自動体温測定器）」の設置

2　各種事業、イベント等への対応

・「栃木県新型コロナウイルス感染症対策本部」が順次示した基本的な対応方針に基づき、本会対応方針を決定のうえ、対応。
・日程の変更、開催方法の変更等により対応調整し、実施。
⇒ウェブ開催に変更。wifi環境及び備品の整備をした。

３　会議室等貸館の利用制限（福祉プラザ、障害者スポーツセンター（わかくさアリーナ））

【福祉プラザ】

・新規予約停止・自粛要請　R2 年 3 月 6 日～5 月 17 日、R3 年 1 月 14 日～2 月 21 日

・再開　R2 年 5 月 18 日～、R3 年 2 月 22 日～

【障害者スポーツセンター（わかくさアリーナ）】

・休館　R2 年 3 月 6 日～5 月 31 日

・新規予約停止・自粛要請　R3 年 1 月 14 日～2 月 21 日

・再開　R2 年 6 月 2 日～　※6 月 1 日休館日　R3 年 2 月 23 日～　※2 月 22 日は休館日

４　生活福祉資金特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金）業務

・R2 年 3 月 25 日～　受付開始、R3 年 3 月 31 日まで受け付け延長

・R3 年 2 月 19 日～　総合支援資金の再貸付受付開始。R3 年 3 月 31 日まで

・各課から職員応援、兼務辞令発令（5/1～7/31　3 名、8/1～9/30　5 名、10/1～2/18　1 名、R3.2/19～　２名）

人材派遣会社からの人材派遣（4/24 開始時 2 名～、6/15～9/30　15 名、10/1～11/30　10 名、12/1～2.28　9 名、　3/1～　10 名）

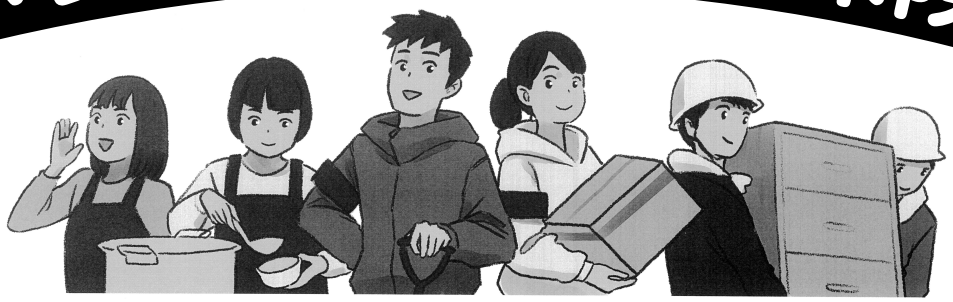
令和３年度

https://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険　検索

全国200万人加入!!　日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料（1名あたり）

保険金の種類＼プラン			基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円（限度額）	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
	地震・噴火・津波による死傷		×	○
賠償責任の補償	賠償責任保険金（対人・対物共通）		5億円（限度額）	
年間保険料			350円	500円

団体割引 20%適用済／過去の損害率による割増引適用

商品パンフレットはコチラ

（ふくしの保険ホームページ）

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行事用保険（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償！

送迎サービス補償（傷害保険）

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償！

福祉サービス総合補償（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償！

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者　社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事保険会社〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03（3349）5137
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）

取扱代理店　株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03（3581）4667　FAX：03（3581）4763
受付時間：平日の 9:30～17:30（12/29～1/3 を除きます。）

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〈SJ20-12303　2020.12.28 作成〉

令和３年度

福祉施設の事故・紛争円満解決のために

ホームページでも内容を紹介しています
https://www.fukushihoken.co.jp

社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

（賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、動産総合保険、費用・利益保険）

❶ 基本補償（賠償・見舞費用）

保険期間１年

▶保険金額

		基本補償（A型）	見舞費用付補償（B型）
賠償事故に対応	身体賠償（１名・１事故）	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償（１事故）	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償（期間中）	200万円	200万円
	うち現金支払限度額（期間中）	20万円	20万円
	人格権侵害（期間中）	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失（期間中）	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償（期間中）	2,000万円	2,000万円
お見舞い等の各種費用	事故対応特別費用（期間中）	500万円	500万円
	被害者対応費用（１名につき）	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶年額保険料（掛金）

	定員	基本補償（A型）
基本補償（A型）	1～50名	35,000～61,460円
	51～100名	68,270～97,000円
	以降1名～10名増ごと	1,500円
見舞費用付補償（B型）	基本補償（A型）保険料 ＋	【見舞費用加算】定員１名あたり 入所：1,300円 通所：1,390円

- ●オプション1 ●訪問・相談等サービス補償
- ●オプション2 ●医務室の医療事故補償 ●看護師の賠償責任補償
- ●オプション3 ●借用不動産賠償事故補償
- ●オプション4 ●クレーム対応サポート補償

❷ 個人情報漏えい対応補償　❸ 施設の什器・備品損害補償

プラン2 施設利用者の補償

（普通傷害保険）

❶ 入所型施設利用者の傷害事故補償

❷ 通所型施設利用者の傷害事故補償

❸ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償
施設送迎車に搭乗中のケガに対し、プラン2-❶、❷の傷害保険や自動車保険などとは関係なく補償

プラン3 施設職員の補償

（労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険）

❶ 施設職員の労災上乗せ補償
●オプション：使用者賠償責任補償

❷ 施設職員の傷害事故補償

❸ 施設職員の感染症罹患事故補償
（新型コロナウイルス感染症も補償の対象となります。）

❹ 雇用慣行賠償補償

プラン4 社会福祉法人役員等の補償

（役員賠償責任保険）

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

保険期間１年

▶保険金額	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ
1事故・期間中	5,000万円	1億円	3億円

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03（3349）5137
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03（3581）4667　FAX:03（3581）4763
受付時間：平日の9:30～17:30（12/29～1/3を除きます。）

〈SJ20-12300 2020.12.28 作成〉